

看護系大学等への進学需要等に関するアンケート
看護職員の人材需要等に関するアンケート
調査結果

令和6年（2024年）2月
函館市企画部

I	調査概要	1
II	看護系大学等への進学需要等に関するアンケート調査結果 (高校2年生および保護者へのアンケート)	3
1	基本情報	3
2	調査項目	4
3	アンケート調査票	24
III	看護職員の人材需要等に関するアンケート調査結果 (医療機関等に対するアンケート)	29
1	調査項目	29
2	アンケート調査票	52
	(参考) 前回調査 (H28年度実施) との比較	54

○ 看護系大学等への進学需要等に関するアンケート調査

- 1 調査目的 急速に進行する高齢化や人口減少，看護・医療の高度化などに対応するため，4年制の看護系大学（学部）の設置について検討するにあたり，高校卒業後の進路に関し，高校2年生およびその保護者の意向を把握するために実施した。
- 2 調査期間 令和5年（2023年）8月～10月
- 3 調査対象
 - (1) 高校2年生へのアンケート
函館市内，渡島・檜山地域および青森県の高校2年生
 - (2) 高校2年生の保護者へのアンケート
函館市内および近郊の高校に通う高校2年生の保護者
- 4 調査方法 対象地域において協力を得られた高等学校を通じ，高校2年生および保護者に配付を依頼し，インターネット上のアンケートフォームにて回答を受け付けた。
- 5 調査内容 4年制の看護系大学（学部）への進学など高校卒業後の進路に関するアンケートで，平成28年度（2016年度）に実施した調査と結果を比較するため，基本的に同様の設問内容とした。
また，高校生と保護者の意識も比較するため，同様の設問内容とした。
- 6 回答状況
 - (1) 対象数 高校2年生：7,147人（48校） 保護者：2,168人（16校）
 - (2) 回答数 高校2年生：2,716人（40校） 保護者：218人（11校）
 - (3) 回答率 高校2年生：38.0% 保護者：10.1%
- 7 調査結果 別紙のとおり

○ 看護職員の人材需要等に関するアンケート調査

1 調査目的 急速に進行する高齢化や人口減少，看護・医療の高度化などに対応するため，4年制の看護系大学（学部）の設置について検討するにあたり，市内の医療機関等における4年制の看護系大学（学部）卒業生の人材需要等を把握するために実施した。

2 調査期間 令和5年（2023年）8月～11月

3 調査対象

函館市内において看護職員を配置する病院，診療所，訪問看護ステーション，介護老人保健施設などの施設

4 調査方法 電子メールまたは郵送により依頼し，インターネット上のアンケートフォームのほか，電子メール，郵送，FAXにて回答を受け付けた。

5 調査内容 市内の医療機関等における看護人材の状況や4年制の看護系大学（学部）卒業生の人材需要等に関するアンケートで，平成28年度（2016年度）に実施した調査と結果を比較するため，基本的に同様の設問内容とした。

6 回答状況

(1) 対象数 476施設

(2) 回答数 182施設

(3) 回答率 38.2%

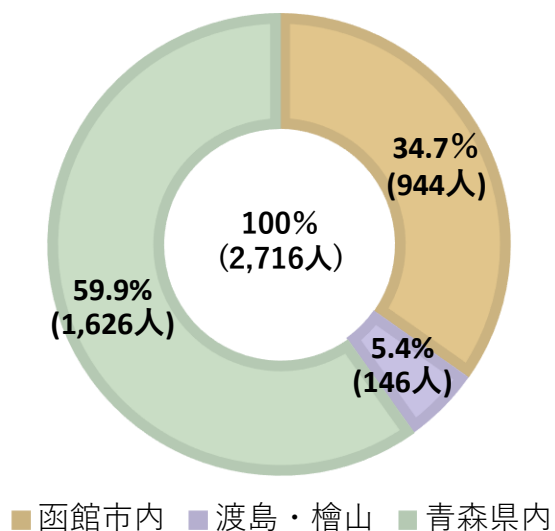
7 調査結果 別紙のとおり

Ⅱ 看護系大学等への進学需要等に関するアンケート調査結果 (高校2年生および保護者へのアンケート)

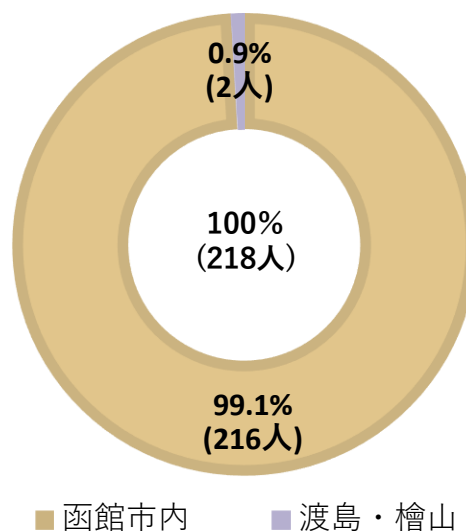
1 基本情報

(1) 回答者数

① 高校生



② 保護者



(2) 回答率

① 高校生

学校所在地	配付数	回答数	回答率(%)
函館市内	2,067	944	45.7
渡島・檜山	627	146	23.3
青森県	4,453	1,626	36.5
合計	7,147	2,716	38.0

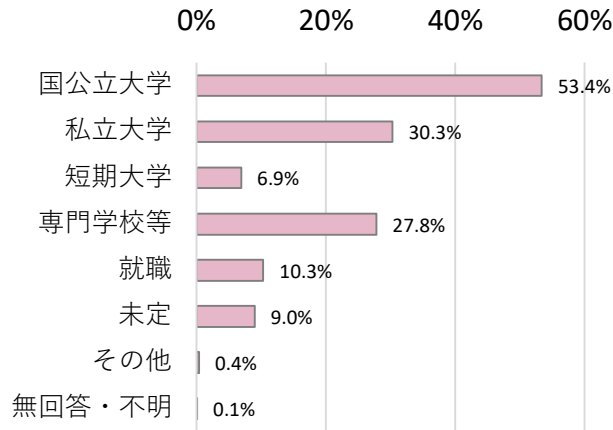
② 保護者

	配付数	回答数	回答率(%)
合計	2,168	218	10.1

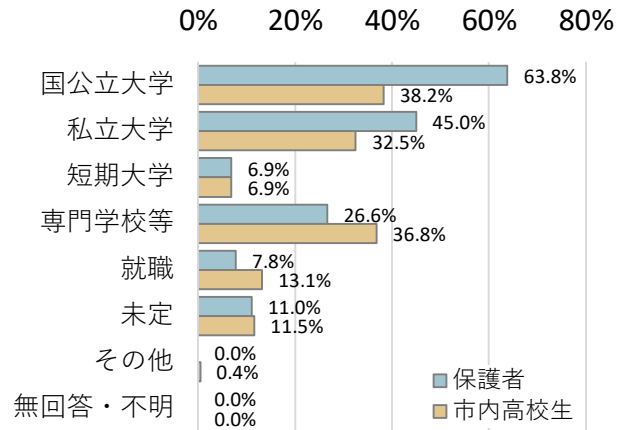
2 調査項目

問1 高校卒業後の進路についてどのように考えていますか。（複数回答）

高校生（全体）



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

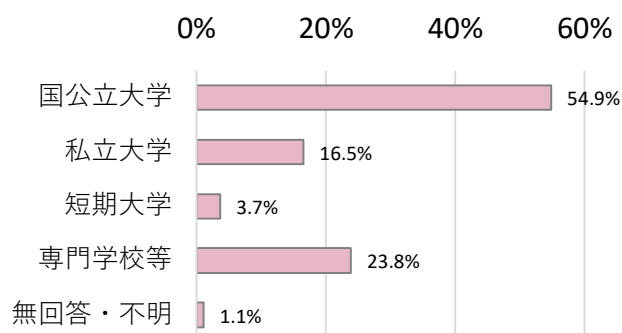


回答区分	高校生(函館市)	高校生(渡島・檜山)	高校生(青森県)	高校生(全体)	保護者
1 国公立大学	361 38.2%	30 20.5%	1,058 65.1%	1,449 53.4%	139 63.8%
2 私立大学	307 32.5%	29 19.9%	486 29.9%	822 30.3%	98 45.0%
3 短期大学	65 6.9%	16 11.0%	107 6.6%	188 6.9%	15 6.9%
4 専門学校等	347 36.8%	68 46.6%	341 21.0%	756 27.8%	58 26.6%
5 就職	124 13.1%	28 19.2%	128 7.9%	280 10.3%	17 7.8%
6 未定	109 11.5%	19 13.0%	117 7.2%	245 9.0%	24 11.0%
7 その他	4 0.4%	0 -	8 0.5%	12 0.4%	0 -
8 無回答・不明	0 -	0 -	2 0.1%	2 0.1%	0 -
(n)=	944	146	1,626	2,716	218

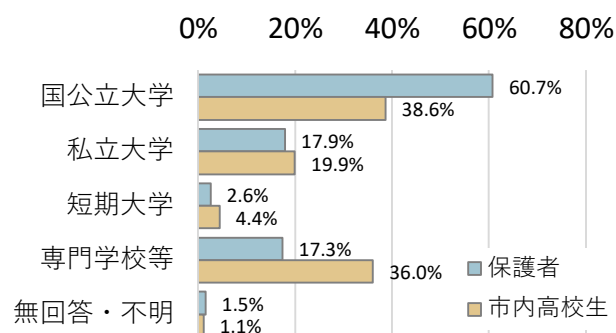
- 高校生（全体）では「国公立大学」が53.4%と最も高く、次いで「私立大学」が30.3%、「専門学校等」が27.8%、「就職」が10.3%となっている。
- 高校生（函館市）でも「国公立大学」が38.2%と最も高く、以下、「専門学校等」が36.8%、「私立大学」が32.5%、「就職」が13.1%と続く。
- 高校生（渡島・檜山）では、「専門学校等」を希望する割合が46.6%と最も高く、次いで「国公立大学」が20.5%となっている。
- 高校生（青森県）は、国公立大学への進学実績のある学校を対象としたことから、大学等への進学希望の割合が高く、就職希望の割合が低い結果となっているものと考えられる。
- 高校生（函館市）と保護者の回答を比較すると、保護者の方が国公立・私立問わず大学への進学を希望している割合が高く、特に国公立大学への進学を希望する割合が高い。

問1-2 (問1で1～4選択者) 最も希望する進路はどれですか。

高校生(全体)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

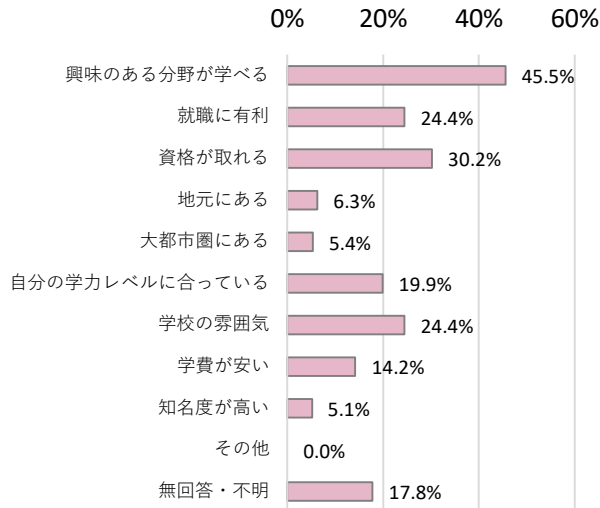


	回答区分	高校生(函館市)		高校生(渡島・檜山)		高校生(青森県)		高校生(全体)		保護者	
1	国公立大学	297	38.6%	23	20.9%	964	66.0%	1,284	54.9%	119	60.7%
2	私立大学	153	19.9%	17	15.5%	216	14.8%	386	16.5%	35	17.9%
3	短期大学	34	4.4%	10	9.1%	42	2.9%	86	3.7%	5	2.6%
4	専門学校等	277	36.0%	56	50.9%	225	15.4%	558	23.8%	34	17.3%
5	無回答・不明	8	1.1%	4	3.6%	14	0.9%	26	1.1%	3	1.5%
	(n)=	769	100%	110	100%	1,461	100%	2,340	100%	196	100%

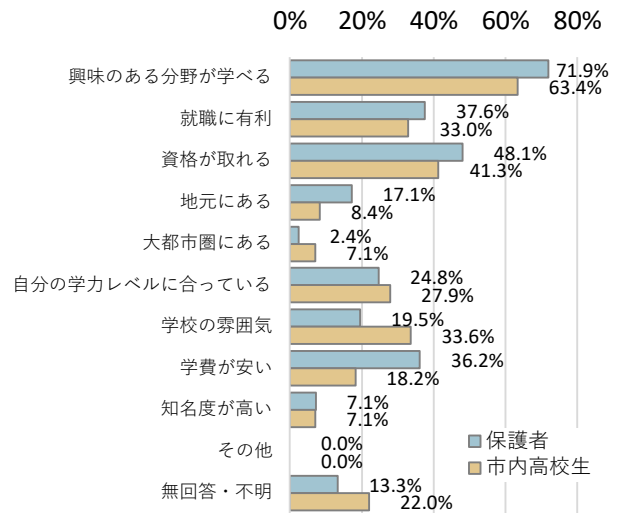
- 高校生(全体)では「国公立大学」が54.9%と最も高く、次いで「専門学校等」が23.8%となっている。
- 高校生(函館市)では「国公立大学」が38.6%と最も高く、次いで「専門学校等」が36.0%となっている。
- 高校生(渡島・檜山)では「専門学校等」が50.9%とほぼ5割を占めているほか、高校生(青森県)では「国公立大学」が66.0%と突出して高い割合となっている。
- 保護者では「国公立大学」を希望する割合が60.7%と、高校生(函館市)の38.6%と比較して非常に高くなっている。
一方で「専門学校等」については、高校生(函館市)の割合が36.0%と、保護者の17.3%と比較して、より高くなっている。

問2 (問1で「5 就職」のみの選択者以外)
進学先を選択する際に、どのようなことを重視しますか。(複数回答)

高校生(全体)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

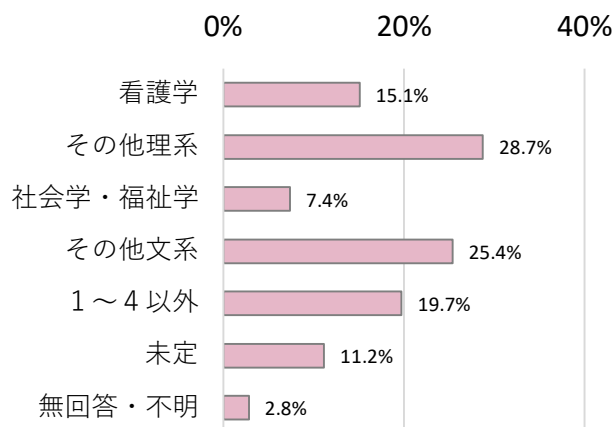


回答区分	高校生(函館市)		高校生(渡島・檜山)		高校生(青森県)		高校生(全体)		保護者	
1 興味のある分野が学べる	546	63.4%	72	57.6%	537	34.6%	1,155	45.5%	151	71.9%
2 就職に有利	284	33.0%	30	24.0%	306	19.7%	620	24.4%	79	37.6%
3 資格が取れる	356	41.3%	62	49.6%	348	22.4%	766	30.2%	101	48.1%
4 地元にある	72	8.4%	4	3.2%	84	5.4%	160	6.3%	36	17.1%
5 大都市圏にある	61	7.1%	1	0.8%	74	4.8%	136	5.4%	5	2.4%
6 自分の学力レベルに合っている	240	27.9%	21	16.8%	243	15.7%	504	19.9%	52	24.8%
7 学校の雰囲気	289	33.6%	39	31.2%	292	18.8%	620	24.4%	41	19.5%
8 学費が安い	157	18.2%	23	18.4%	180	11.6%	360	14.2%	76	36.2%
9 知名度が高い	61	7.1%	8	6.4%	61	3.9%	130	5.1%	15	7.1%
10 その他	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
11 無回答・不明	189	22.0%	32	25.6%	230	14.8%	451	17.8%	28	13.3%
(n)=	861	-	125	-	1,551	-	2,537	-	210	-

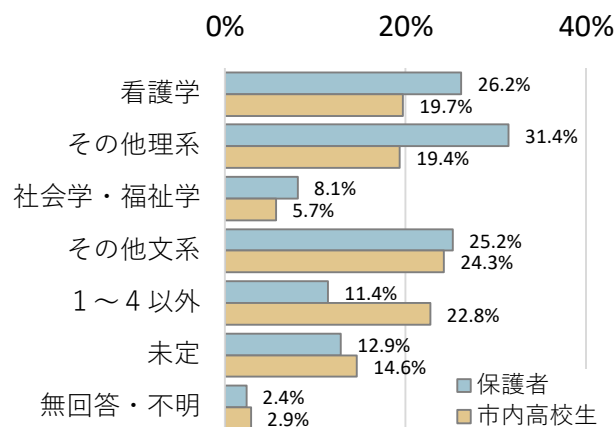
- 高校生(全体)では「興味のある分野が学べる」が45.5%と最も高く、次いで「資格が取れる」が30.2%、「就職に有利」、「学校の雰囲気」が24.4%と続く。
- 一方で、「地元にある」が6.3%、「大都市圏にある」が5.4%など、進学先を選択肢としての地域性はさほど重要視されていないと考えられる。
- 保護者では「興味のある分野が学べる」が71.9%と、高校生(函館市)と同様に割合が高く、次いで「資格が取れる」が48.1%、「就職に有利」が37.6%と続くが、これらは高校生の回答と同様の傾向にあり、両者ともに卒業後の就職を見越した選択を重視しているものと考えられる。
- 一方で、「学費が安い」が36.2%、「地元にある」が17.1%と、就学にあたっての経済的負担に関わる選択については保護者の方が選択した割合が高くなっている。

問3 (問1で「5 就職」のみの選択者以外)
進学を希望する場合、どの分野を希望しますか。(複数回答)

高校生(全体)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較



回答区分	高校生(函館市)	高校生(渡島・檜山)	高校生(青森県)	高校生(全体)	保護者
1 看護学	170	17	196	383	55
2 その他理系	167	13	549	729	66
3 社会学・福祉学	49	15	124	188	17
4 その他文系	209	23	412	644	53
5 1～4以外	196	43	262	501	24
6 未定	126	20	137	283	27
7 無回答・不明	25	8	39	72	5
(n)=	861	125	1,551	2,537	210

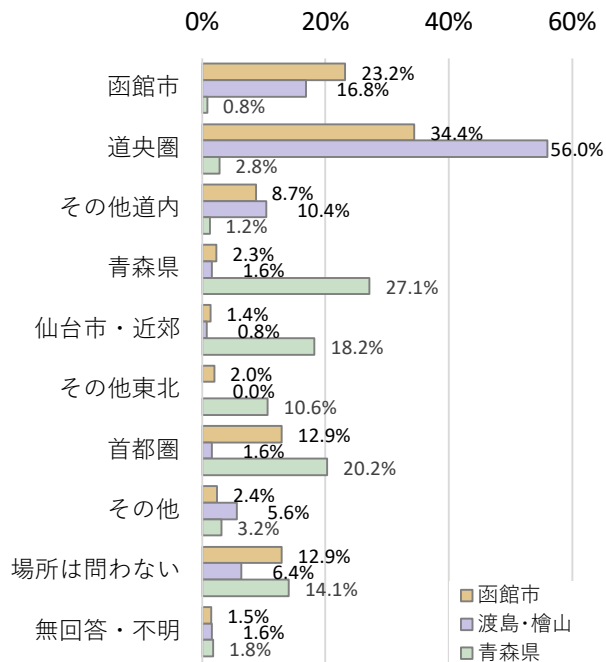
(参考) 単一回答数

回答区分	高校生(函館市)	高校生(渡島・檜山)	高校生(青森県)	高校生(全体)
1 看護学	140	11	130	281
3 社会学・福祉学	19	6	62	87

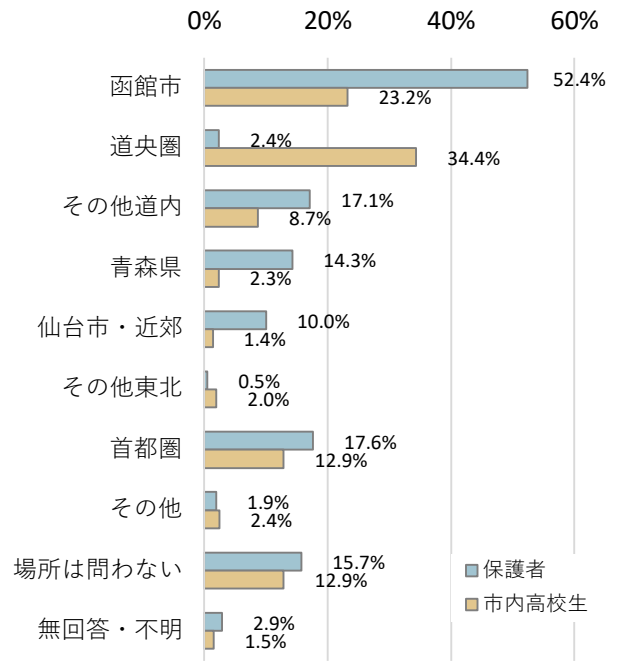
- 高校生(全体)では「その他理系」が28.7%と最も高く、次いで「その他文系」が25.4%、「その他」が19.7%、「看護学」が15.1%と続く。
- 保護者では「その他理系」が31.4%と最も高く、次いで「看護学」が26.2%、「その他文系」が25.2%と続き、「その他文系」が24.3%と最も多かった高校生(函館市)からの回答とは異なる結果となった。
- これは、保護者にとって、「その他理系」や「看護学」が就職や資格取得と結びつけてイメージしやすい分野であることや、函館に看護系学部が開設される可能性があることへの期待感の表れが影響しているものと推察される。

問4① 進学先としてどの地域を希望しますか。(複数回答)

高校生(全体)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

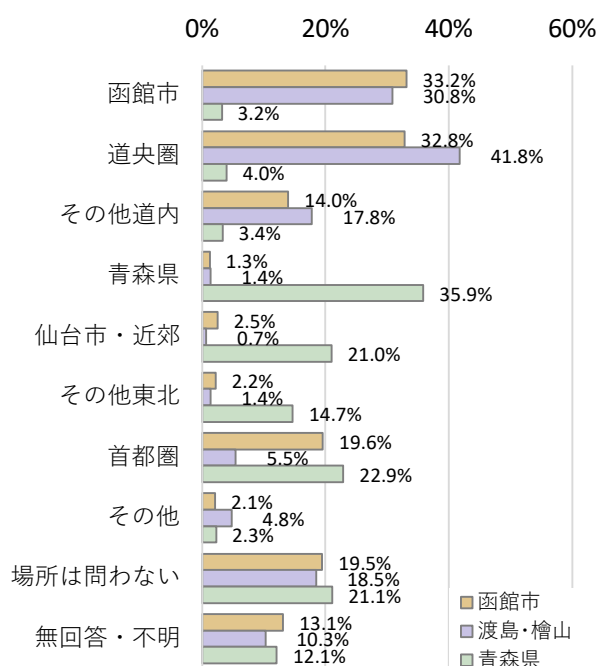


回答区分	高校生(函館市)	高校生(渡島・檜山)	高校生(青森県)	高校生(全体)	保護者
1 函館市	200 23.2%	21 16.8%	13 0.8%	234 9.2%	110 52.4%
2 道央圏	296 34.4%	70 56.0%	44 2.8%	410 16.2%	5 2.4%
3 その他道内	75 8.7%	13 10.4%	19 1.2%	107 4.2%	36 17.1%
4 青森県	20 2.3%	2 1.6%	421 27.1%	443 17.5%	30 14.3%
5 仙台市・近郊	12 1.4%	1 0.8%	283 18.2%	296 11.7%	21 10.0%
6 その他東北	17 2.0%	0 -	165 10.6%	182 7.2%	1 0.5%
7 首都圏	111 12.9%	2 1.6%	314 20.2%	427 16.8%	37 17.6%
8 その他	21 2.4%	7 5.6%	49 3.2%	77 3.0%	4 1.9%
9 場所は問わない	111 12.9%	8 6.4%	218 14.1%	337 13.3%	33 15.7%
10 無回答・不明	13 1.5%	2 1.6%	28 1.8%	43 1.7%	6 2.9%
(n)=	861	125	1,551	2,537	210

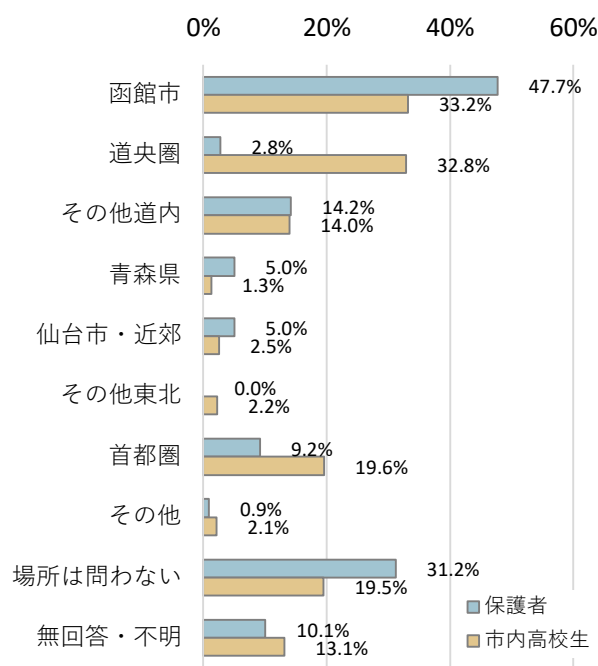
- 高校生が進学を希望する地域については居住地域によって大きな差があり、高校生(函館市)では「道央圏」が34.4%と最も高く、次いで「函館市」が23.2%、「首都圏」、「場所は問わない」が12.9%と続き、道内志向は高いものの函館に残るよりも道央圏を目指す傾向が強く見られる。
- 高校生(渡島・檜山)では「道央圏」が56.0%と最も高く、次いで「函館市」が16.8%、「その他道内」が10.4%と、道内志向が際立っている。また、高校生(青森県)では「青森県」が27.1%と最も高く、次いで「首都圏」が20.2%、「仙台市・近郊」18.2%、「場所は問わない」14.1%と、進学先として東北全域から首都圏までを広く視野に入れていることが窺える。
- 保護者の回答では「函館市」が52.4%、次いで「首都圏」が17.6%と、「函館市」を選択する割合が高く、高校生(函館市)の回答と比べて約30ポイント高い。逆に「道央圏」は市内高校生の回答と比べて約30ポイント低く、高校生との意識のギャップが大きい。

問4② 就職先としてどの地域を希望しますか。(複数回答)

高校生(全体)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較



回答区分	高校生(函館市)	高校生(渡島・檜山)	高校生(青森県)	高校生(全体)	保護者					
1 函館市	313	33.2%	45	30.8%	52	3.2%	410	15.1%	104	47.7%
2 道央圏	310	32.8%	61	41.8%	65	4.0%	436	16.1%	6	2.8%
3 その他道内	132	14.0%	26	17.8%	55	3.4%	213	7.8%	31	14.2%
4 青森県	12	1.3%	2	1.4%	583	35.9%	597	22.0%	11	5.0%
5 仙台市・近郊	24	2.5%	1	0.7%	341	21.0%	366	13.5%	11	5.0%
6 その他東北	21	2.2%	2	1.4%	239	14.7%	262	9.6%	0	-
7 首都圏	185	19.6%	8	5.5%	372	22.9%	565	20.8%	20	9.2%
8 その他	20	2.1%	7	4.8%	37	2.3%	64	2.4%	2	0.9%
9 場所は問わない	184	19.5%	27	18.5%	343	21.1%	554	20.4%	68	31.2%
10 無回答・不明	124	13.1%	15	10.3%	197	12.1%	336	12.4%	22	10.1%
(n)=	944	-	146	-	1,626	-	2,716	-	218	-

- 高校生では、進学先と同様、居住地域によって違いが出ており、高校生(函館市)では「函館市」が33.2%、次いで「道央圏」が32.8%となり、進学先の希望地域とは順位が逆転している。
- 高校生(渡島・檜山)では「道央圏」が41.8%と最も高く、次いで「函館市」が30.8%と続き、進学先の希望地域と同様の結果となっている。
- 高校生(青森県)では、「青森県」が35.9%と最も高く、次いで「首都圏」22.9%、「場所は問わない」21.1%と続いており、進学、就職ともに「青森県」が最も高い。
- 保護者の回答では「函館市」が47.7%と最も高く、次いで「場所は問わない」が31.2%、「その他道内」が14.2%と続いている。
- 高校生(函館市)でも「函館市」の選択が最も高く33.2%だったが、保護者の割合と比較すると約14ポイント低く、逆に「道央圏」を選択した割合は保護者の2.8%に対して市内高校生は32.8%と、約30ポイント高い結果となっている。

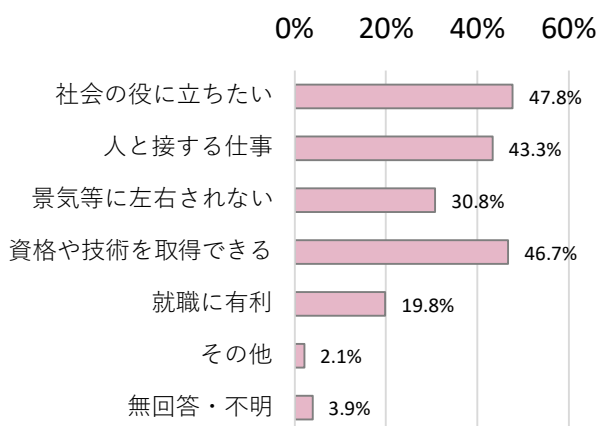
(参考) 問3(進学希望分野)で「看護学」を選択した市内高校生の間4(希望地域)回答状況

	進学先	就 職 先																			
		1函館		2道央		3道内		4青森		5仙台		6東北		7首都圏		8その他		9場所不問		10無回答	
1	函館市	55	32.4%	24	14.1%	12	7.1%	0	-	0	-	1	0.6%	3	1.8%	1	0.6%	4	2.4%	12	7.1%
2	道央圏	11	6.5%	27	15.9%	7	4.1%	0	-	2	1.2%	1	0.6%	4	2.4%	0	-	6	3.5%	6	3.5%
3	他道内	1	0.6%	2	1.2%	7	4.1%	0	-	0	-	0	-	1	0.6%	0	-	1	0.6%	0	-
4	青森県	1	0.6%	1	0.6%	0	-	0	-	1	0.6%	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0.6%
5	仙台・近郊	1	0.6%	2	1.2%	0	-	0	-	2	1.2%	0	-	1	0.6%	0	-	0	-	0	-
6	他東北	1	0.6%	1	0.6%	0	-	0	-	0	-	1	0.6%	0	-	0	-	1	0.6%	1	0.6%
7	首都圏	0	-	1	0.6%	0	-	0	-	0	-	0	-	6	3.5%	0	-	2	1.2%	0	-
8	その他	1	0.6%	1	0.6%	1	0.6%	0	-	0	-	0	-	0	-	2	1.2%	1	0.6%	0	-
9	場所不問	0	-	2	1.2%	1	0.6%	1	0.6%	0	-	0	-	2	1.2%	0	-	11	6.5%	2	1.2%
10	無回答	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	(n)=	170	-	170	-	170	-	170	-	170	-	170	-	170	-	170	-	170	-	170	-

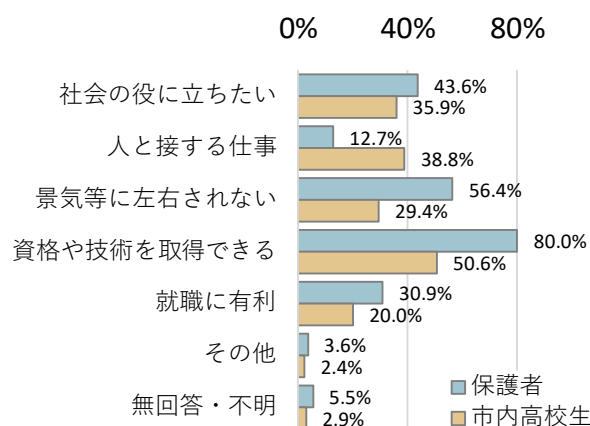
- 問3で進学希望分野として「看護学」を選択した高校生(函館市)では、進学先、就職先のいずれも「函館市」を選択する割合が32.4%と最も高い結果となった。
- 一方で、進学先に函館市を選んでも、就職先では札幌市など道央圏を選択する割合も一定程度あり、進学先の選択が必ずしも就職先と結びつくものではないことが窺える。

問5 (問3で「1 看護学」選択者) 看護学を希望する理由は何ですか。(複数回答)

高校生(全体)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

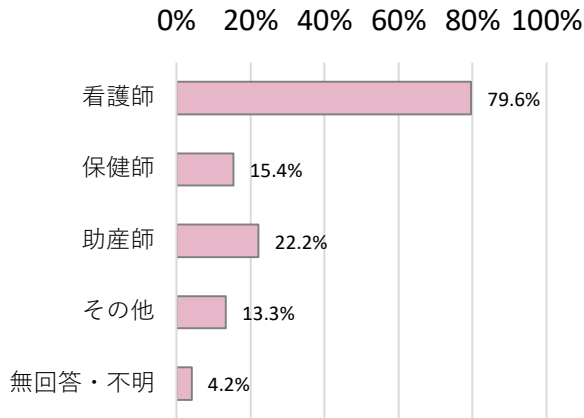


回答区分	高校生(函館市)		高校生(渡島・檜山)		高校生(青森県)		高校生(全体)		保護者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 社会の役に立ちたい(立つ)	61	35.9%	5	29.4%	117	59.7%	183	47.8%	24	43.6%
2 人と接する仕事に就きたい(就かせたい)	66	38.8%	8	47.1%	92	46.9%	166	43.3%	7	12.7%
3 景気等に関係なく必要とされる分野	50	29.4%	5	29.4%	63	32.1%	118	30.8%	31	56.4%
4 資格や技術を取得できる	86	50.6%	5	29.4%	88	44.9%	179	46.7%	44	80.0%
5 就職に有利	34	20.0%	2	11.8%	40	20.4%	76	19.8%	17	30.9%
6 その他	4	2.4%	1	5.9%	3	1.5%	8	2.1%	2	3.6%
7 無回答・不明	5	2.9%	3	17.6%	7	3.6%	15	3.9%	3	5.5%
(n)=	170	-	17	-	196	-	383	-	-	-

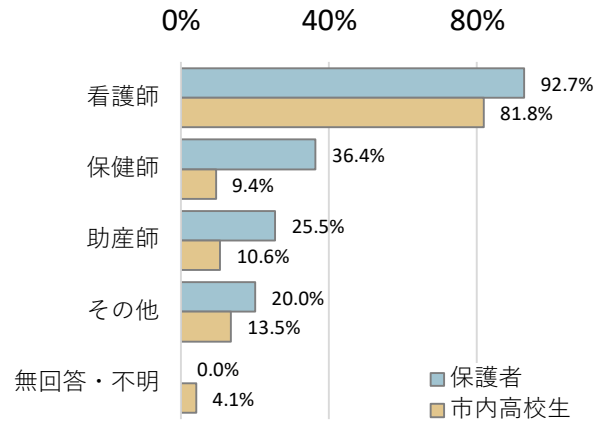
- 高校生(全体)では、「社会の役に立ちたい」が47.8%と最も高く、次いで「資格や技術を取得できる」が46.7%、「人と接する仕事に就きたい」が43.3%、「景気等に関係なく必要とされる分野」が30.8%と続く。
- 保護者の回答では「資格や技術を取得できる」が80.0%と最も高く、8割の保護者が選択している。「景気等に関係なく必要とされる分野」が56.4%と続く。
- また、高校生(函館市)との比較では、「資格や技術を取得できる」、「景気等に関係なく必要とされる分野」の割合が非常に高く、保護者の方がより現実的な視点からの選択となっていることが窺える。

問6 (問3で「1 看護学選択者」) 将来取得したい資格はどれですか。(複数回答)

高校生(全体)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

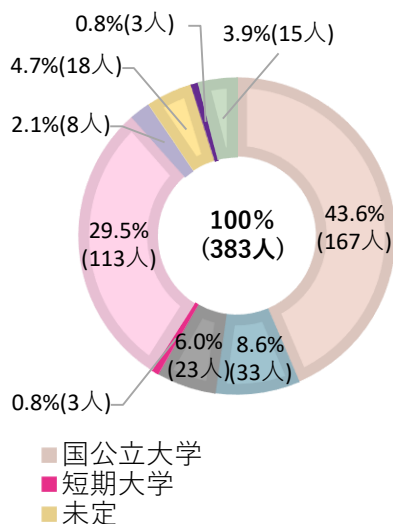


	回答区分	高校生(函館市)		高校生(渡島・檜山)		高校生(青森県)		高校生(全体)		保護者	
1	看護師	139	81.8%	13	76.5%	153	78.1%	305	79.6%	51	92.7%
2	保健師	16	9.4%	1	5.9%	42	21.4%	59	15.4%	20	36.4%
3	助産師	18	10.6%	3	17.6%	64	32.7%	85	22.2%	14	25.5%
4	その他	23	13.5%	1	5.9%	27	13.8%	51	13.3%	11	20.0%
5	無回答・不明	7	4.1%	3	17.6%	6	3.1%	16	4.2%	0	-
	(n)=	170	-	17	-	196	-	383	-	55	-

- 高校生(全体)の将来取得したい資格としては、「看護師」が79.6%と最も高く、次いで「助産師」22.2%、「保健師」15.4%となっている。
- 「看護師」を選択した割合に地域間の差はほとんどないが、「保健師」「助産師」については、函館市および渡島檜山地域に比べて青森県の選択割合が高くなっている。
- 保護者と高校生(函館市)との比較では、「保健師」が保護者の36.4%に対して高校生(函館市)が9.4%と27ポイント低くなっている。

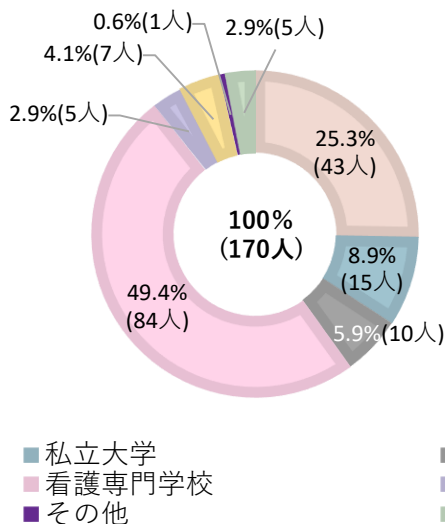
問7 (問3で「1 看護学」選択者) 最も希望する進路を教えてください。

高校生(全体)

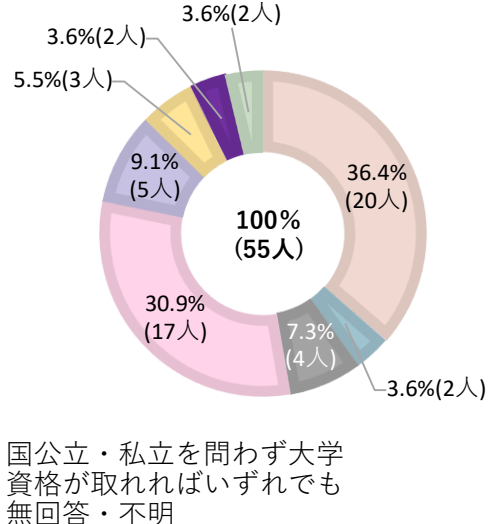


高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

(高校生(函館市))



(保護者)



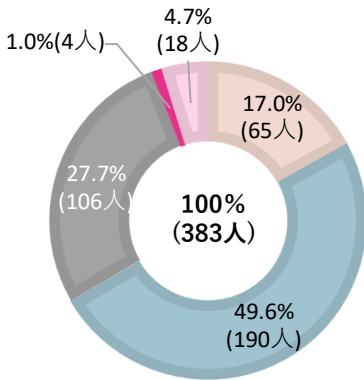
回答区分	高校生(函館市)	高校生(渡島・檜山)	高校生(青森県)	高校生(全体)	保護者
1 国公立大学	43 25.3%	6 35.3%	118 60.2%	167 43.6%	20 36.4%
2 私立大学	15 8.9%	1 5.9%	17 8.7%	33 8.6%	2 3.6%
3 国公立・私立を問わず大学	10 5.9%	0 -	13 6.6%	23 6.0%	4 7.3%
4 短期大学	0 -	0 -	3 1.5%	3 0.8%	0 -
5 看護専門学校	84 49.4%	6 35.3%	23 11.8%	113 29.5%	17 30.9%
6 資格が取ればいずれでも	5 2.9%	0 -	3 1.5%	8 2.1%	5 9.1%
7 未定	7 4.1%	1 5.9%	10 5.1%	18 4.7%	3 5.5%
8 その他	1 0.6%	0 -	2 1.0%	3 0.8%	2 3.6%
9 無回答・不明	5 2.9%	3 17.6%	7 3.6%	15 3.9%	2 3.6%
(n)=	170 100%	17 100%	196 100%	383 100%	55 100%

- 高校生(全体)で希望する進路で最も高いのが「国公立大学」で43.6%、次いで「看護専門学校」で29.5%となっている。
- 高校生(函館市)では、身近な存在となっている「看護専門学校」が49.4%と最も高く、「国公立大学」の25.3%が続く。
- 高校生(青森県)では、「国公立大学」が60.2%と圧倒的に高いが、これは進学率の高い高校からの回答が比較的多かったことや近隣に国公立大学の看護学科が存在することなどによるものと推察される。
- 保護者では、「国公立大学」が36.4%と最も高く、「看護専門学校」が30.9%、「資格が取ればいずれでも」が9.1%と続く。
- また、保護者では、大学進学を希望する3つの選択肢の合計が47.3%と、看護学を学ぶ場所として大学を希望する割合が高くなっており、大学志向が窺える。

問8 (問3で「1 看護学」選択者)

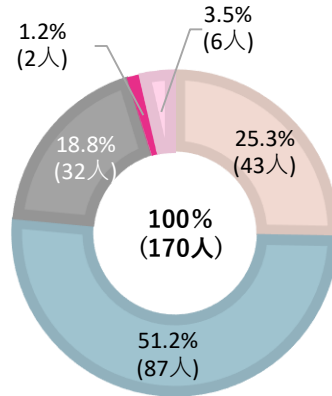
函館市内に公立の4年制看護系大学(学部)があったら進学したいと思いますか。

高校生(全体)

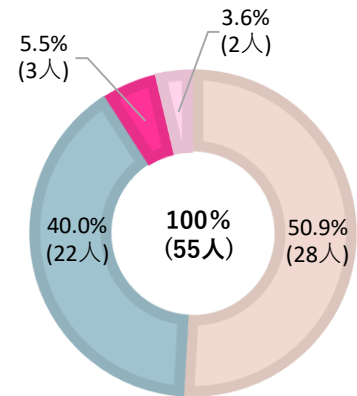


高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

(高校生(函館市))



(保護者)



■ぜひ進学させたい(したい) ■進学を検討させたい(したい) ■進学を希望しない
■その他 ■無回答・不明

	回答区分	高校生(函館市)		高校生(渡島・檜山)		高校生(青森県)		高校生(全体)		保護者	
1	ぜひ進学させたい(したい)	43	25.3%	2	11.8%	20	10.2%	65	17.0%	28	50.9%
2	進学を検討させたい(したい)	87	51.2%	7	41.2%	96	49.0%	190	49.6%	22	40.0%
3	進学を希望しない	32	18.8%	5	29.4%	69	35.2%	106	27.7%	0	-
4	その他	2	1.2%	0	-	2	1.0%	4	1.0%	3	5.5%
5	無回答・不明	6	3.5%	3	17.6%	9	4.6%	18	4.7%	2	3.6%
	(n)=	170	100%	17	100%	196	100%	383	100%	55	100%

- 高校生(全体)では「ぜひ進学したい」が17.0%、「進学を検討したい」が49.6%と、合計で6割以上が進学先の候補として考えると回答した。
- 高校生(函館市)では「進学を検討したい」が51.2%と最も多く、「ぜひ進学したい」との合計で8割近くが進学を考えるとおり、地元での進学の可能性に高い期待が寄せられていることが窺える。
- 高校生(青森県)では、「ぜひ進学したい」が10.2%と多くはないものの「進学を検討したい」が49.0%となっており、県内において看護学に関する進学環境が一定程度充実している状況からすれば、十分に選択肢の一つとなり得るものと考えられる。
- 保護者の回答では「ぜひ進学させたい」が50.9%、「進学を検討したい」が40.0%と、両者の合計で90.9%が進学先として考えると回答した。
- 高校生(函館市)の回答でも両者の合計は76.5%となっており、両者ともに地元で通うことができる看護系大学(学部)への期待が高いことが窺える。

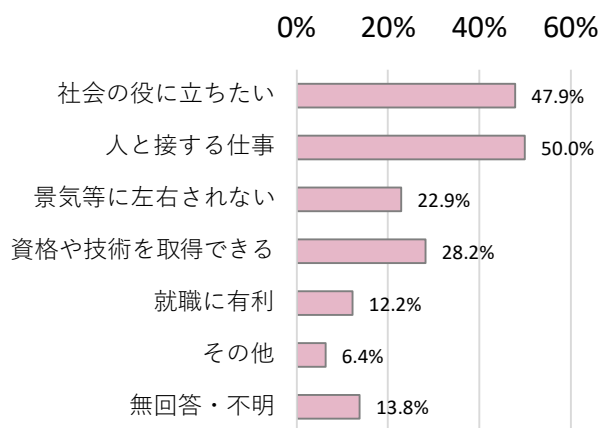
(参考) 問3(進学希望分野)で「看護学」を選択した市内高校生の希望進路別の問8(進学希望)回答状況

回答区分	国公立大		私大		国公立 問わず大学		大学希望 小計		短大	看護 専門学校		いずれでも よい		未定		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 ぜひ進学	7	16.3%	4	26.7%	2	20.0%	13	19.1%	0	27	32.1%	1	20.0%	1	14.3%	1	100%	0	-
2 進学を検討	21	48.8%	6	40.0%	7	70.0%	34	50.0%	0	45	53.6%	2	40.0%	5	71.4%	0	-	1	20.0%
3 希望しない	12	27.9%	5	33.3%	1	10.0%	18	26.4%	0	11	13.1%	2	40.0%	1	14.3%	0	-	0	-
4 その他	1	2.3%	0	-	0	-	1	1.5%	0	1	1.2%	0	-	0	-	0	-	0	-
5 無回答	2	4.7%	0	-	0	-	2	3.0%	0	0	-	0	-	0	-	0	-	4	80.0%
(n)=	43	100%	15	100%	10	100%	68	100%	0	84	100%	5	100%	7	100%	1	100%	5	100%

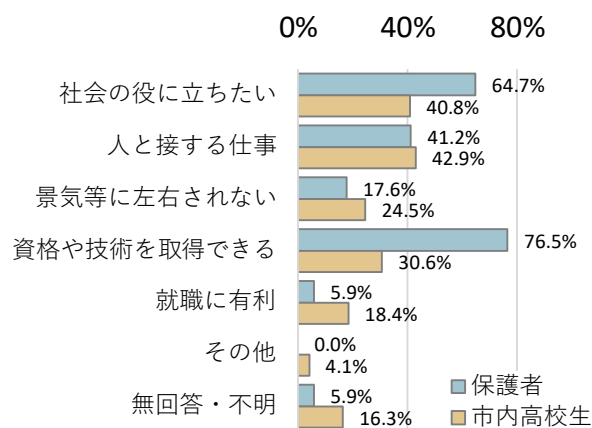
- 函館市内に4年制看護系大学(学部)がある場合、「ぜひ進学したい」,「進学を検討したい」と回答した高校生(函館市)は,大学への進学を希望する生徒では7割弱の割合となっており,看護専門学校への進学を希望する生徒ではどちらの割合も大学進学希望者に比べて高くなっている。

問9 (問3で「3 社会学・福祉学」選択者)
社会学・福祉学を希望する理由は何ですか。(複数回答)

高校生(全体)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

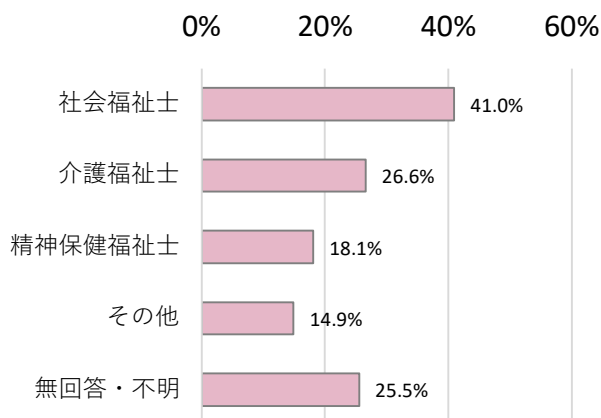


	回答区分	高校生(函館市)		高校生(渡島・檜山)		高校生(青森県)		高校生(全体)		保護者	
1	社会の役に立ちたい (立つ)	20	40.8%	5	33.3%	65	52.4%	90	47.9%	11	64.7%
2	人と接する仕事に就きたい (就かせたい)	21	42.9%	7	46.7%	66	53.2%	94	50.0%	7	41.2%
3	景気等に関係なく必要と される分野	12	24.5%	3	20.0%	28	22.6%	43	22.9%	3	17.6%
4	資格や技術を取得できる	15	30.6%	3	20.0%	35	28.2%	53	28.2%	13	76.5%
5	就職に有利	9	18.4%	0	0.0%	14	11.3%	23	12.2%	1	5.9%
6	その他	2	4.1%	1	6.7%	9	7.3%	12	6.4%	0	-
7	無回答・不明	8	16.3%	2	13.3%	16	12.9%	26	13.8%	1	5.9%
	(n)=	49	-	15	-	124	-	188	-	17	-

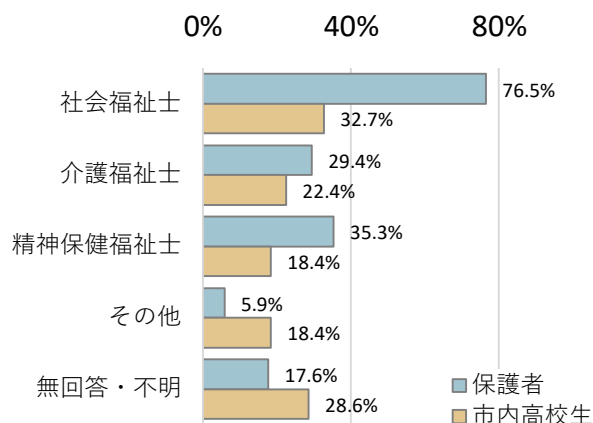
- 高校生(全体)では「人と接する仕事に就きたい」が50.0%と最も多く、次いで「社会の役に立ちたい」が47.9%、「資格や技術を取得できる」が28.2%となっている。
- 保護者の回答では「資格や技術を取得できる」が76.5%と最も多く、次いで「社会の役に立つ」が64.7%と続く。
- 高校生(函館市)と保護者の比較では「資格や技術を取得できる」で保護者の方が約46ポイント多くなっている。

問10 (問3で「3 社会学・福祉学」選択者)
将来取得したい資格はどれですか。(複数回答)

高校生(全体)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較



	回答区分	高校生(函館市)		高校生(渡島・檜山)		高校生(青森県)		高校生(全体)		保護者	
1	社会福祉士	16	32.7%	4	26.7%	57	46.0%	77	41.0%	13	76.5%
2	介護福祉士	11	22.4%	6	40.0%	33	26.6%	50	26.6%	5	29.4%
3	精神保健福祉士	9	18.4%	2	13.3%	23	18.5%	34	18.1%	6	35.3%
4	その他	9	18.4%	3	20.0%	16	12.9%	28	14.9%	1	5.9%
5	無回答・不明	14	28.6%	2	13.3%	32	25.8%	48	25.5%	3	17.6%
	(n)=	49	-	15	-	124	-	188	-	17	-

- 高校生(全体)では「社会福祉士」が41.0%と最も多く、次に「介護福祉士」が26.6%となっている。
- 保護者の回答では「社会福祉士」が76.5%と最も多く、次いで「精神保健福祉士」が35.3%、「介護福祉士」が29.4%となっている。

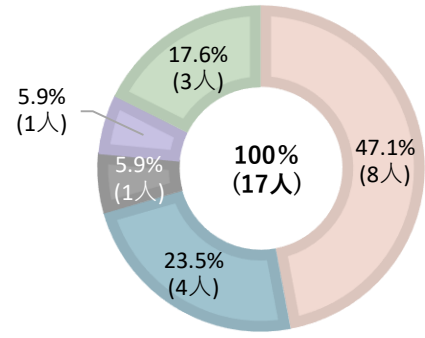
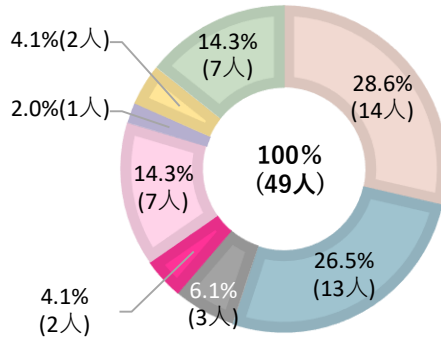
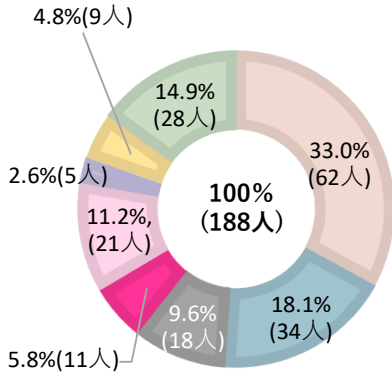
問11 (問3で「3 社会学・福祉学」選択者) 最も希望する進路を教えてください。

高校生(全体)

高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

(高校生(函館市))

(保護者)



■ 国公立大学
■ 短期大学
■ 未定

■ 私立大学
■ 専門学校
■ その他

■ 国公立・私立を問わず大学
■ 資格が取ればいずれでも
■ 無回答・不明

回答区分	高校生(函館市)	高校生(渡島・檜山)	高校生(青森県)	高校生(全体)	保護者
1 国公立大学	14 28.6%	2 13.3%	46 37.1%	62 33.0%	8 47.1%
2 私立大学	13 26.5%	4 26.6%	17 13.7%	34 18.1%	4 23.5%
3 国公立・私立を問わず大学	3 6.1%	1 6.7%	14 11.3%	18 9.6%	1 5.9%
4 短期大学	2 4.1%	1 6.7%	8 6.5%	11 5.8%	0 -
5 専門学校	7 14.3%	2 13.3%	12 9.7%	21 11.2%	0 -
6 資格が取ればいずれでも	1 2.0%	1 6.7%	3 2.4%	5 2.6%	1 5.9%
7 未定	2 4.1%	1 6.7%	6 4.8%	9 4.8%	0 -
8 その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
9 無回答・不明	7 14.3%	3 20.0%	18 14.5%	28 14.9%	3 17.6%
(n)=	49 100%	15 100%	124 100%	188 100%	17 100%

- 高校生(全体)では「国公立大学」が33.0%と最も高く、「私立大学」の18.1%や「専門学校」の11.2%と比較しても高い割合となっている。
- 「国公立大学」が高校生(函館市)では28.6%、高校生(青森県)でも37.1%と最も高い割合となっているが、高校生(渡島・檜山)では「私立大学」が26.6%と最も高くなっている。
- 保護者の回答では「国公立大学」が47.1%と最も高く、「私立大学」が23.5%と続く。
- 高校生(函館市)と保護者との比較では、「国公立大学」、「私立大学」、「国公立・私立を問わず大学」の大学進学となる3つの選択肢の合計が、高校生の61.2%に対して保護者では76.5%と、約15ポイント高くなっている。保護者の方が高校生より大学進学に関して明確な希望を持っていることが窺える。

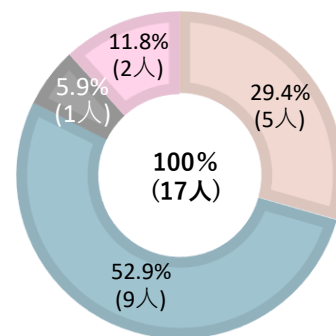
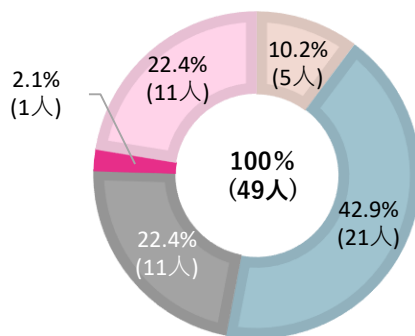
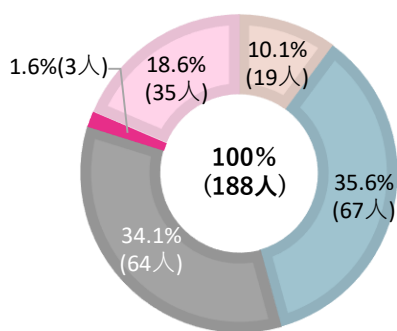
問12 (問3で「3 社会学・福祉学」選択者)
 函館市内に公立の4年制福祉系大学(学部)があったら進学したいと思いますか。

高校生(全体)

高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

(高校生(函館市))

(保護者)



■ ぜひ進学したい(させたい) ■ 進学を検討したい(させたい) ■ 進学を希望しない
 ■ その他 ■ 無回答・不明

	回答区分	高校生(函館市)		高校生(渡島・檜山)		高校生(青森県)		高校生(全体)		保護者	
1	ぜひ進学したい(させたい)	5	10.2%	0	0.0%	14	11.3%	19	10.1%	5	29.4%
2	進学を検討したい(させたい)	21	42.9%	7	46.7%	39	31.5%	67	35.6%	9	52.9%
3	進学を希望しない	11	22.4%	6	40.0%	47	37.9%	64	34.1%	1	5.9%
4	その他	1	2.1%	0	-	2	1.6%	3	1.6%	0	-
5	無回答・不明	11	22.4%	2	13.3%	22	17.7%	35	18.6%	2	11.8%
	(n)=	49	-	15	-	124	-	188	-	17	-

- 高校生(全体)では「ぜひ進学したい」が10.1%、「進学を検討したい」が35.6%となっており、両方の合計で45.7%が進学を考えるとしている。
- 高校生(函館市)では「ぜひ進学したい」が10.2%、「進学を検討したい」が42.9%と、合計53.1%が進学を考えるとしており、現在市内を含む道南に4年制福祉系大学(学部)がないことから、地元での進学に一定の期待感があるものと考えられる。
- 高校生(青森県)では「ぜひ進学したい」が11.3%、「進学を検討したい」が31.5%と、合計が42.8%となっている。
- 保護者では「進学を検討したい」が52.9%、「ぜひ進学させたい」が29.4%、合計で82.3%と高い割合で進学先として考えると回答した。
- 高校生(函館市)の回答における両者の合計が53.1%であり、地元での公立の4年制福祉系大学(学部)への期待が高いが、保護者の方がより高い期待感を持っていると考えられる。

問13 看護師や福祉人材の養成について、ご意見ご要望などがあれば自由にお書きください。（自由記述） ※ 回答の中から一部を抜粋

高校生（函館市）

- 函館市内に大学があれば進学したい。家を出ることによってかかる費用が多くなるので市内にあればぜひ進学したいと思う。
- 函館に看護学部がある大学ができるのは嬉しいです。学費の問題があるので国公立が良いです。
- 私は看護師になりたい高校生です。中学校の時から看護師になりたく今高校に入学したのですが、より様々な知識を蓄えたり、技術力・論理力を培える大学に進学したいと考えていましたが、函館には専門学校しかなく、家庭的にも厳しい状況でこれからも親に苦勞をかけてしまうのを十分承知な上で、札幌の大学に進学しようと考えていました。なので将来的にたくさんの知識を蓄えてから函館に戻り看護師として働きたい高校生はいると思うので、看護師育成をする大学をすぐにでも作って欲しいです。
- 看護大学があれば、函館にいたい人は一人暮らしをしないでも通うことができ家庭の経済面的にはいいと思います。でもそれより若い人が大学卒業後に戻って来やすい街にする政策もあるといいと思います。
- 積極的にやってほしい。4年制大学を視野に入れてほしい。新しい大学ができれば街も盛り上がると思う。
- 奨学金を使って進学したいです。
- 4年制である必要はないと思う。学費がその分かかるし、国試合格など結果が出るまで時間がかかるから人が集まらなそう。
- 函館には看護師の養成校がたくさんあるのに、福祉系(社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士)の養成校がなくとても悲しいです。今の現状、福祉系の仕事に携わりたいと思っている高校生は少ないです。ですが中には私みたいに福祉系の仕事に携わりたいと思って大学を探してる人もいます。私は将来社会福祉士になりたいと思っているので社会福祉士の国家資格を取得できる大学を探しています。そして生まれも育ちも函館、大好きな街も函館です。この素晴らしい街で福祉系の資格を取得できる大学があったらさらに函館が良くなると思います。できることなら今すぐにでもこのような大学を作ってほしいです。これからも函館市民として支えさせていただきます。
- 函館の人は看護系に行く人が多いため他の地域より倍率が高くなるのが少し不安。

高校生（青森県）

- お母さんが看護師をしていて今教える立場ですが、とても医療は難しそうだなと思っています。体力とコミュニケーション能力は自分はある程度ありますが、ちょっと気になる程度で自信ありません。これからもお仕事頑張ってください。
- 公立で看護科のある大学を増やしてほしい。
- 助産師なれるところ少ないのでぜひつくってほしいです。

保護者

- 函館に国公立の看護学部がある大学ができるのは良いと思う。看護師資格だけではなく保健師や助産師も取れるとなお良いと思います。
- 看護、介護以外の学部なら考える余地あります。
- 早急に函館に医療系大学を設立してほしい。函館を出たくなくても学校がないから函館を出ざるをえない状況です。すぐにでも進路を決めないといけないお子様もいらっしゃいます。一日でも早く設立してほしいと思います。また、函館に新しい医療系の学校ができましたが、費用が高く、良心的ではありません。市外の学校のほうが国家資格の合格率も高く、費用も私立大学並となると、市外に進学させるご家庭も多いと思います。早く函館にも医療系大学を設置し若い世代の市外流出を止めてほしいと思います。
- 小学生の娘がずっと看護師になりたいと言っているのですが、このままでは札幌などに出なくては行けなくなるので、ぜひ看護大学を函館に作ってほしいです。
- お金がないので看護学校でも行かせるかわからないのに大学は無理。大学を作ったとしても函館に人が残るかはわからないと思う。ただでさえ、どこも看護師不足だし、職員はどう確保するのかと思う。
- 函館には看護学校しかないのですが、時代的にはやはり四年制を卒業してる人材を求めているのではないかと思います。また、もしつくるのであれば、4年の間に助産師、保健師を目指せる方がより魅力的だと思う。
- 娘が札幌の看護大学に通っています。
- 看護だけではなく医療大学を検討してほしい。
- 看護師希望で考えてますが、函館には看護大学がないために進路の幅が狭いと思います。市内や近郊から通える看護大学を開設してもらって資格取得後も地元に残って貰えるような環境を考えてもらいたいです。人口が減る中で、少しでも若い人の選択肢が増える事をお願いしたいです。
- 函館の介護施設の利用者の高齢者の方々が幸せな生活を送れる環境を整えてあげて欲しいです。そしてそれをみて函館で学んだ学生が函館の事業所はすてきな～働きたいな～と思ってくれるのではないのでしょうか。具体的にはお花を眺めたり野菜を育てたりちょっと散歩できるような場所などを必ず整備することを努力義務化して補助金を事業所に出すとかできませんか？高齢者が楽しく暮らせるよう努力する函館を誇らしく思いたいです。
- 助産師の資格取得の為には看護学校卒業後大学に編入しないと行けない、そうすると函館を出る事になる、結果函館に戻る事はなくなっているように思います。編入する事でまたお金もかかりますし、やはり看護医療系の大学設置はするべきかと思っています。
- 学費が安ければ大学に通わせたいが、現実的には厳しいと思う。
- 出来れば早く作って欲しかったです。

- 函館にぜひ放射線技師臨床工学技士の学校をつくってください！じゃないとみんな高校卒業したら函館から出て行きます。学費も相当高くアパート代など仕送りとはとてもなく大変です。自分達の生活，まだ残ってる子供の学費，家のローン，車のローンに函館からでた子供の仕送りなんて本当に本当に大変すぎます。ぜひ函館に専門学校や大学を作ってください。
- 函館に大学があることで持続可能なまちづくりができる。
- 人材養成は大変大事なことですが，養成したからといって函館周辺地域の人材が増加するとは思えません。卒業後に他の地域に就職します。大学を設置するなら，それに伴った対策が必要です。それを怠っては経費の無駄遣いです。私は看護師です。
- 私は訪問看護ステーションで事務員をしていますが，訪問看護に興味のある看護師は少ないと感じます。高齢化，在宅での最期には，訪問看護の，看護師は足りていないと感じます。
- 大学をつくっても維持できるのか，その分市民へ負担が増えそう。函館の人が残るとは限らないと思う。
- 今，大学進学が当たり前の時代なので，看護学校も大学に移行していった方が良いと思います。
- 看護系の各学校の詳細が分かるような資料が欲しい。金額等。
- 保健師になるコースはどのようなカリキュラムになりますか。私は看護師です。身体的にも精神的にも大変で，看護師への将来はすすめていません。保健師の学科があるなら，どのようなものか知りたい。
- 今2年生なので，公立大学に看護学部を作るなら，ぜひとも早く作ってほしい。ちょっと間に合わないと思いますが…。
- 函館市にぜひ看護系大学設立してほしいです。進路の幅が広がります。
- 地元の大学で学び，卒業後も地域に貢献して欲しいです。是非函館に看護大学を設置し，看護専門学校と切磋琢磨し，医療スタッフの知識，技術の向上をお願い致します。
- 函館市・その近郊の人口も減り続け，消滅可能性都市に挙げられている現状や財源の中で，教育内容含めどこまで現実的なのか。今までもこのことはあがってきていた話なのに，なぜ今さらに，苦しい現状の中でアンケートが行われているのか。本当に「いまさら」と思ってしまう。
- 看護師や福祉人材の養成の大学は函館にあるので看護系福祉系にプラスで医療系の資格例えば放射線技師とかの資格も取れる大学が函館に1校あるといいのではと思う。魅力のある大学が函館にあったら進学してそのまま函館で就職とかもあるかもしれない。資格を取らせてあげたいけど，地元から離れての場所だったらかかるお金も莫大な金額になるし奨学金制度もあるけど，それでは足りない事もあると思う。遠くに行かなくても地元で好きな資格が取れる大学があったらいいなあと思う。
- 看護以外の全人的な教育も忘れずにしていただきたい。

以下は、問3で「1看護学」を選択した方がお答えください。

問5 看護学を希望する理由は何ですか。(あてはまるもの全てにチェック)

- 1 社会の役に立ちたいから 2 人と接する仕事に就きたいから
 3 景気などに関係なく必要とされる分野だから 4 資格や技術を取得できるから
 5 就職に有利だから 6 その他 ()

問6 将来取得したい資格はどれですか。(あてはまるもの全てにチェック)

- 1 看護師 2 保健師 3 助産師 4 その他 ()

問7 希望する進路を教えてください。(最もあてはまるもの1つにチェック)

- 1 国公立大学(4年制) 2 私立大学(4年制) 3 国公立・私立を問わず大学(4年制)
 4 短期大学 5 看護専門学校 6 資格が取得できればいずれでもよい
 7 まだ決まっていない 8 その他 ()

問8 函館市内に公立の4年制看護系大学(学部)があったら進学したいと思いますか。(いずれか1つにチェック)

- 1 ぜひ進学したい 2 進学を検討したい 3 進学を希望しない
 4 その他 ()

以下は、問3で「3社会学・福祉学」を選択した方がお答えください。

問9 社会学・福祉学を希望する理由は何ですか。(あてはまるもの全てにチェック)

- 1 社会の役に立ちたいから 2 人と接する仕事に就きたいから
 3 景気などに関係なく必要とされる分野だから 4 資格や技術を取得できるから
 5 就職に有利だから 6 その他 ()

問10 将来取得したい資格はどれですか。(あてはまるもの全てにチェック)

- 1 社会福祉士 2 介護福祉士 3 精神保健福祉士 4 その他 ()

問11 希望する進路を教えてください。(最もあてはまるもの1つにチェック)

- 1 国公立大学(4年制) 2 私立大学(4年制) 3 国公立・私立を問わず大学(4年制)
 4 短期大学 5 専門学校 6 資格が取得できればいずれでもよい
 7 まだ決まっていない 8 その他 ()

問12 函館市内に公立の4年制福祉系大学(学部)があったら進学したいと思いますか。(いずれか1つにチェック)

- 1 ぜひ進学したい 2 進学を検討したい 3 進学を希望しない
 4 その他 ()

その他、看護師や福祉人材の養成について、ご意見ご要望などがあれば自由にお書きください。

以上でアンケートはすべて終了です。ご協力ありがとうございました。

以下は、問3で「1看護学」を選択した方がお答えください。

問5 看護学を希望する理由は何ですか。(あてはまるもの全てにチェック)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1 社会の役に立つから | <input type="checkbox"/> 2 人と接する仕事だから |
| <input type="checkbox"/> 3 景気などに関係なく必要とされる分野だから | <input type="checkbox"/> 4 資格や技術を取得できるから |
| <input type="checkbox"/> 5 就職に有利だから | <input type="checkbox"/> 6 その他 () |

問6 将来取得してほしい資格はどれですか。(あてはまるもの全てにチェック)

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 看護師 | <input type="checkbox"/> 2 保健師 | <input type="checkbox"/> 3 助産師 | <input type="checkbox"/> 4 その他 () |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|

問7 お子さんの進路として希望する進路を教えてください。(最もあてはまるもの1つにチェック)

- | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 1 国公立大学 (4年制) | <input type="radio"/> 2 私立大学 (4年制) | <input type="radio"/> 3 国公立・私立を問わず大学 (4年制) |
| <input type="radio"/> 4 短期大学 | <input type="radio"/> 5 看護専門学校 | <input type="radio"/> 6 資格が取得できればいずれでもよい |
| <input type="radio"/> 7 まだ決まっていない | <input type="radio"/> 8 その他 () | |

問8 函館市内に公立の4年制看護系大学(学部)があったら進学させたいと思いますか。(いずれか1つにチェック)

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> 1 ぜひ進学させたい | <input type="radio"/> 2 進学を検討したい | <input type="radio"/> 3 進学を希望しない |
| <input type="radio"/> 4 その他 () | | |

以下は、問3で「3社会学・福祉学」を選択した方がお答えください。

問9 社会学・福祉学を希望する理由は何ですか。(あてはまるもの全てにチェック)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1 社会の役に立つから | <input type="checkbox"/> 2 人と接する仕事だから |
| <input type="checkbox"/> 3 景気などに関係なく必要とされる分野だから | <input type="checkbox"/> 4 資格や技術を取得できるから |
| <input type="checkbox"/> 5 就職に有利だから | <input type="checkbox"/> 6 その他 () |

問10 将来取得してほしい資格はどれですか。(あてはまるもの全てにチェック)

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 社会福祉士 | <input type="checkbox"/> 2 介護福祉士 | <input type="checkbox"/> 3 精神保健福祉士 | <input type="checkbox"/> 4 その他 () |
|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

問11 お子さんの進路として希望する進路を教えてください。(最もあてはまるもの1つにチェック)

- | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 1 国公立大学 (4年制) | <input type="radio"/> 2 私立大学 (4年制) | <input type="radio"/> 3 国公立・私立を問わず大学 (4年制) |
| <input type="radio"/> 4 短期大学 | <input type="radio"/> 5 専門学校 | <input type="radio"/> 6 資格が取得できればいずれでもよい |
| <input type="radio"/> 7 まだ決まっていない | <input type="radio"/> 8 その他 () | |

問12 函館市内に公立の4年制福祉系大学(学部)があったら進学させたいと思いますか。(いずれか1つにチェック)

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> 1 ぜひ進学させたい | <input type="radio"/> 2 進学を検討したい | <input type="radio"/> 3 進学を希望しない |
| <input type="radio"/> 4 その他 () | | |

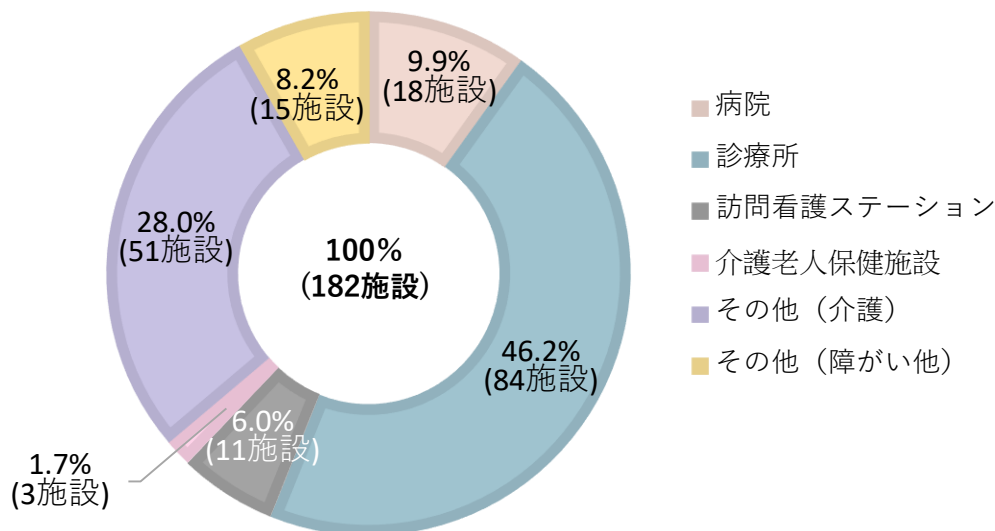
その他、看護師や福祉人材の養成について、ご意見ご要望などがあれば自由にお書きください。

以上でアンケートはすべて終了です。ご協力ありがとうございました。

Ⅲ 看護職員の人材需要等に関するアンケート調査結果 (医療機関等に対するアンケート)

1 調査項目

問1 貴施設の種類のどれに該当しますか。

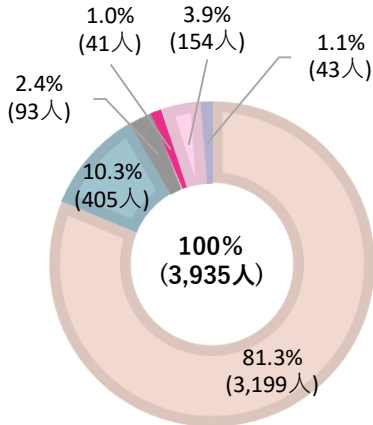


回答区分	配付数	回答数	回答率	回答数に占める割合	区分の説明
病院	25	18	72.0%	9.9%	病床数20床以上の医療機関
診療所	160	84	52.5%	46.2%	病床数19床以下の医療機関
訪問看護ステーション	31	11	35.5%	6.0%	自宅療養者に対し医療機関と連携して訪問看護を行う事業所
介護老人保健施設	8	3	37.5%	1.7%	要介護高齢者に対して介護やリハビリなどを提供して自立を支援する事業所
その他(介護)	229	51	22.3%	28.0%	上記の訪問看護ステーションおよび介護老人保健施設以外で看護職員の配置を要する介護事業所(特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム、地域包括支援センター等)
その他(障がい他)	23	15	65.2%	8.2%	障がい者施設などのうち看護職員の配置を要する施設、乳児院、救護施設
合計	476	182	38.2%	100%	

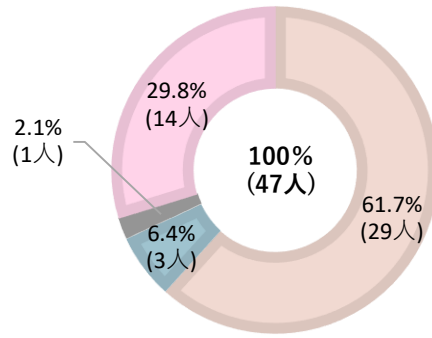
○ 本アンケートは、医療機関のほか、看護師、准看護師、保健師、助産師の配置を要する各種事業所に対して調査を実施(保健所など公的機関は除く)し、函館市内の182事業所から回答を得た。

問2 現在、在職している看護職員の人数を教えてください。

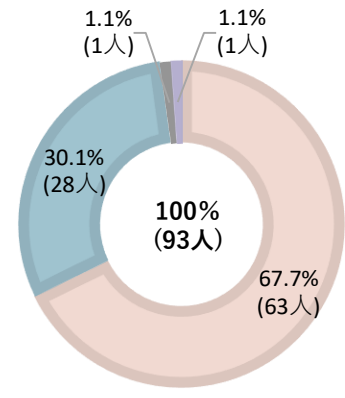
(看護師・准看護師)



(保健師)



(助産師)



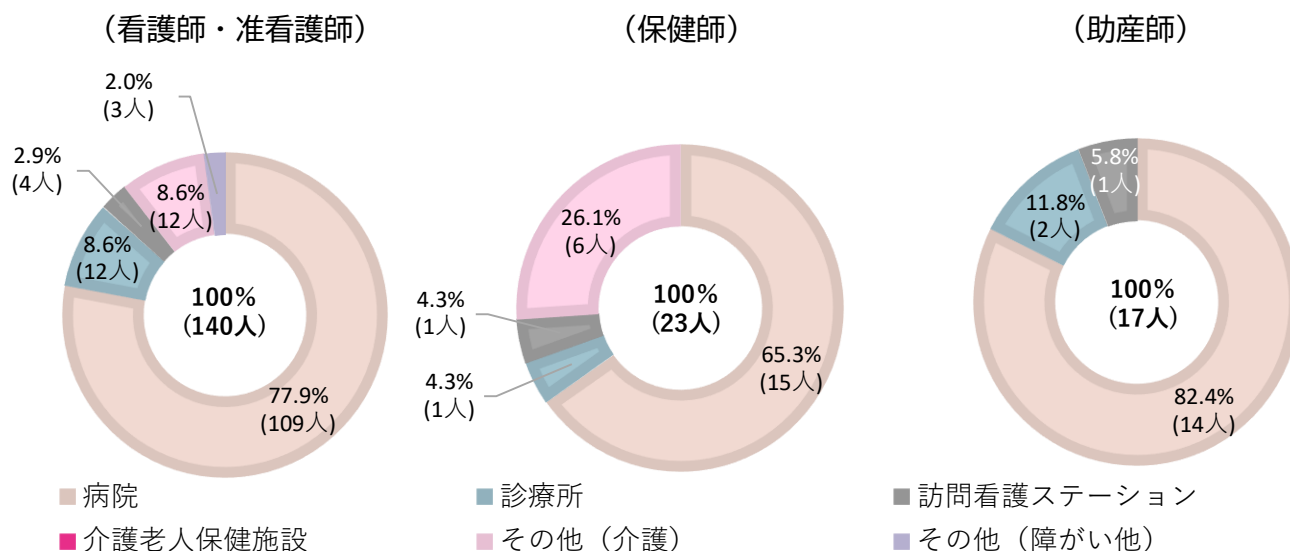
■ 病院
■ 診療所
■ 訪問看護ステーション
■ 介護老人保健施設
■ その他(介護)
■ その他(障がい他)

	回答区分	看護師・准看護師		保健師		助産師		看護職員計	
1	病院	3,199	81.3%	29	61.7%	63	67.7%	3,291	80.8%
2	診療所	405	10.3%	3	6.4%	28	30.1%	436	10.7%
3	訪問看護ステーション	93	2.4%	1	2.1%	1	1.1%	95	2.3%
4	介護老人保健施設	41	1.0%	0	-	0	-	41	1.0%
5	その他(介護)	154	3.9%	14	29.8%	0	-	168	4.1%
6	その他(障がい他)	43	1.1%	0	-	1	1.1%	44	1.1%
	(n)=	3,935	100%	47	100%	93	100%	4,075	100%

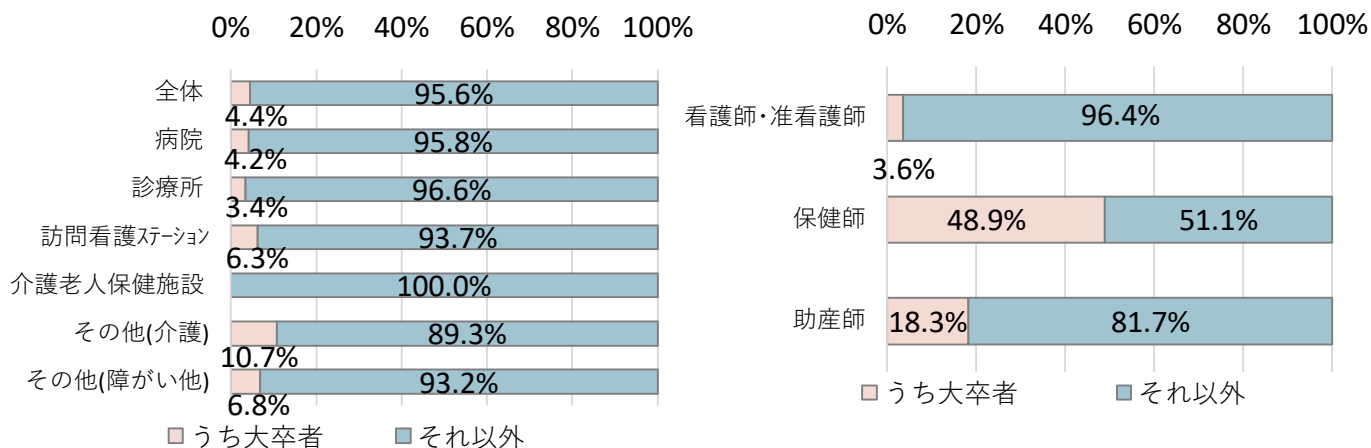
総数に占める割合		96.5%	1.2%	2.3%	100%

- 回答のあった182の施設で勤務する看護師・准看護師，保健師，助産師の総数は4,075人であり，そのうち約97%は看護師・准看護師が占めている。
- 施設別では，看護師・准看護師の8割が病院勤務であるのに対し，保健師は約3割がその他介護施設，助産師の約3割が診療所で勤務している。

問2 (在職している看護職員のうち大卒者の数)



(総数に占める大卒者の割合)

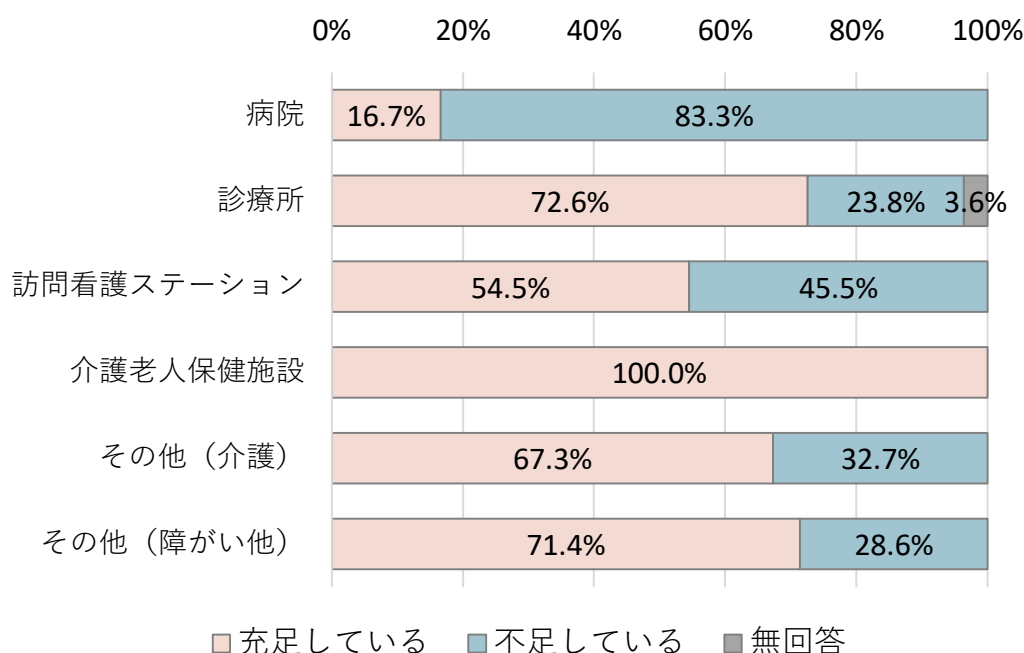


回答区分	看護師・准看護師		保健師		助産師		大卒看護職員計		調査総数	総数に占める割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1 病院	109	77.9%	15	65.3%	14	82.4%	138	76.7%	3,291	4.2%
2 診療所	12	8.6%	1	4.3%	2	11.8%	15	8.3%	436	3.4%
3 訪問看護ステーション	4	2.9%	1	4.3%	1	5.8%	6	3.3%	95	6.3%
4 介護老人保健施設	0	-	0	-	0	-	0	-	41	-
5 その他(介護)	12	8.6%	6	26.1%	0	-	18	10.0%	168	10.7%
6 その他(障がい他)	3	2.0%	0	-	0	-	3	1.7%	44	6.8%
(n)=	140	100%	23	100%	17	100%	180	100%	4,075	4.4%

総数に占める割合	3,935	3.6%	47	48.9%	93	18.3%	-	-	-	-
-----------------	--------------	-------------	-----------	--------------	-----------	--------------	---	---	---	---

- 看護職員のうち大卒者の人数について尋ねたところ、病院が77.9%と最も多く、診療所、その他(介護)が8.6%と続く。
- 総数に占める大卒者の割合は全体の4.4%に留まっており、職種別では、資格を得るために大学を含む指定学校での修学が必要な保健師では約5割が大卒者となっているが、看護師では3.6%と非常に低い。

問3 現在の貴施設における看護職員の充足状況をどのようにお考えですか。



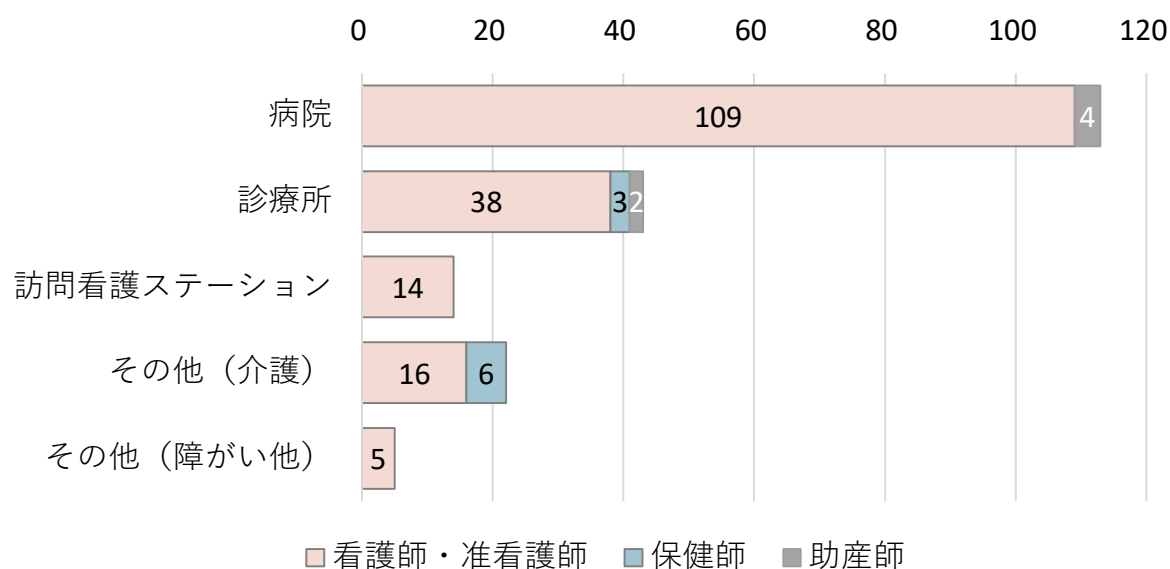
	回答区分	充足している		不足している		無回答		(n)=	
1	病院	3	16.7%	15	83.3%	0	-	18	100.0%
2	診療所	61	72.6%	20	23.8%	3	3.6%	84	100.0%
3	訪問看護ステーション	6	54.5%	5	45.5%	0	-	11	100.0%
4	介護老人保健施設	3	100.0%	0	-	0	-	3	100.0%
5	その他(介護)	35	67.3%	17	32.7%	0	-	52	100.0%
6	その他(障がい他)	10	71.4%	4	28.6%	0	-	14	100.0%
	合計	118	64.8%	61	33.5%	3	1.7%	182	100%

○ 施設別にみると「充足している」と答えた割合が最も高いのが介護老人保健施設で、全施設で充足していると回答している。また、診療所が72.6%、その他(障がい他)が71.4%となっており、これらの施設では看護職員の充足度が比較的高いと考えられる。

反対に、「充足している」と答えた割合が最も低いのが病院で16.7%、次いで訪問看護ステーションの54.5%となっている。

○ このように看護職員の充足度は施設ごとに大きく異なっており、充足度が高い施設がある一方で、看護職員が最も多く在職する病院における充足度が低いことは、地域における看護職員の需要に大きな影響を及ぼしているものと考えられる。

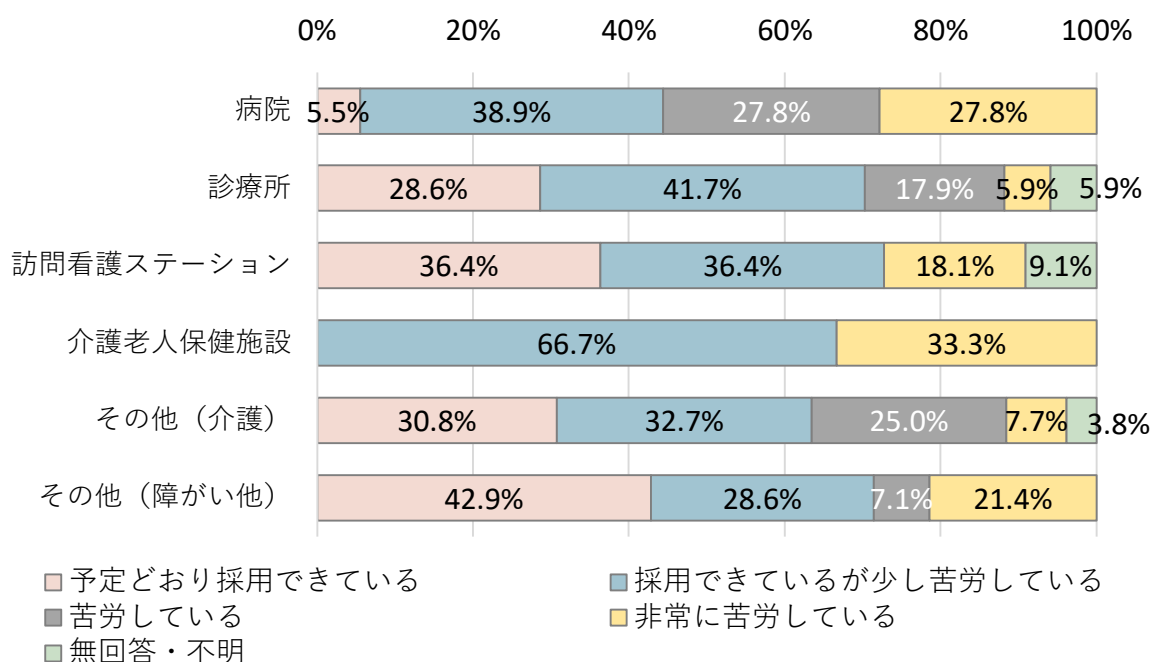
問4 (問3で「不足している」と回答の場合)
現在の貴施設における看護職員のおおよその不足数を教えてください。



回答区分	看護師・准看護師			保健師			助産師		
	人数	施設数	平均	人数	施設数	平均	人数	施設数	平均
1 病院	109	15	7.3人	0	0	—	4	2	2.0人
2 診療所	38	19	2.0人	3	2	1.5人	2	1	2.0人
3 訪問看護ステーション	14	5	2.8人	0	0	—	0	0	—
4 その他(介護)	16	12	1.3人	6	5	1.2人	0	0	—
5 その他(障がい他)	5	4	1.3人	0	0	—	0	0	—
合計	182	55	3.3人	9	7	1.3人	6	3	2.0人

- 全体では、看護師・准看護師が182人、保健師が9人、助産師が6人の不足となっており、特に「不足している」と回答した病院1施設あたりで7.3人の看護師が不足しているという回答であった。
- 本設問の結果が、今後の看護職員採用見込み数と一致するものではないが、病院をはじめとして一定数の看護職員不足が発生しているものと考えられる。

問5 現在の貴施設における看護職員の採用状況をどのようにお考えですか。



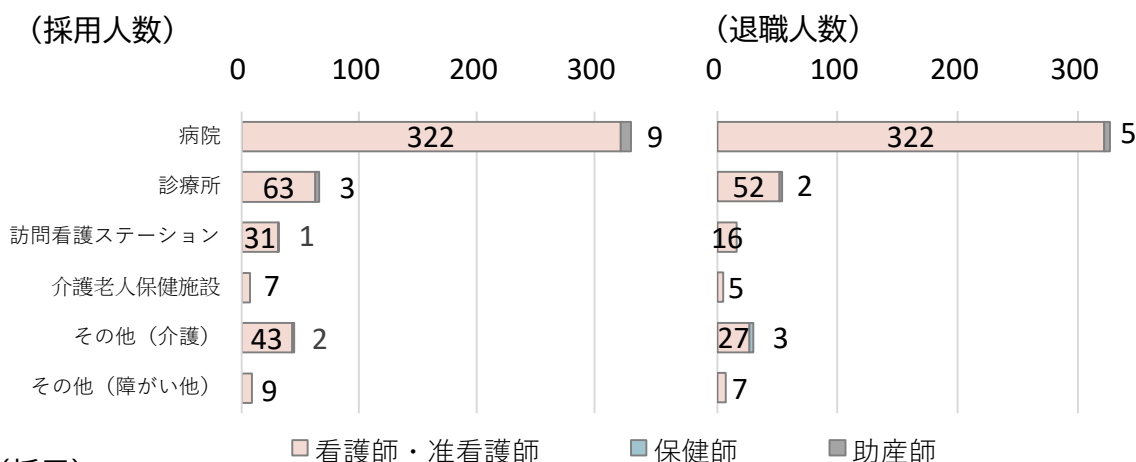
回答区分	予定どおり採用できている		採用できているが少し苦勞		苦勞している		非常に苦勞している		無回答・不明		(n)=	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1 病院	1	5.5%	7	38.9%	5	27.8%	5	27.8%	0	-	18	100.0%
2 診療所	24	28.6%	35	41.7%	15	17.9%	5	5.9%	5	5.9%	84	100.0%
3 訪問看護ステーション	4	36.4%	4	36.4%	0	-	2	18.1%	1	9.1%	11	100.0%
4 介護老人保健施設	0	-	2	66.7%	0	-	1	33.3%	0	-	3	100.0%
5 その他（介護）	16	30.8%	17	32.7%	13	25.0%	4	7.7%	2	3.8%	52	100.0%
6 その他（障がい他）	6	42.9%	4	28.6%	1	7.1%	3	21.4%	0	-	14	100.0%
合計	51	28.0%	69	37.9%	34	18.7%	20	11.0%	8	4.4%	182	100%

○ 現在の採用状況については「予定どおり採用できている」と回答した割合が最も高いのがその他（障がい他）の42.9%で、以下、訪問看護ステーションが36.4%、その他（介護）が30.8%と続いている。

○ 全体で見ると、「採用できているが少し苦勞」している施設の割合が最も高く、「苦勞している」と「非常に苦勞している」を加えると、約7割の施設が採用に対して苦勞があると感じている。

問6 貴施設における令和4年度（1年間）の看護職員の採用人数を教えてください。

問7 貴施設における令和4年度（1年間）の看護職員の退職人数を教えてください。



(採用)

回答区分	看護師・准看護師			保健師			助産師		
	人数	施設数	平均	人数	施設数	平均	人数	施設数	平均
1 病院	322	18	17.9人	0	18	—	9	18	0.50人
2 診療所	63	84	0.8人	0	84	—	3	84	0.04人
3 訪問看護ステーション	31	11	2.8人	1	11	0.09人	0	11	—
4 介護老人保健施設	7	3	2.3人	0	3	—	0	3	—
5 その他（介護）	43	51	0.8人	2	51	0.04人	0	51	—
6 その他（障がい他）	9	15	0.6人	0	15	—	0	15	—
合計	475	182	2.6人	3	182	0.02人	12	182	0.07人

(退職)

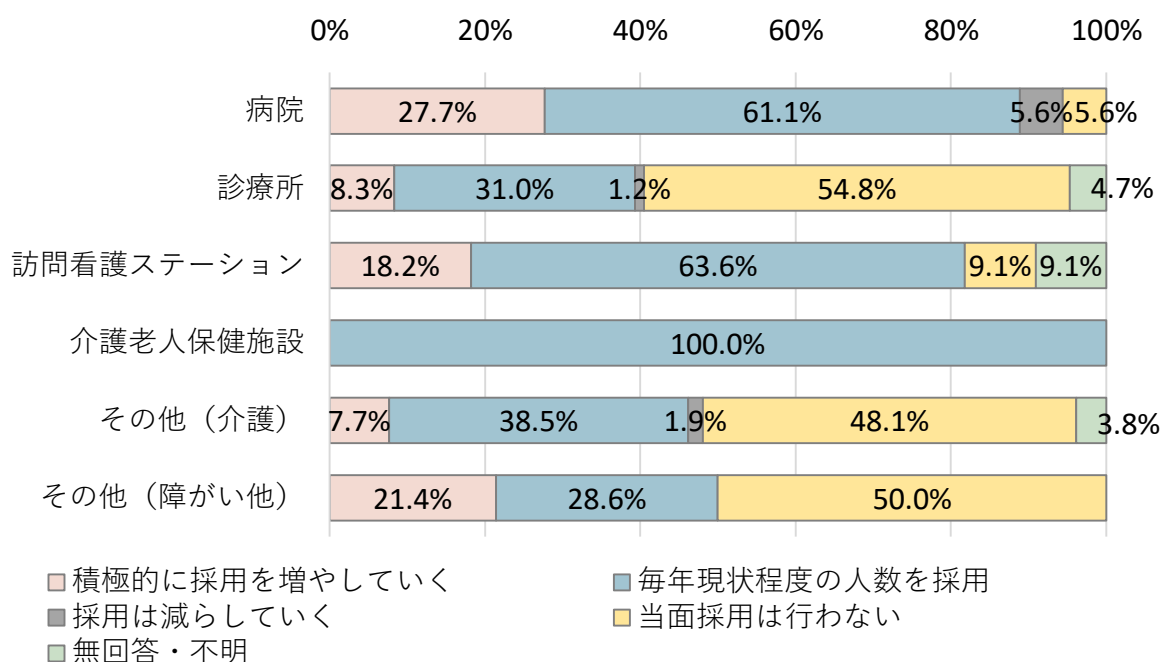
回答区分	看護師・准看護師			保健師			助産師		
	人数	施設数	平均	人数	施設数	平均	人数	施設数	平均
1 病院	322	18	17.9人	0	18	—	5	18	0.28人
2 診療所	52	84	0.6人	0	84	—	2	84	0.02人
3 訪問看護ステーション	16	11	1.5人	0	11	—	0	11	—
4 介護老人保健施設	5	3	1.7人	0	3	—	0	3	—
5 その他（介護）	27	51	0.5人	3	51	0.06人	0	51	—
6 その他（障がい他）	7	15	0.5人	0	15	—	0	15	—
合計	429	182	2.4人	3	182	0.02人	7	182	0.04人

(採用人数と退職人数の差し引き)

回答区分	看護師・准看護師	保健師	助産師	看護職員計
1 病院	0	0	4	4
2 診療所	11	0	1	12
3 訪問看護ステーション	15	1	0	16
4 介護老人保健施設	2	0	0	2
5 その他（介護）	16	▲1	0	15
6 その他（障がい他）	2	0	0	2
合計	46	0	5	51

- 令和4年度の1年間で、看護師・准看護師が46人のプラスとなっており、看護職員の総数は増加しているものと考えられる。
- 保健師についてはプラスマイナス0人、助産師は5人のプラスとなっている

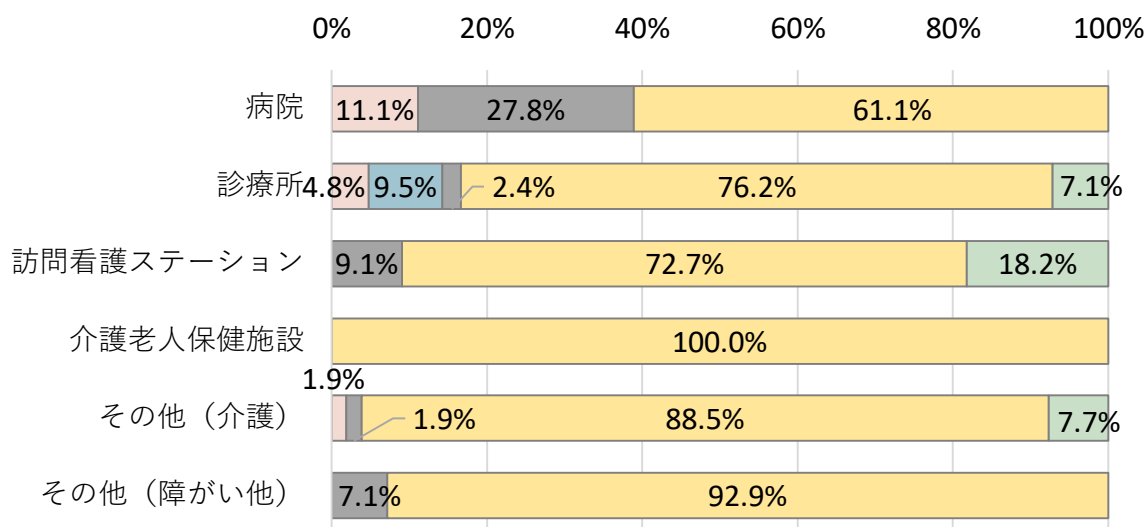
問8 貴施設における看護職員の今後の採用方針について、どのようにお考えですか。



回答区分	積極的に採用を増やしていく		毎年現状程度の人数を採用		採用は減らしていく		当面採用は行わない		無回答・不明		(n)=	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 病院	5	27.7%	11	61.1%	1	5.6%	1	5.6%	0	-	18	100.0%
2 診療所	7	8.3%	26	31.0%	1	1.2%	46	54.8%	4	4.7%	84	100.0%
3 訪問看護ステーション	2	18.2%	7	63.6%	0	-	1	9.1%	1	9.1%	11	100.0%
4 介護老人保健施設	0	-	3	100.0%	0	-	0	-	0	-	3	100.0%
5 その他(介護)	4	7.7%	20	38.5%	1	1.9%	25	48.1%	2	3.8%	52	100.0%
6 その他(障がい他)	3	21.4%	4	28.6%	0	-	7	50.0%	0	-	14	100.0%
合計	21	11.5%	71	39.0%	3	1.7%	80	44.0%	7	3.8%	182	100%

- 病院、訪問看護ステーション、介護老人保健施設では「毎年現状程度の人数を採用していく」との回答が最も多かった一方、診療所、その他(介護)、その他(障がい他)では「当面採用は行わない」が最も多く、施設種別によって差がある。
- 「積極的に採用を増やしていく」と回答した割合が最も高いのが病院の27.7%で、次いでその他(障がい他)が21.4%、訪問看護ステーションの18.2%となっている。
- 一方、「当面採用は行わない」と回答した割合が最も高いのが診療所の54.8%で、次いでその他(障がい他)が50.0%、その他(介護)が48.1%となっているが、これは問3で充足度が高いと回答した施設とほぼ一致する。

問9 貴施設における今後の新卒看護職員の採用方針を教えてください。

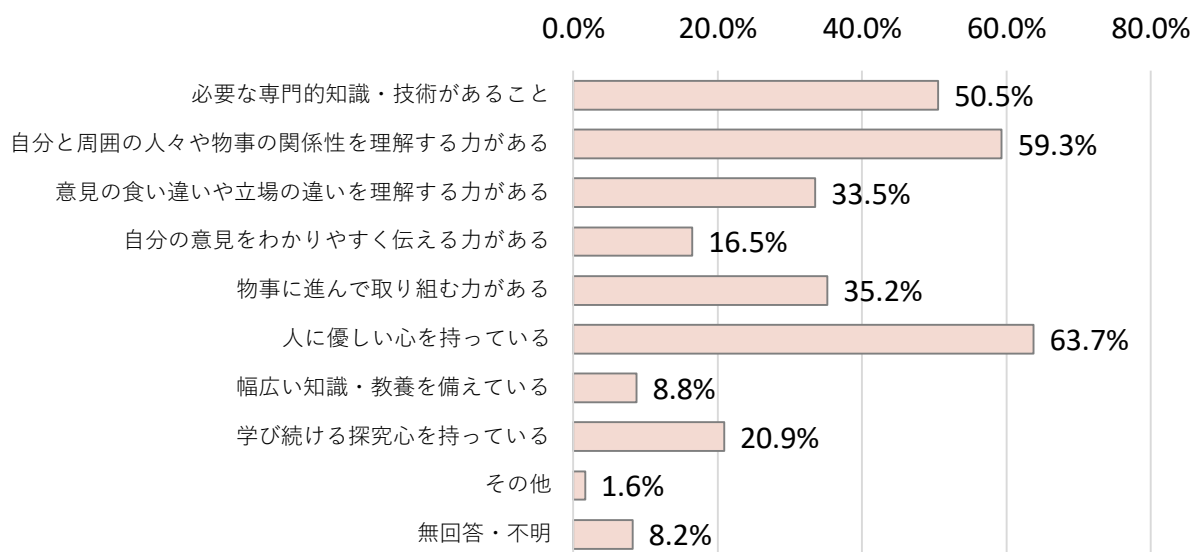


- 4年制大学卒を中心に採用
- 4年制大学卒・看護専門学校卒をバランスよく採用
- その他
- 看護専門学校卒を中心に採用
- 採用は人材次第なので学校種別にはこだわらない
- 無回答・不明

回答区分	4年制大学卒を中心に採用		看護専門学校卒を中心に採用		4年制大学卒・看護専門学校卒をバランスよく採用		採用は人材次第なので学校種別にはこだわらない		その他		無回答・不明		(n)=	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 病院	2	11.1%	0	-	5	27.8%	11	61.1%	0	-	0	-	18	100.0%
2 診療所	4	4.8%	8	9.5%	2	2.4%	64	76.2%	6	7.1%	0	-	84	100.0%
3 訪問看護ステーション	0	-	0	-	1	9.1%	8	72.7%	2	18.2%	0	-	11	100.0%
4 介護老人保健施設	0	-	0	-	0	-	3	100.0%	0	-	0	-	3	100.0%
5 その他(介護)	1	1.9%	0	-	1	1.9%	46	88.5%	4	7.7%	0	-	52	100.0%
6 その他(障がい他)	0	-	0	-	1	7.1%	13	92.9%	0	-	0	-	14	100.0%
合計	7	3.8%	8	4.4%	10	5.5%	145	79.7%	12	6.6%	0	0%	182	100%

- 全ての施設種別で最も多かったのが「採用は人材次第なので学校種別にはこだわらない」で、約8割が選択している。
- 病院では27.8%が「4年制大学卒・看護専門学校卒をバランスよく採用」、11.1%が「4年制大学卒を中心に採用」と回答している。

問10 看護職員を採用する際に、貴施設ではどのようなことを特に重視していますか。
(3つまで選択)

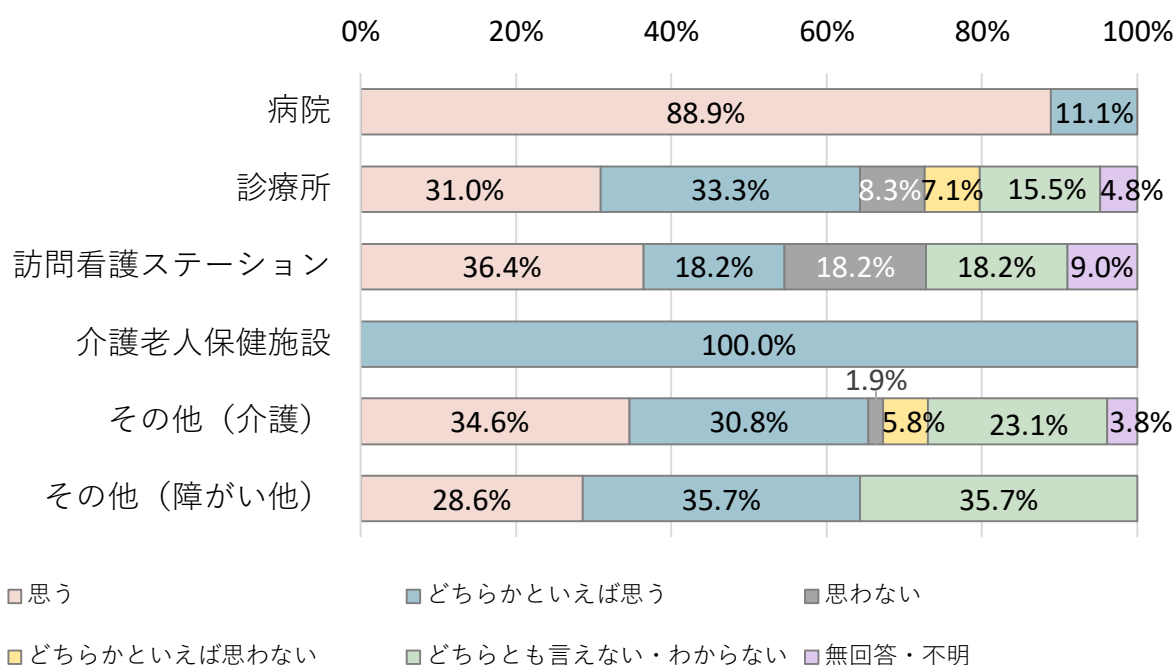


	回答区分	専門的知識・技術がある		自分と周囲の人々や物事の関係性を理解する力がある		意見の食い違いや立場の違いを理解する力がある		自分の意見を分かりやすく伝える力がある		物事に進んで取り組む力がある	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	病院	4	22.2%	11	61.1%	9	50.0%	6	33.3%	6	33.3%
2	診療所	43	51.2%	48	57.1%	24	28.6%	11	13.1%	33	39.3%
3	訪問看護ステーション	7	63.6%	3	27.3%	3	27.3%	2	18.2%	4	36.4%
4	介護老人保健施設	1	33.3%	2	66.7%	2	66.7%	0	-	1	33.3%
5	その他(介護)	30	57.7%	34	65.4%	15	28.8%	9	17.3%	19	36.5%
6	その他(障がい他)	7	50.0%	10	71.4%	8	57.1%	2	14.3%	1	7.1%
合計		90	50.5%	108	59.3%	61	33.5%	30	16.5%	64	35.2%

	人に優しい心を持っている	幅広い知識・教養を備えている	学び続ける探究心を持っている	その他	無回答・不明	(n)=						
病院	12	66.7%	0	-	5	27.8%	0	-	0	-	18	-
診療所	53	63.1%	9	10.7%	19	22.6%	1	1.2%	9	10.7%	84	-
訪問看護ステーション	6	54.5%	1	9.1%	7	63.6%	0	-	0	-	11	-
介護老人保健施設	3	100.0%	0	-	0	-	0	-	0	-	3	-
その他(介護)	34	65.4%	5	9.6%	4	7.7%	1	1.9%	5	9.6%	52	-
その他(障がい他)	8	57.1%	1	7.1%	3	21.4%	1	7.1%	1	7.1%	14	-
合計	116	63.7%	16	8.8%	38	20.9%	3	1.6%	15	8.2%	182	

○ 全体では「人に優しい心を持っていること」が63.7%と最も高く、次いで「自分と周囲の人々や物事の関係性を理解する力があること」が59.3%、「必要な専門的知識・技術があること」が50.5%と続いている。

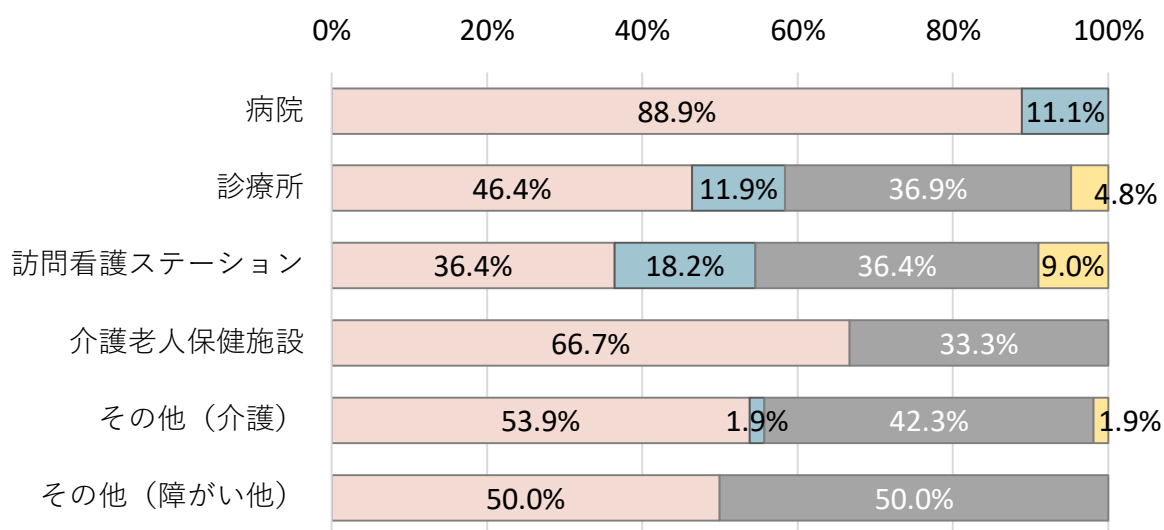
問11 近年、慢性的な看護師不足や医療の高度化などへの対応のため、全国的に看護系大学の設置が増加しています。函館市内の医療機関等に、4年制の看護系大学を卒業した看護職員は必要だと思いますか。



回答区分	思う		どちらかといえば思う		思わない		どちらかといえば思わない		どちらとも言えない・わからない		無回答・不明		(n)=	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 病院	16	88.9%	2	11.1%	0	-	0	-	0	-	0	-	18	100.0%
2 診療所	26	31.0%	28	33.3%	7	8.3%	6	7.1%	13	15.5%	4	4.8%	84	100.0%
3 訪問看護ステーション	4	36.4%	2	18.2%	2	18.2%	0	-	2	18.2%	1	9.0%	11	100.0%
4 介護老人保健施設	0	-	3	100.0%	0	-	0	-	0	-	0	-	3	100.0%
5 その他(介護)	18	34.6%	16	30.8%	1	1.9%	3	5.8%	12	23.1%	2	3.8%	52	100.0%
6 その他(障がい他)	4	28.6%	5	35.7%	0	-	0	-	5	35.7%	0	-	14	100.0%
合計	68	37.4%	56	30.8%	10	5.5%	9	4.9%	32	17.6%	7	3.8%	182	100%

- いずれの回答区分においても「思う」, 「どちらかといえば思う」と回答した割合の合計が5割を超えている。
- 特に病院では、全ての施設で「思う」, 「どちらかといえば思う」を選択している。

問12 函館市内への4年制の看護系大学(学部)設置の必要性をどのようにお考えですか。



■必要である ■必要ではない ■どちらとも言えない・わからない ■無回答・不明

回答区分	必要である		必要ではない		どちらとも言えない・わからない		無回答・不明		(n)=	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 病院	16	88.9%	2	11.1%	0	-	0	-	18	100.0%
2 診療所	39	46.4%	10	11.9%	31	36.9%	4	4.8%	84	100.0%
3 訪問看護ステーション	4	36.4%	2	18.2%	4	36.4%	1	9.0%	11	100.0%
4 介護老人保健施設	2	66.7%	0	-	1	33.3%	0	-	3	100.0%
5 その他(介護)	28	53.9%	1	1.9%	22	42.3%	1	1.9%	52	100.0%
6 その他(障がい他)	7	50.0%	0	-	7	50.0%	0	-	14	100.0%
合計	96	52.8%	15	8.2%	65	35.7%	6	3.3%	182	100%

- 全体では52.8%が「必要である」と回答しているが、一方で35.7%が「どちらとも言えない・わからない」と回答している。
- 「必要である」と回答したうち最も割合が高いのは病院の88.9%であり、最も割合が低い訪問看護ステーションで36.4%、その他の施設は概ね5割程度だが、全ての回答区分で最も高い割合となっている。

問13 問12（函館市内への4年制の看護系大学，学部設置の必要性）でそのように回答した理由を教えてください。（自由記述） ※回答の中から一部を抜粋

1 看護系大学・学部の設置は必要である

- 函館市の活性化や医療レベル向上のため。
- 高齢化社会を考えた時に若い力の看護師はこれから必要だと思います。
- 看護師を目指す人材がいた場合，函館では専門学校および看護学院しかない状況。より深い知識と技術，関連分野のスキル取得を志す者としては4年制大学があっても良いと考える。現状では4年制を目指す場合，北海道では札幌を中心とした都市に行かなければならない，道外では東北地方まで行かなければならない等，費用の面でも大変である。人口減の函館にとって若者の活性化につなげられる取り組みとしては必要であると考えます。
- 人材確保は急務である。首都圏で卒業した学生が地元に戻ってくる可能性は大変低い。保護者の教育費仕送りなど支出も大きく，地元での人材育成は必要である。
- 人口流出防止に伴い，地域に根差した雇用促進につながる。
- より専門的，先進的な医療知識が必要なため。
- 看護師不足を実感しているため。
- 函館市の医療の質の向上のために必要だと思う。
- 優秀な人材が函館にとどまってくださると全体のレベルが上がると思います。
- 専門学校との差別化のためにもある程度の偏差値は必要かと考える。
- 若い優秀な人材が流出してしまうから。
- 函館市の街の活性化にもつながる事業になると思う。
- 求人状況を見ても看護師が不足しているから。
- 幅広い知識，専門性が必要だから。
- 4年制大学に進学できる学力がある看護師が他地域に流出することを止めるため。保健師が不足しているため。
- 看護師不足と高度医療への対応として必要。
- スキルの高い看護師が多くなる事は良いと思う。
- 函館市で地域看護を学び，地元で保健師として活躍できる人材を育成するために必要と考える。
- 学生の他地区への流出にいくらか抑制がかかるので。
- 看護領域も多様化，高度化しており，自ら主体的に学び高める力を持った人材を育成するには，看護系大学は必要と考えますし，そのニーズは高まっています。しかし地元で看護系大学がなければ，看護師を志望する学生は必然的に市外へと進学し，なかなか戻ってきません。函館・道南地域の看護師の質をさらに高めていくためにも大学設置は必要と考えます。

- 技術，教養のレベルアップ。
- 4年制大学へ進学するための函館市外への人材の流出を防ぐため。および，人材確保のため。
- 函館市在住で看護大学を希望される学生は札幌もしくは青森県の大学に入学していることが多いかと思えます。地元の大学進学希望者は一定数，見込まれ函館市内の看護大学設置のニーズは高いと思えます。また将来的に函館市，道南圏の看護師確保につながると考えます。
- 看護師が必要になった場合充足しやすくなる。
- 地域包括支援センターでは保健師の配置人数が決められていますが，応募がなく，採用に大変苦慮しているため，看護師だけではなく保健師養成課程もある大学があってほしい。
- 地域の医療・福祉の向上に，高度な知識を有する人材が必要と考えるため。
- 大学があることで，地元で就職する看護師が増える。
- 少子化の中，看護希望者は，以前より大学志向が強くなっているため市外へ流出しており，看護人材および人口の確保になる。
- 様々な疾患が流行しつつあり，今までどおりの看護業務だけでは追い付かない現状が見えており，より専門性が高い学び舎が必要と思われる。
- 市内の選択肢がないため，弘前や秋田，札幌などの看護大学に行ってしまうケースが多く，市内で通いたいニーズにこたえていないため
- 専門科目が多岐にわたっており，現在の専門学校で習得するには授業や実習の予定がタイトであるため。また多くの学生が来ることで函館市内に若い方が増えるため。
- 4年制大学であれば，看護師のほか保健師の養成も可能であるため，保健師の人材確保につながると考える。
- 現在市内では看護大学がない為，親元を離れ市外に出ないとなりません。市内に看護大学があることで市外に出る必要性がなくなると思えます。市内の看護大学卒業後は市内の医療機関へ就職し地域医療に貢献して頂ければ函館市も高齢化進行している状況ですので，1ヶ所はあっても良いのかと思われます。
- 函館市民の他市への流出を止めるために，看護系にかかわらず大学設置は必要であると考え。看護領域も多様化，高度化しており，自ら主体的に学び高める力を持った人材を育成するには，看護系大学は必要と考えますし，そのニーズは高まっています。しかし地元で看護系大学がなければ，看護師を志望する学生は必然的に市外へと進学し，なかなか戻ってきません。函館・道南地域の看護師の質をさらに高めていくためにも大学設置は必要と考えます。また大学があることでの経済的効果や人口へのプラス効果は確実にあると考えます。ぜひ進めていただきたいと思っています。
- 卒業後の専門分野（認定看護師・専門看護師・特定行為研修等）の修了者を増やすため。
- 経済的な親の負担もかなり軽減でき，看護大学を選択する若者が増えていくと考えられる。
- 函館市の若年層の過疎化を防ぐ目的と，看護師を目指している高校生の選択肢の少なさ，函館市に看護大学があれば，函館を離れる必要性はなく，専門学校をなくなく選択している場合もあるため，ぜひ，函館にも看護大学を検討してほしいです。

- 技術のみでなく理論や一般教養を備えたリーダー的人材が地域にも必要。
- 地元のことを理解し、看護師の中心となる人材が必要と考えているため

2 看護系大学・学部の設置は必要ない

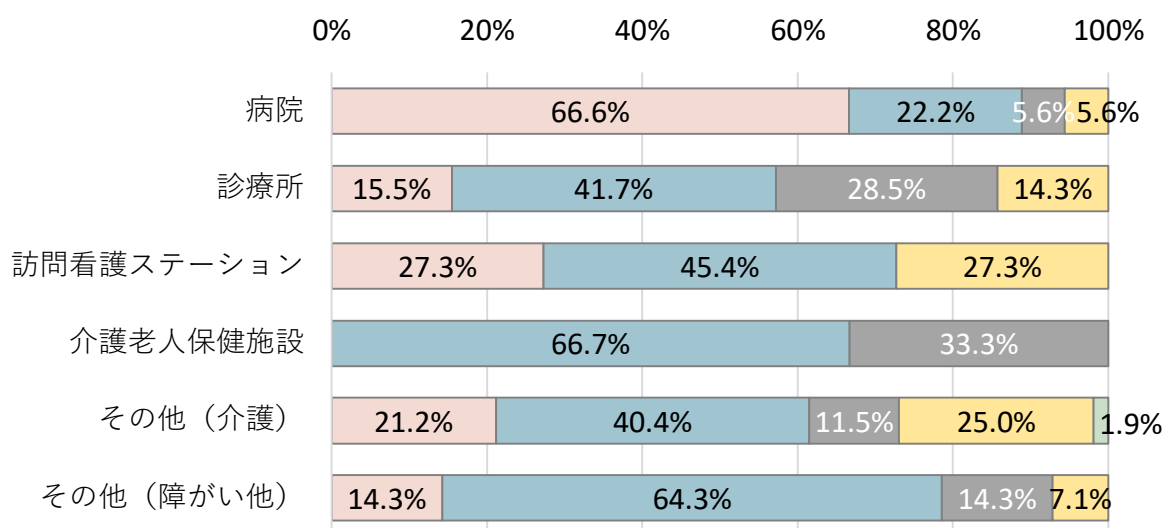
- 函館市内の既存の病院で実習するのであれば、特に変わらないと思う（大卒看護師採用していた時も、専門学校卒と比較して特に優れていると感じたことはない）
- 学生の親の金銭の負担が大きくなるのではないか。
- 学部卒の看護師でなくても十分に対応できると思われるから。
- 育てても地元で根付いて働いてくれるとは限らない。
- 函館市内の二次救急を行っている急性期の病院であれば需要はあると思うが、その病院にも看護学校が併設しているケースもあると思うので必要ではないと思います。
- 函館市内の医療機関では大卒看護師のニーズがそれほど多いとは思われず、看護大卒の看護師は、他の地域で学んだ人材で十分に事足りると思われるから。
- 進学を希望する学生は少ないと思います。
- 資金、教職員、学生いずれも確保が困難と考える。
- 学校を維持できるだけの入学希望者がいるとは思えない。

3 どちらとも言えない・わからない

- 介護施設の立場を考えると、看護師不足が続いており、看護学校を増やしてほしいと考えます。ただ、医療を高度化させるには、看護系大学は必須ではありますが、進学者数を考えると続いていくことができるかわからないところです。
- 新設したばかりの函館医師会の看護学校が無駄になるようでは困るだろう。
- そこまで高度な看護技術や知識というよりも、人に対して優しい気持ちをもって、利用者様やそのご家族と介護職員と一緒にチームとして働いて下さる人材が欲しい。
- 函館市における看護師の需給バランスがよくわからない。人口が減少し続けているので必要があるのか不明。
- 学生数が減少しており、看護専門学校が3校ある中で将来定員割れが懸念されている。病院は数が多い中、高度医療を行っている病院は限られている。また、高齢者が増加しており、高度な医療を希望しないケースも多い。したがってどちらとも言えない。
- 大きな病院においては必要と考えます。
- 4年制大学の教育方針は、専門性の追求だと考えます。専門知識を習得した人材はとても必要です。卒業後その人材をいかにプロに育てていくかが最も大事な課題です。残念ながら現在の複数有る総合病院の看護師の質を考えると、まだまだ4年制の卒業生を育てていくレベルではないと思います。同時に函館の医師の底上げをしていかないと、看護師は育ちません。

- 大学を設置しても、その後どういう状況になるのか想像できない。既存の看護学校等はどうなるのか。
- 大卒看護職員は一定程度必要とは思いますが今後も人口減少が見込まれる函館に新設するのは疑問。
- 定期的に若い層が転入することで多少なりとも活性化が期待できるが、既存の3年制専門学校への影響はないでしょうか
- 函館市内の学校を卒業したとしても、市内に就職するかについては疑問がある。
- 地方から函館市に入学者が多数となり、卒業後、函館市に残って仕事する魅力があるのか疑問に感じる。
- 4年制看護系大学はあってもいいとは思いますが、不足を解消したいのであれば3年で卒業出来る現存の看護学校の受け入れ人数を増やした方が効率的に増えると思います。
- 4年制大学が学生に需要があるならば必要。また、学生が函館市に進学、定住となるきっかけになるならば大いに賛成。ただし単科の設置なら否定的。
- 社会背景からも4年制大学の設置（教育）は必要であると考えますが、必ずしも地元の採用につながるとは限りません。既に市内には看護学校がありますが、そこでさえ卒業後に学生が残らない状況です。卒業後、函館に残りたいと思うような工夫を地域全体として考えていく必要があるのではないのでしょうか。
- 看護系大学は既に飽和状態に近い状況にあり、タイミングとしては遅いと思われるから。
- 函館市の人口減少化が進み衰退する中、各病院で経営する専門学校の存続意義等を踏まえ検討してほしい。介護現場において函館臨床福祉専門学校が撤退したようなことがないよう、函館市がどのように関わるのか大学誘致が優先するものではないと考える。
- 人材は必要に思うが、受け入れ先が無ければ函館を出て、都市部へ就職をしてしまうと思います。また、介護施設で働く看護職員と病院で働く看護師とでは給料形態もだいぶ違い、病院だけ人材が潤っても介護施設での看護職員不足ははたして解消できるのか少し疑問に思います。
- 看護系大学を卒業した所で、施設に就職する看護師は少ないのではないかと考えている為。高給の病院へ就職する事はあっても、新卒で施設に就職するとは思えません。学費にもよりますが、お礼奉公終了後、より高い給料を求めて札幌や関東へ若い人材は流れていくと予測できるため、看護系大学を設置する事と並行して人材流出を防ぐ施策を行政が行う必要があると考えております。
- あっていいと思うが、現状の専門学校の統一化も必要になるかと思われまじし、指導での人材確保が難しいと思うほか、大学病院がない現状での実習や、学びの場面の受け皿の少なさを感じます。
- 看護職志望の優秀な高校生が大学志望で外に出て行ってしまうことの対策にはなると思うが、既存の看護学校の間でどのような調整をするのかを危惧しているため
- 現在、看護学校卒業生を含め、個人診療所に卒業生がすぐに就職する人はいない。診療所の人員を確保するという意味では期待できない。

問14 函館市内に4年制の看護系大学(学部)が設置された場合、卒業生の採用について、どのように考えますか。



■ ぜひ採用したい ■ 採用を検討したい ■ 採用は考えない ■ その他 ■ 無回答・不明

回答区分	ぜひ採用したい		採用を検討したい		採用は考えない		その他		無回答・不明		(n)=	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 病院	12	66.6%	4	22.2%	1	5.6%	1	5.6%	0	-	18	100.0%
2 診療所	13	15.5%	35	41.7%	24	28.5%	12	14.3%	0	-	84	100.0%
3 訪問看護ステーション	3	27.3%	5	45.4%	0	-	3	27.3%	0	-	11	100.0%
4 介護老人保健施設	0	-	2	66.7%	1	33.3%	0	-	0	-	3	100.0%
5 その他(介護)	11	21.2%	21	40.4%	6	11.5%	13	25.0%	1	1.9%	52	100.0%
6 その他(障がい他)	2	14.3%	9	64.3%	2	14.3%	1	7.1%	0	-	14	100.0%
合計	41	22.5%	76	41.8%	34	18.7%	30	16.5%	1	0.5%	182	100%

- 各施設とも「ぜひ採用したい」, 「採用を検討したい」の合計が半数を超えている。
- 病院では「ぜひ採用したい」が66.6%, 「採用を検討したい」が22.2%, その合計が88.8%となっており, ほとんどの病院で採用を考えると回答した。
- 一方で, 診療所の28.5%, 介護老人保健施設の33.3%が「採用は考えない」と回答しており, 施設によって採用の考え方に大きな差があることが窺える。

問15 問14（函館市内に4年制の看護系大学(学部)が設置された場合の卒業生の採用）でそのように回答した理由を教えてください。(自由記述) ※回答の中から一部を抜粋

1 ぜひ採用したい

- 地域との連携が必要な職種であり、実習等での理解もしやすく卒業後も即戦力として期待できる。
- より専門的、先進的な医療知識が必要なため。
- 看護師不足のため。
- 将来的にリーダーになる人材を積極的に採用したい。
- 当施設職員も高齢者が多く、若い人材を強く求めているため。
- 優秀な人材だと考えるため。
- 看護師の仕事内容から看護学をはじめとした学問をしっかり学び着実に基礎を固めた人材が必要と考えます。
- 地元の地域性を学んでいる人材は有益であり、若い世代の函館市への定着も期待できるため。
- 救急の受け入れなども行っており、大学で学んだ専門的な内容を生かして欲しい。
- 看護師・准看護師のほとんどが看護学校卒業であり、看護業務の効率化など新しい風を入れるには大学卒業した看護師の採用が必要と思う。
- 学生の母数が増えることで、少しでも就職（採用）につながると思われるため。
- あらゆる場面に対応する上で、教育課程に於いてしっかりと理論を学んだ人材が必要であるため。
- 採用数等については充足状況によりますが、今後人員が不足した場合、地元の看護系大学を卒業した学生がいれば、積極的に採用したいと考えます。
- 4年間学んできた看護をアウトカムしながら現場とのすり合わせをする姿勢は以前からの専門学校卒業の人とは違うと感じています。更に、東大の4年生や、天使の学生と話したりしますが、学ぶ姿勢と相手の立場になる必要性を踏まえてました。そこらへんが3年では無理なのではと考えます。
- 函館は、糖尿病医療が遅れております。糖尿病療養指導士などの資格を取得させ、更なる函館の糖尿病医療の発展が必要だと痛感している。それには、看護系大学出身の看護師の力が必要である。

2 採用を検討したい

- 高度な専門知識や技術への期待。
- 新卒の採用は難しいが病院勤務の経験があれば学校種別はこだわらず採用したいので。
- 准看護師が不足したら考えたい。
- 知識・経験を踏まえた即戦力になる方がほしい。

- 施設での看護師がこれから必要になると思います。色々な経験を積んでいただき、社会に貢献していただけたらと思います。
- 看護師不足であるため、どのような形でも採用したい。
- 特に理由はないが、市内の看護系大学とのつながりにもなるため。
- レベルの高い人材を採用したいから。
- 幅広い知識、技術はもとより教養が重要だと思うから。
- キャリアや経験での判断も大切ですが専門的な知見からの説明・判断が必須と感じています。
- 高齢者施設ですので、一人で判断しながら業務を進めることが多いので、新卒よりは数年現場を経験した看護師を採用したい。
- 弊社の介護施設においては、看護師に対して高い専門性をそこまで求めていないため。
- 大卒であっても専門学校卒であっても、その人の人柄や学び続ける人材を採用していきたい。
- 現在看護師の高齢化と将来的な人材不足対応のため。
- 若い看護職員を育てていきたい一方で、総合病院等での臨床経験もある程度必要と考えており、検討の余地あり。
- 選択の幅が増えるのはいいことです。
- 採用は人材次第と考えるが、看護大学卒業者には、学歴から期待したい要素がある。
- どこを卒業していても社会で上手に働けるかは別問題なので大学、専門学校問わず採用は検討したい。

3 採用は考えない

- 診療所よりも病院での勤務が望ましいと思う。
- 賃金の高さが気になります。
- 施設の特性上、高度な医療技術や知識は必要ではないため。
- 短期入所施設での看護師の仕事は看護処置のみではなく、介護職としての役割もあるため、人材として適しているかどうかことが重要であること。また、事業を運営していくうえで、現状の介護給付費では大学卒の看護師の雇い入れは経営的に困難であると考え。
- 卒業＝一人前では有りません。大事な原石をいかに磨きプロにしていくか(卒後研修、フォローアップ研修、定期的な症例検討会、バーンアウトにならない為の支援)は、専門のチームを組んで(教育学を学んだ人が理想)各総合病院全体で取り組まなければ出来ません。時間とお金をかけた人材が育つ以前に辞めてしまいます。診療所では無理です。
- 現状の専門学校卒で問題ないを考えるため。
- 現職員とのアンバランスを避けたい。
- 新卒の教育は、病院の役割。

4 その他

- 新卒採用に対してのそれに見合う給与を支給することが難しい。
- ある程度、病院で経験を積んだのちであれば採用を考える。
- 常時医師が在中していないため、ある程度病院等での経験を積んだ看護師の採用を希望しているため。
- 高齢者施設なので、ある程度経験を積んだ看護職員が必要。
- 介護施設を希望する若年層の看護職員は稀であることと、介護施設でスキル向上には限界もあり、採用には消極的な結果とするかもしれません。
- 大卒に関わらず人間性を重視して採用したい。
- 小人数のクリニックのため、ある程度経験のある人員を採用するケースが多く、新卒者の採用を考慮する可能性は高くないです。

問16 看護職員の養成について、ご意見・ご要望等があればご自由にお書きください。

- 知的障がい・発達障がいについても講義，実習を加えていただきたい。（当法人以外にも，診療の場面で多くの方が関わることなので）養成に協力したい。
- 保健師養成する看護系大学の設置を希望します。
- 色々大変だと思いますが，将来を見据えて，頑張って大学を作ってください。
- 実習受け入れ，育成に関して全面的に協力したい。看護専門学校卒業生が保健師助産師免許取得できる養成機関が道内になく，保健師助産師養成課程があれば人材の流出も防げると考える。
- 知識だけでなく教養も身に付けてほしい。
- 在宅看護専門領域の学科があればいいですね。更に大学院が出来るとCNSも地元で学べる仕組みになるといいな～と思います。
- 看護職と同時に介護職の確保も考慮できればと思う。
- ぜひ看護大学を設置してください。大学があることで，現存の他の専門学校の質も上がったたり，現職の看護師の学習機会が増え，能力向上にもつながると思います。
- 将来的に在宅分野の拡充も考えており拡充した際には看護師の増員，採用増も考えております。
- 昔とは違い，看護師を目指す優秀な人材は看護大学に進学します。更に優秀な学生は，加えて保健師資格も取得できる大学を選んでいると思います。函館には看護専門学校は多くありますが，定員割れしていることもあり，ニーズは低下しているのではないのでしょうか。実際に現場では同じ国家試験を合格しても質の差は大きくあることは否定できません。実際，偏差値の高い学校の学生は函館を出て市外の看護大学に進学し，ほとんどのはそのまま戻ることはありません。今の函館には，数も必要だとは思いますが，他の看護師を育てていくことができる人材の確保と看護師の質の向上が必要だと思います。そのために，地元の学生を対象にした推薦入学を増やすことや，奨学金制度などを併せて検討していただきたいです。
- 看護職員の担い手が増える事を望みます。
- 未来大学看護学科を他の学校と違う特色のある看護師を輩出しているような特色に期待したい。
- 道南地域の出生数の減少は全国的にみてもきわめて深刻な状況で，このままでは当院のような分娩を取り扱う医療機関を維持していくことも決して容易ではなくなってきています。なかなか苦しい状況にはありますが，地域の医療を守るためには安全で質の高い医療を追求し，維持していかなければなりません。医療の領域は様々な面で常にアップデートされていきます。これまで以上に，自ら主体的に学ぶ意欲と高度の知識・技術をもった看護人材を地元でしっかり養成することは地域を守るための基盤となります。様々な困難もあろうかと思いますが，ぜひ実現に向けて取り組みを進めていただきたいと思います。

- 4年制大学を設立する場合、既存の3年制の専門学校は廃校・移管等をせずそのまま維持していただきたい。また、認定看護師の資格を取れる施設として運営を望む。認定看護師の資格で取れるとなると道南地区の看護の質が更に高まると期待される。
- 夜間学校など、働きながら資格取得ができる施設を増やして欲しい。費用負担が少なく、入学も比較的容易であればなお良いと思います。
- 是非、設置して頂きたい。
- 就労していない看護師の就労意欲が増すような函館市の環境が望まれる。
- 技術の修得と併せて人間としての基本的な道德観、倫理観の養成が必要。
- 高齢者施設としては、介護職員の確保についても急務だと思います。介護と看護は連携しますのでどちらか一方にはできないのではないのでしょうか、1つの科に看護と介護のコースがあれば良いと思います。
- 既存の専門学校との役割分担や現実的な共存を目指す必要があると考える。函館市に就職・定住してもらうための施策が必要と考える。
- 施設看護師は、採用時からある程度のスキルが求められるので新卒での採用が難しい。
- 学校教育や職場教育など組織によって教育に差があります。看護職員の養成に於いても地域で連携できるような仕組みがあればよいと考ます。また、看護職のみならず、若者が函館で働きたいと思えるような街づくりも必要ではないでしょうか。
- 看護系大学（学部）を設置するのであれば、保健師・助産師の養成を可能にするのはもとより、大学院も設置し、高度実践看護師の養成もできるようにするのが望ましい。
（当事業所看護師意見）
- 若者が函館を離れず、地元で学び、地元で就職できる環境を作って欲しいと思います。
- 看護大学を是非実現して下さい。
- 現在地域包括支援センターでは看護学生の実習受入をしているが、学校が増えることで受入に限界が生じる可能性があるのではないかとと思われる。今後養成して地域で採用を増やすのであれば、包括支援センターの保健師の配置基準を増やしていただければ、地域人材の採用も見込まれ、また、実習への対応も余裕ができると思う。看護職については、函館市内に病院が点在しすぎているため、病院の規模や役割等を集約して看護師が明確に求める病院に勤務できる態勢が必要と考える。専門性を求めると都市部の病院で勤務する必要がある。
- 今後、看護師不足が懸念される中、養成は必要であると思うが、看護師の処遇改善を検討し、魅力ある職業として選ばれることも重要であると思う。
- 在宅部門では、新卒より既卒看護師の方が採用しやすい。態度は良くても、知識と技術がなければ難しい。

- とても良い試みだと思いますが、是非函館に残って看護業務を続けられるように受け入れ先等を考えてあげて頂き、病院も介護施設も潤うと良いと思っております。
- 看護観や理念，エビデンス等専門的知識を身につけるのは大切ではあるが，人としての最低限のマナーやルールをまずはしっかり身につけさせて欲しいです。
- 函館に就職をする事を前提ではなく，全国に優秀な人材を輩出する前提で養成をしていく必要があると思います。
- 函館市内では高度な医療を提供している医療機関は限られますから，看護系大学を設置しても卒後大半は市外へ流出してしまうと予想されます。専門学校生のほうが卒后市外へ流出せず，地域に密着して就職する傾向はないでしょうか？以上は単なる仮説ですが，調査されては如何でしょうか。
- 中央に行かなければ取得できない資格を函館で受講できるためには大学が必要と考える。
- 患者，医師，同僚達との関係性を上手に作れる人間性がなにより重要であろう。技量はそのあとについてくる。
- 既存の看護専門学校での入学倍率を調査し，新設する看護大学が高卒生の需要と合致するか？市立看護大学とするなら設置場所の土地建物などの取得に税金を投入することになるが，ペイするのか？市民の理解は得られるのか？専任講師や大学職員の確保に目途がつくのか？市内の医療機関に講師派遣の依頼をするにしても皆さん総じて多忙ですから限度があります。以上様々なハードルがあると思います。

2 アンケート調査票

医療機関・施設用	
看護職員の人材需要等に関するアンケート	
<p>函館市では、急速に進行する高齢化や人口減少、看護・医療の高度化などに対応するため、4年生の看護系大学（学部）の設置について検討しており、このアンケート調査は、医療機関等における看護系4年制大学（学部）卒業生の人材需要等を把握するために実施するものです。</p> <p>このアンケートで得られた情報は、統計資料としてのみ活用し、医療機関等を特定することはありません。</p> <p>回答は、あてはまる選択肢の番号を回答欄に記入のうえ、電子メールまたはFAXでご回答ください。ご協力をお願いいたします。（FAX:0138-23-7604）</p> <p>なお、以下のホームページからも電子アンケートにより簡単に回答が可能です。</p> <p>https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/inquiry-keikaku/106/</p>	
■基本情報	
医療機関・施設名	
担当者名	電話番号
■設問	
問1 貴施設の種類のどれに該当しますか。（あてはまるもの1つを選択）	
<input type="radio"/> 1 病院 <input type="radio"/> 2 診療所 <input type="radio"/> 3 訪問看護ステーション <input type="radio"/> 4 介護老人保健施設 <input type="radio"/> 5 その他の施設・事業所（具体的に： _____）	
※以降の設問で「看護職員」とあるのは、「看護師・准看護師、保健師、助産師」としてお答えください。	
問2 現在、在職している看護職員の人数を教えてください。	
1 看護師・准看護師	()名 (うち大卒者: 名)
2 保健師	()名 (うち大卒者: 名)
3 助産師	()名 (うち大卒者: 名)
問3 現在の貴施設における看護職員の充足状況をどのようにお考えですか。（あてはまるもの1つを選択）	
<input type="radio"/> 1 充足している → 問5へ <input type="radio"/> 2 不足している → 問4へ	
問4 ※問3で「2 不足している」を選択した場合のみお答えください。現在の貴施設における看護職員のおおよその不足数を教えてください。	
1 看護師・准看護師	()名程度
2 保健師	()名程度
3 助産師	()名程度
問5 現在の貴施設における看護職員の採用状況をどのようにお考えですか。（あてはまるもの1つを選択）	
<input type="radio"/> 1 予定どおり採用できている <input type="radio"/> 2 採用できているが、少し苦労している <input type="radio"/> 3 苦労している <input type="radio"/> 4 非常に苦労している	
問6 貴施設における令和4年度(1年間)の看護職員の採用人数を教えてください。	
1 看護師・准看護師	()名 (うち大卒者: 名)
2 保健師	()名 (うち大卒者: 名)
3 助産師	()名 (うち大卒者: 名)
問7 貴施設における令和4年度(1年間)の看護職員の退職人数を教えてください。	
1 看護師・准看護師	()名
2 保健師	()名
3 助産師	()名

問8	貴施設における看護職員の今後の採用方針について、どのようにお考えですか。 (あてはまるもの1つを選択)
	<input type="radio"/> 1 積極的に採用を増やしていくと思う <input type="radio"/> 2 毎年、現状程度の人数を採用していくと思う <input type="radio"/> 3 採用は減らしていくと思う <input type="radio"/> 4 当面、採用は行わないと思う
問9	貴施設における今後の新卒看護職員の採用方針を教えてください。(あてはまるもの1つを選択)
	<input type="radio"/> 1 4年制大学卒業の看護職員を中心に採用していきたい <input type="radio"/> 2 看護専門学校を卒業した看護職員を中心に採用していきたい <input type="radio"/> 3 大学、専門学校を卒業した看護職員をバランスよく採用していきたい <input type="radio"/> 4 採用は人材次第なので、看護職員であれば学校種別はこだわらない <input type="radio"/> 5 その他 ()
問10	看護職員を採用する際に、貴施設ではどのようなことを特に重視していますか。 (あてはまるもの3つまで選択)
	<input type="checkbox"/> 1 必要な専門知識・技術があること <input type="checkbox"/> 2 自分と周囲の人々や物事の関係性を理解する力があること <input type="checkbox"/> 3 意見の食い違いや立場の違いを知解する力があること <input type="checkbox"/> 4 自分の意見をわかりやすく伝える力があること <input type="checkbox"/> 5 物事に進んで取り組む力があること <input type="checkbox"/> 6 人に優しい心をもっていること <input type="checkbox"/> 7 幅広い知識・教養を備えていること <input type="checkbox"/> 8 学び続ける探究心をもっていること <input type="checkbox"/> 9 その他 ()
問11	近年、慢性的な看護師不足や医療の高度化などへの対応のため、全国的に看護系大学の設置が増加しています。 函館市内の医療機関等に、4年制の看護系大学を卒業した看護職員は必要だと思いますか。 (あてはまるもの1つを選択)
	<input type="radio"/> 1 思う <input type="radio"/> 2 どちらかといえば思う <input type="radio"/> 3 思わない <input type="radio"/> 4 どちらかといえば思わない <input type="radio"/> 5 どちらとも言えない・わからない
問12	函館市内への4年制の看護系大学(学部)設置の必要性をどのようにお考えですか。 (あてはまるもの1つを選択)
	<input type="radio"/> 1 必要である <input type="radio"/> 2 必要ではない <input type="radio"/> 3 どちらとも言えない・わからない
問13	問12でそのように回答した理由を教えてください。(自由記述)
問14	函館市内に4年制の看護系大学(学部)が設置された場合、卒業生の採用についてどのように考えますか。(あてはまるもの1つを選択)
	<input type="radio"/> 1 ぜひ採用したい <input type="radio"/> 2 採用を検討したい <input type="radio"/> 3 採用は考えない <input type="radio"/> 4 その他 ()
問15	問14でそのように回答した理由を教えてください。(自由記述)
問16	看護職員の養成について、ご意見・ご要望等があればご自由にお書きください。

以上でアンケートはすべて終了です。ご協力ありがとうございました。

(参考) 前回調査 (H28年度実施) との比較
(高校2年生および保護者へのアンケート)

1 基本情報

(1) 回答者数および回答率

① 高校生

学所在地	今回(R5)調査			前回(H28)調査		
	配付数	回答数	回答率(%)	配付数	回答数	回答率(%)
函館市内	2,067	944	45.7	2,286	2,171	95.0
渡島・檜山	627	146	23.3	988	931	94.2
青森県	4,453	1,626	36.5	1,802	1,737	96.4
合計	7,147	2,716	38.0	5,076	4,839	95.3

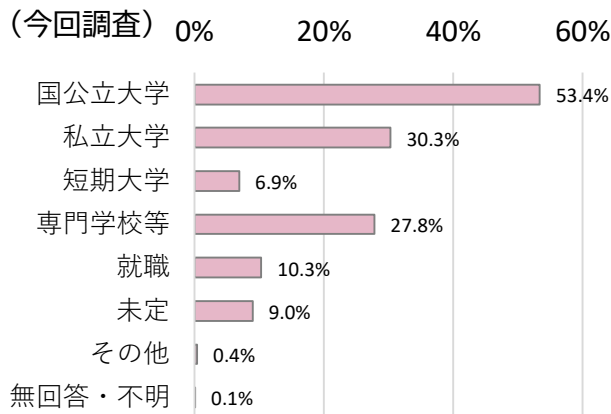
② 保護者

	今回(R5)調査			前回(H28)調査		
	配付数	回答数	回答率(%)	配付数	回答数	回答率(%)
合計	2,168	218	10.1	2,349	1,191	50.7

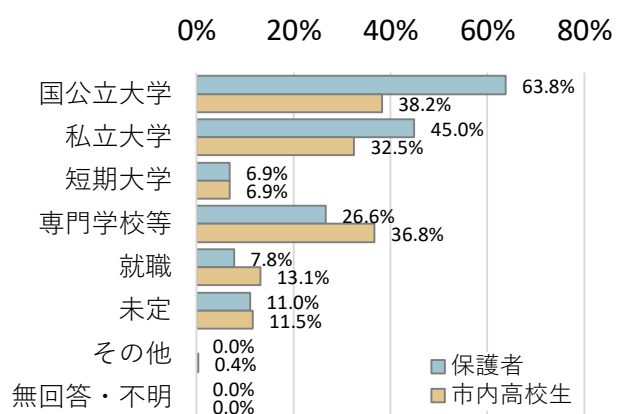
2 調査項目

問1 高校卒業後の進路についてどのように考えていますか。(複数回答)

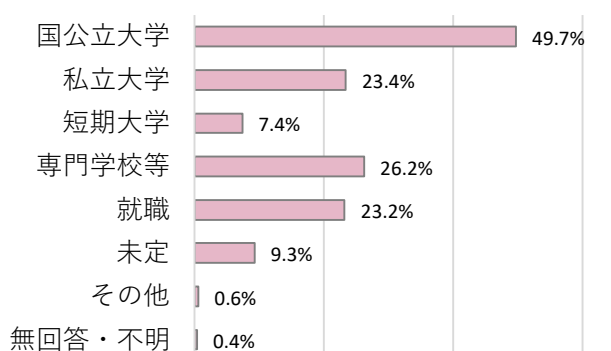
高校生(全体)



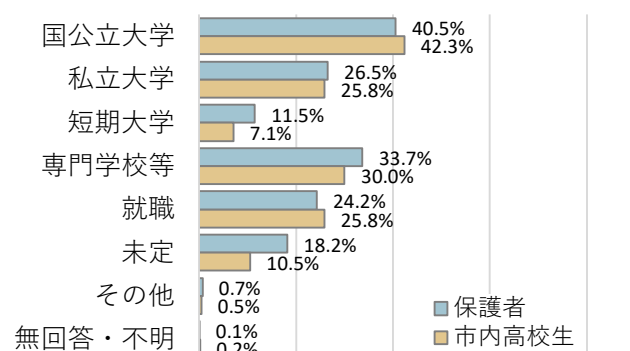
高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較



(前回調査)

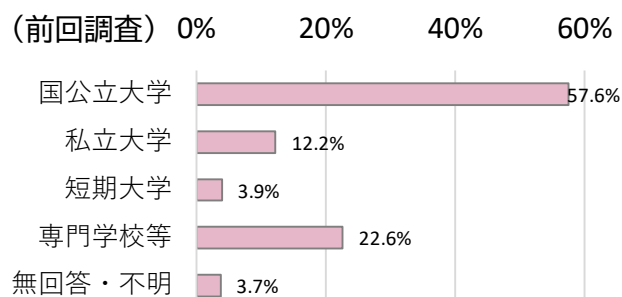
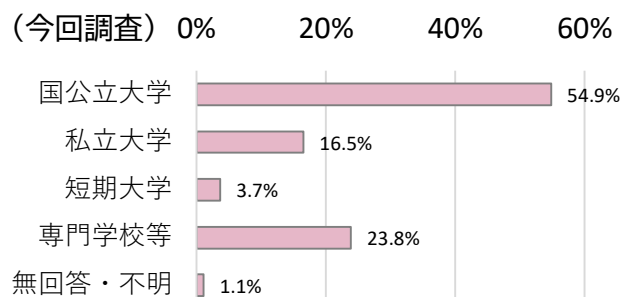


(前回調査)

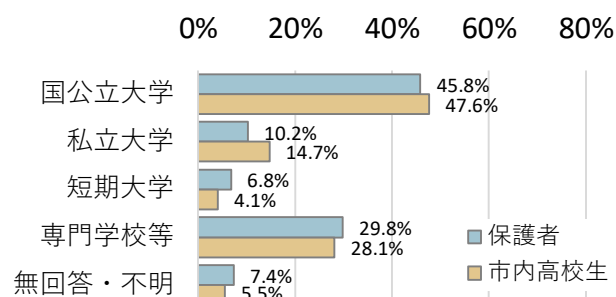
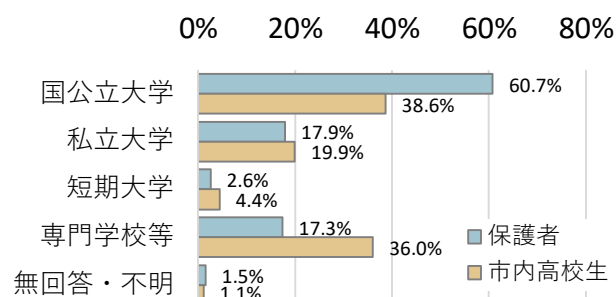


問1-2 (問1で1~4選択者) 最も希望する進路はどれですか。

高校生(全体)



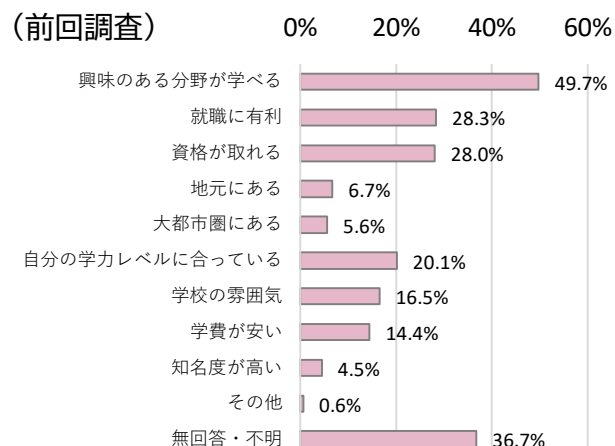
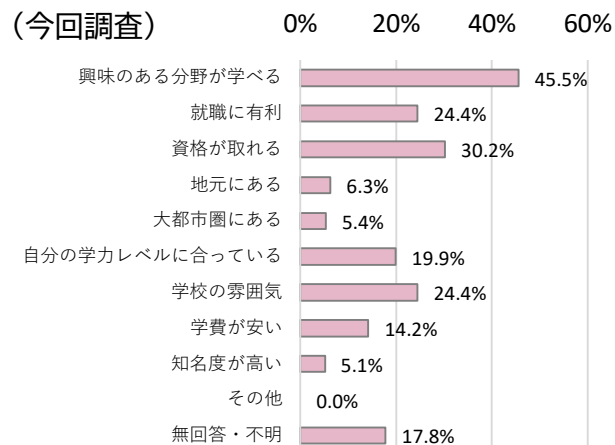
高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較



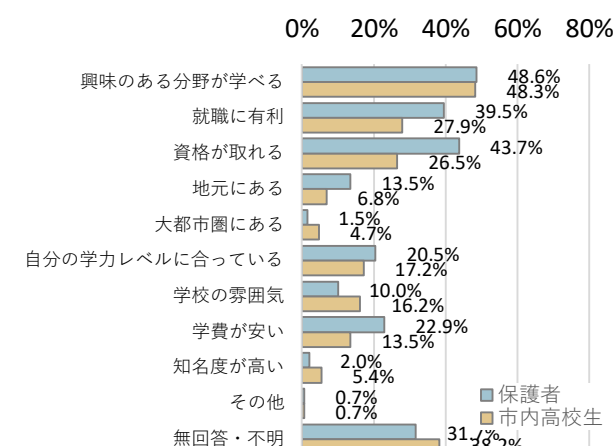
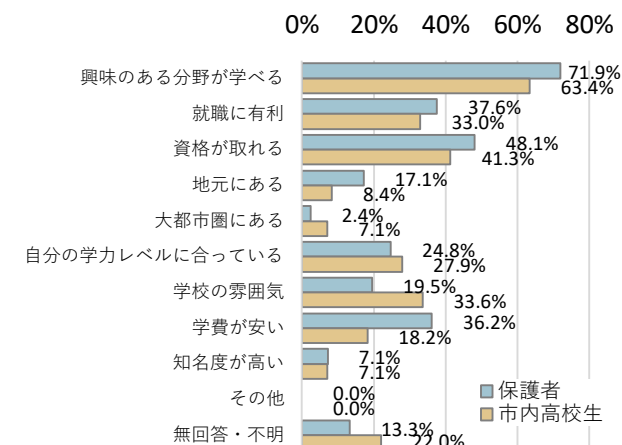
問2 (問1で「5 就職」のみの選択者以外)

進学先を選択する際に、どのようなことを重視しますか。(複数回答)

高校生(全体)



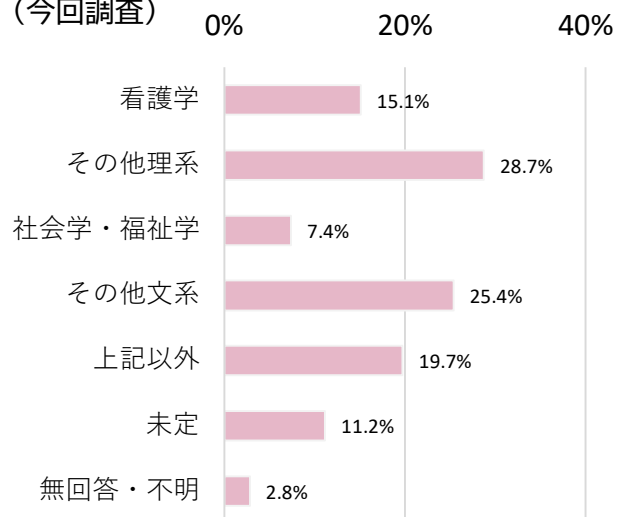
高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較



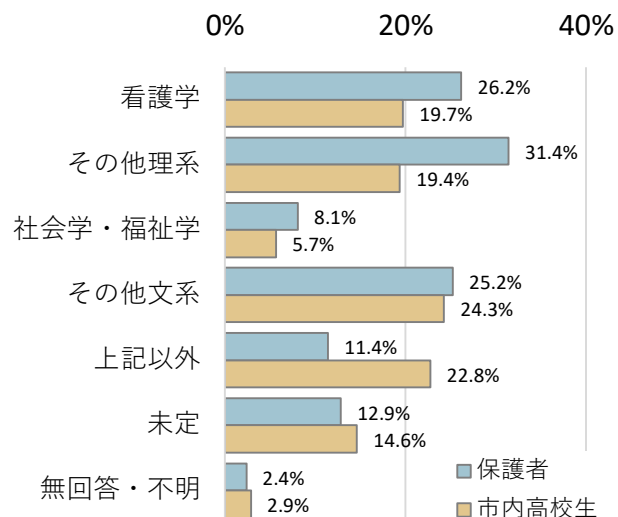
問3 (問1で「5 就職」のみの選択者以外)
進学を希望する場合、どの分野を希望しますか。(複数回答)

高校生(全体)

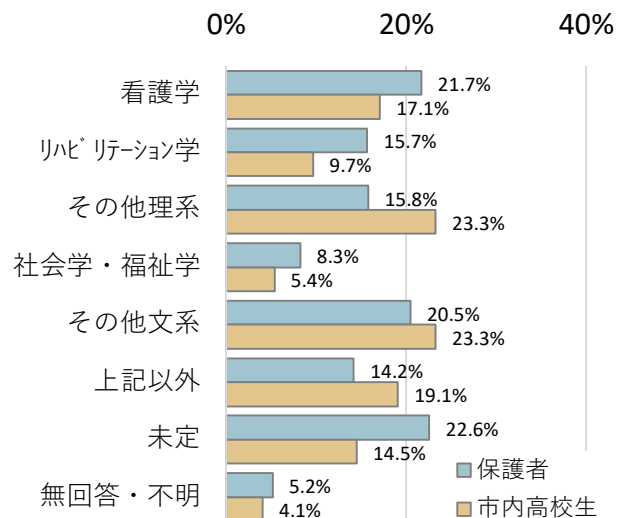
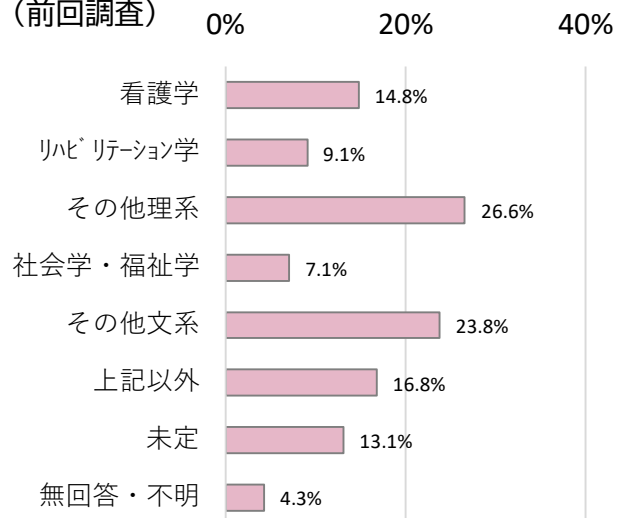
(今回調査)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較



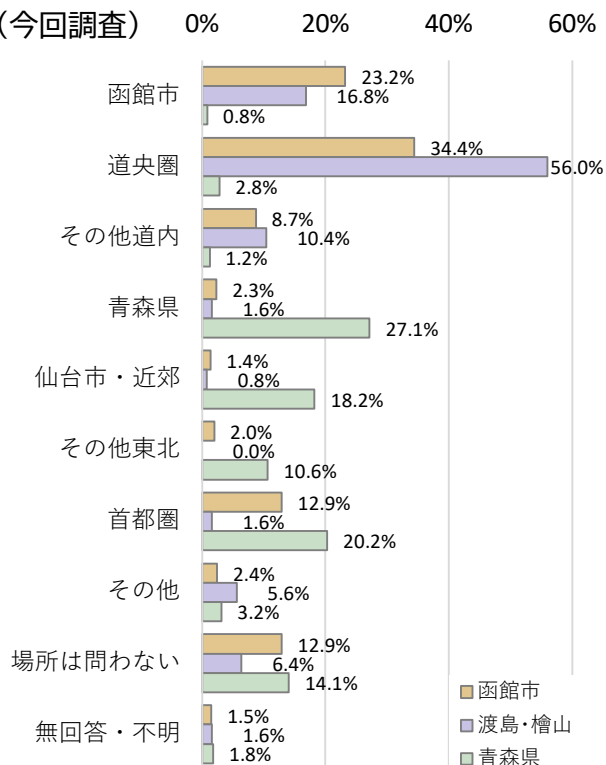
(前回調査)



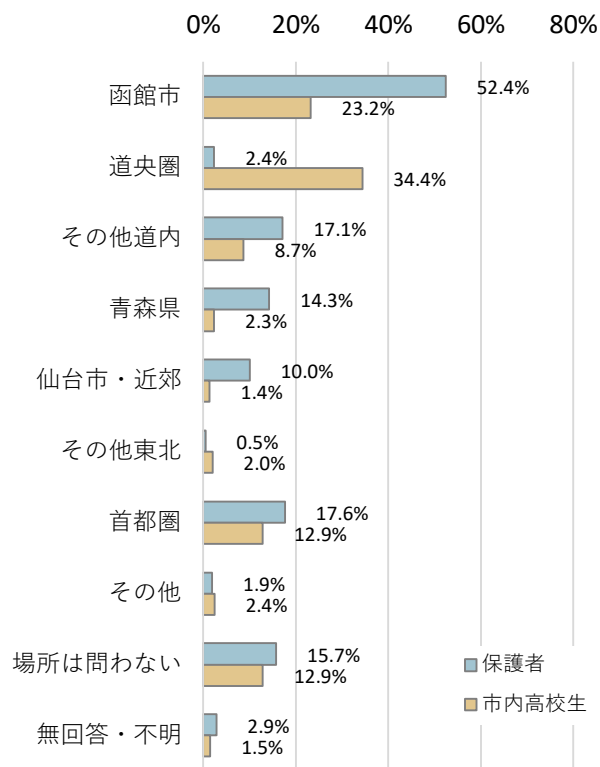
問4① 進学先としてどの地域を希望しますか。(複数回答)

高校生(全体)

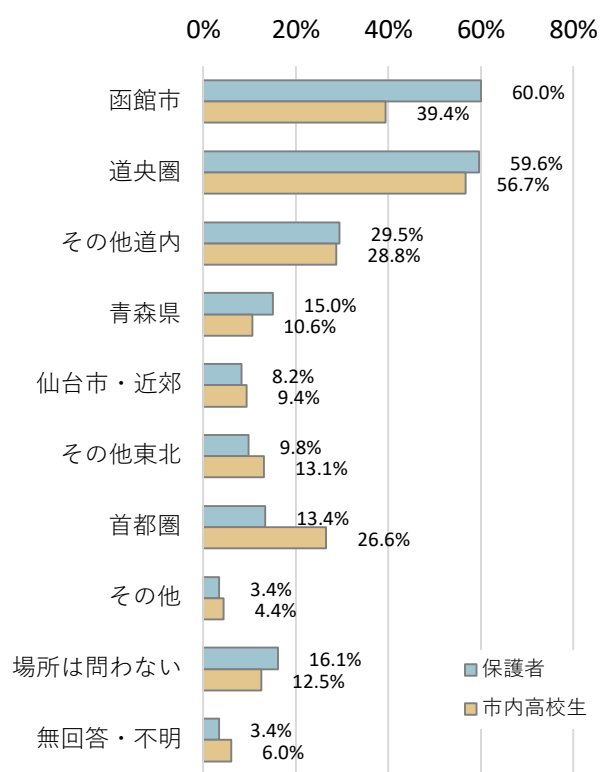
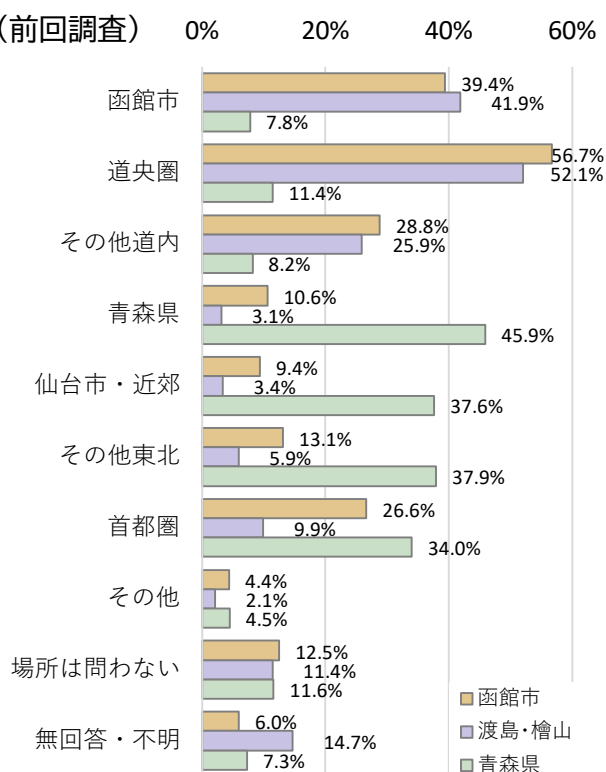
(今回調査)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較



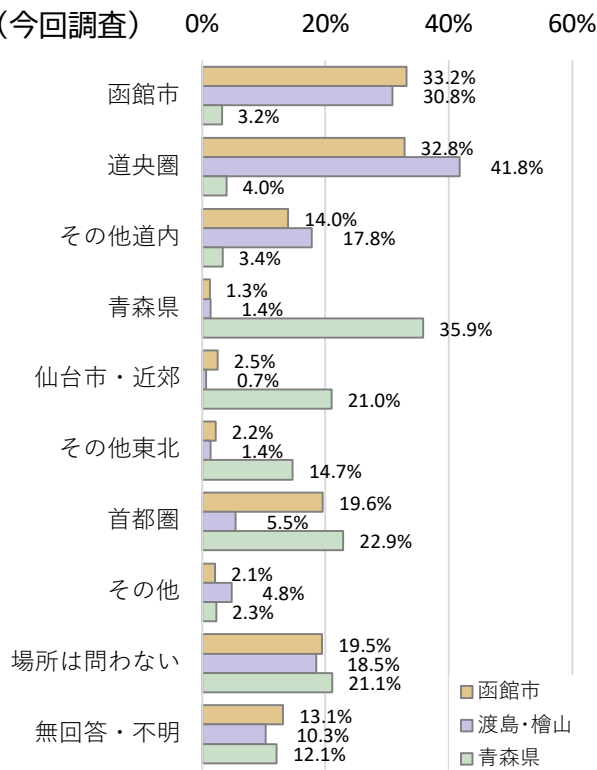
(前回調査)



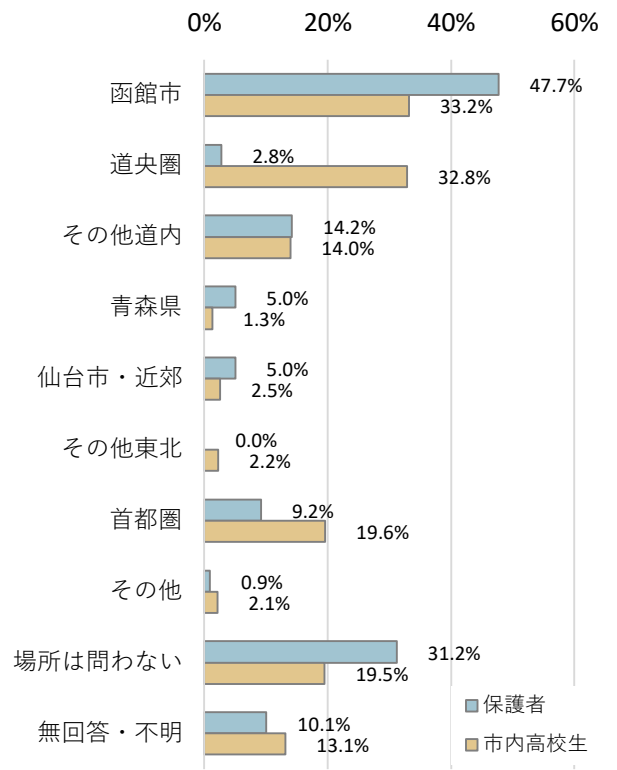
問4② 就職先としてどの地域を希望しますか。(複数回答)

高校生(全体)

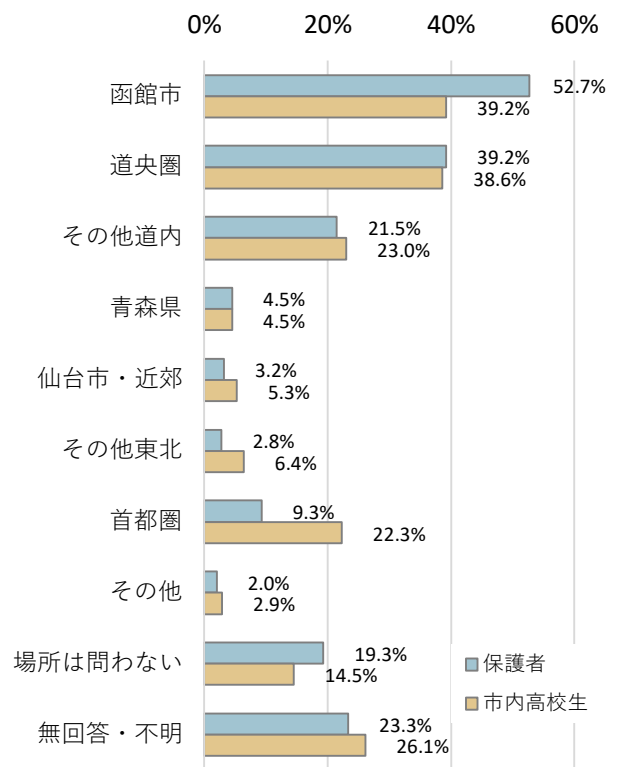
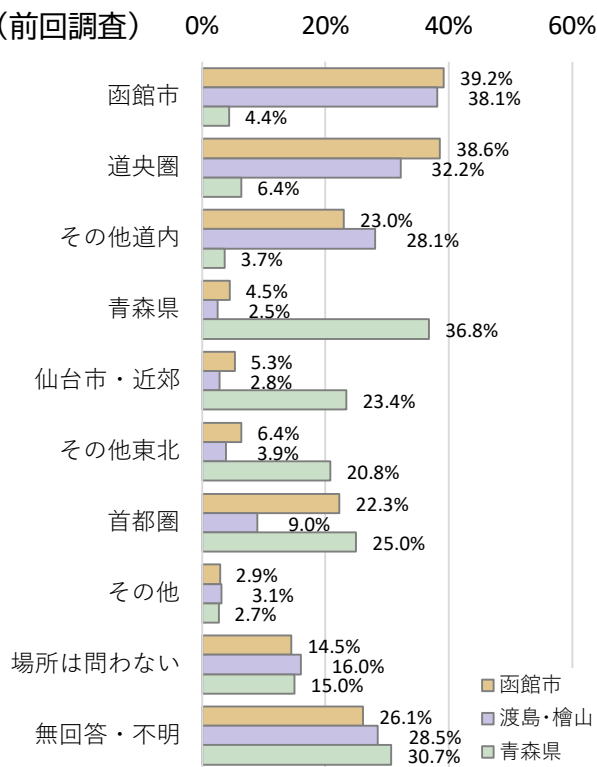
(今回調査)



高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

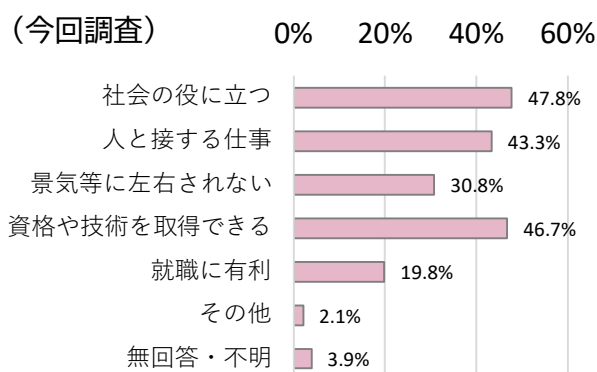


(前回調査)

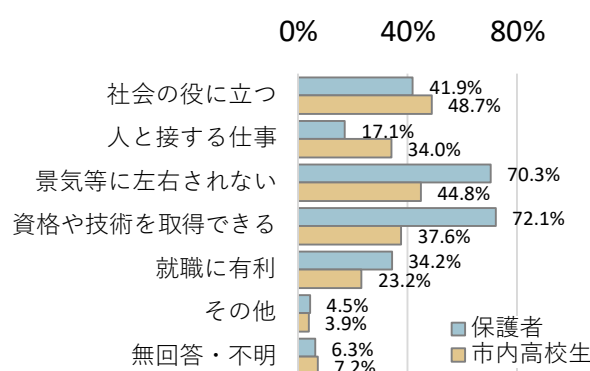
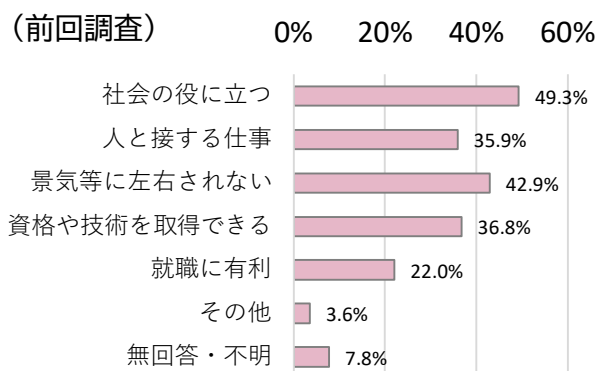
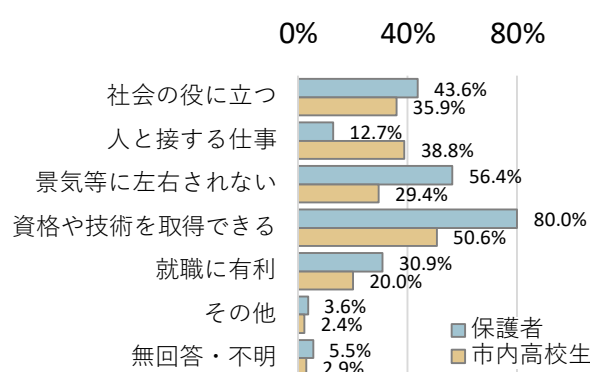


問5 (問3で「1 看護学」選択者) 看護学を希望する理由は何ですか。(複数回答)

高校生(全体)

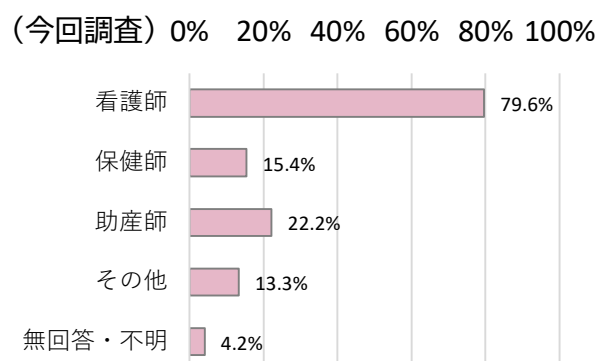


高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

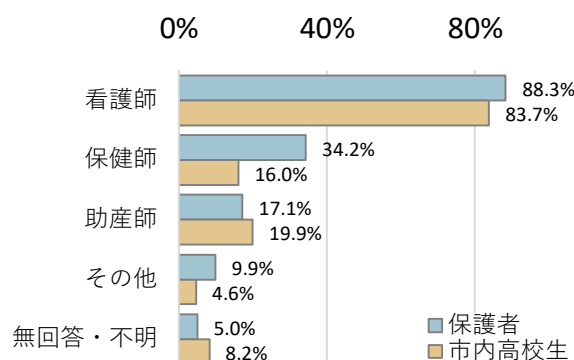
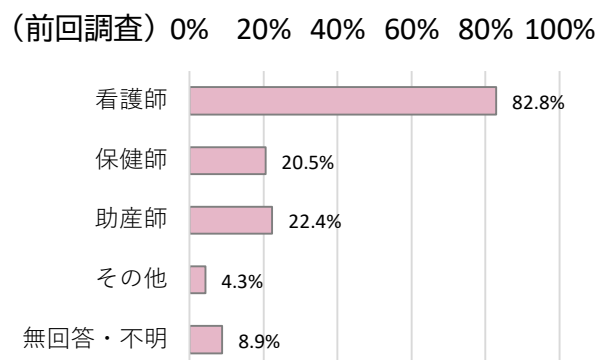
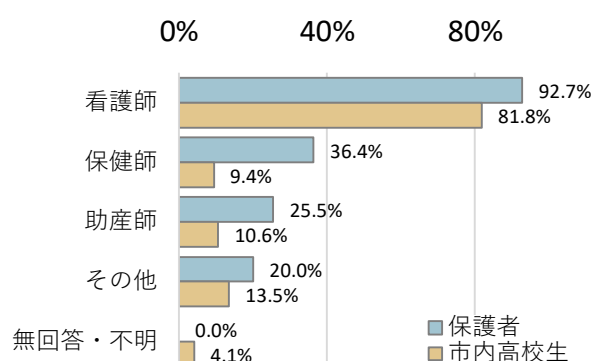


問6 (問3で「1 看護学」選択者) 将来取得したい資格はどれですか。(複数回答)

高校生(全体)



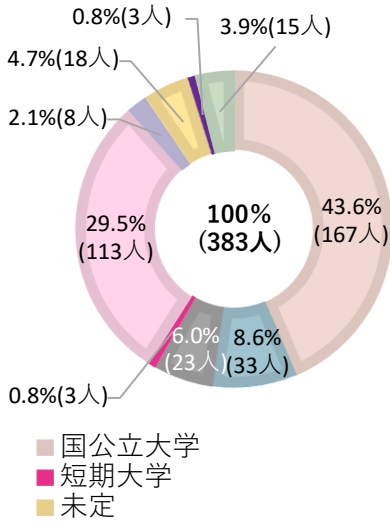
高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較



問7 (問3で「1 看護学」選択者) 最も希望する進路を教えてください。

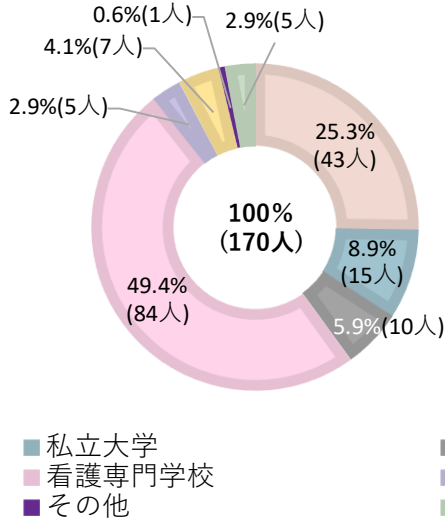
高校生(全体)

(今回調査)

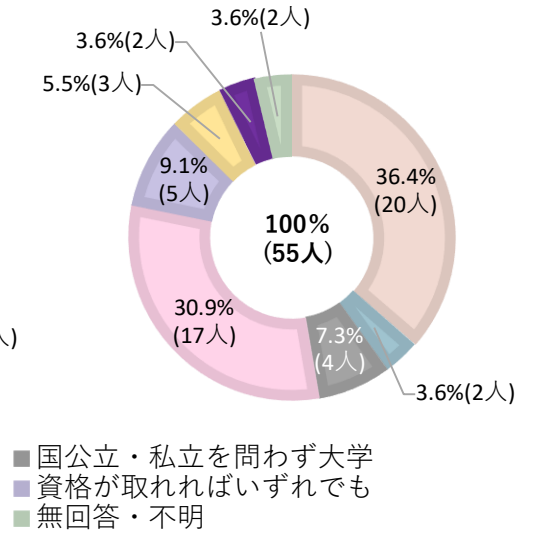


高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

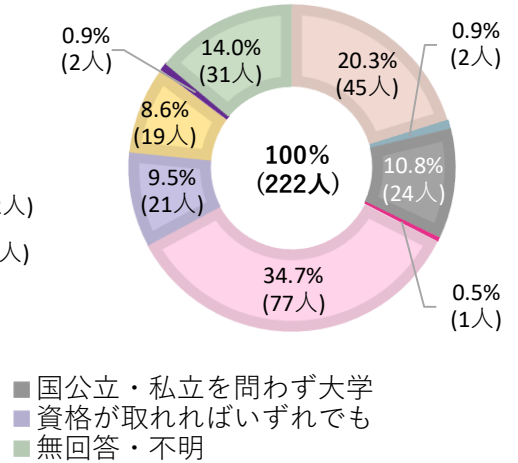
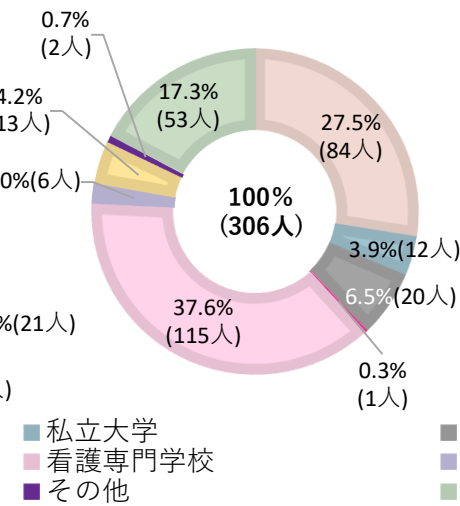
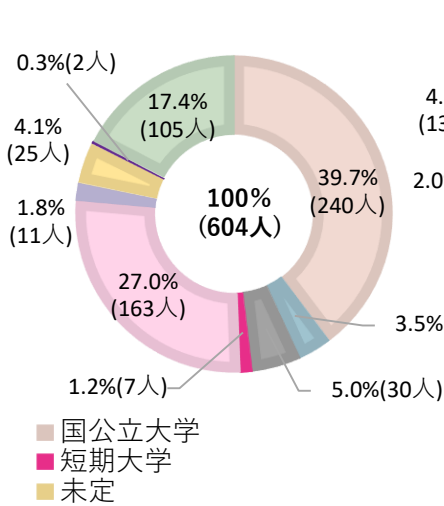
(高校生(函館市))



(保護者)



(前回調査)



問8 (問3で「1 看護学」選択者)
函館市内に公立の4年制看護系大学(学部)があったら進学したいと思いますか。

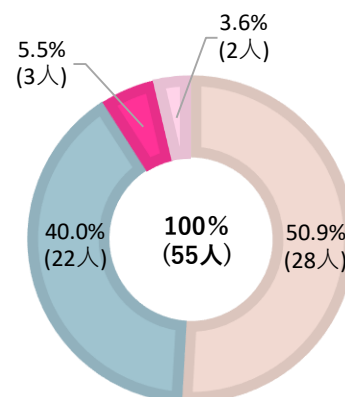
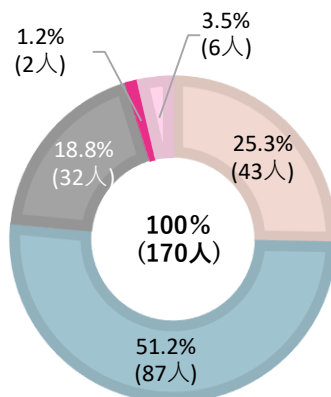
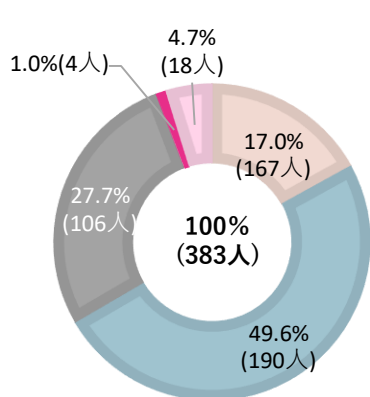
高校生(全体)

高校生(函館市)と保護者アンケートとの比較

(今回調査)

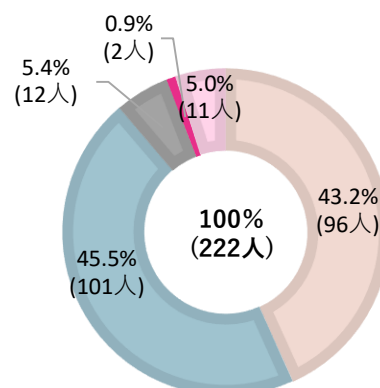
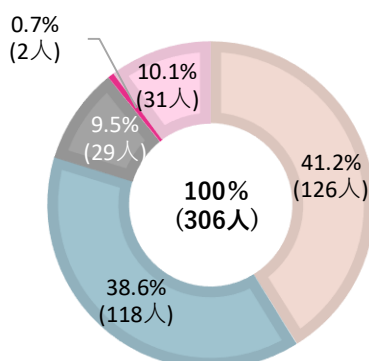
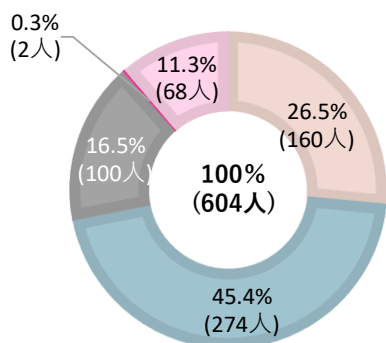
(高校生(函館市))

(保護者)



■ぜひ進学したい(させたい) ■進学を検討したい(させたい) ■進学を希望しない
■その他 ■無回答・不明

(前回調査)



■ぜひ進学したい(させたい) ■進学を検討したい(させたい) ■進学を希望しない
■その他 ■無回答・不明

(参考) 前回調査 (H28年度実施) との比較
(医療機関等に対するアンケート)

1 調査項目

問1 貴施設の種類のどれに該当しますか。

回答区分	今回(R5)調査				前回(H28)調査			
	配付数	回答数	回答率	回答数に占める割合	配付数	回答数	回答率	回答数に占める割合
病院	25	18	72.0%	9.9%	27	27	100.0%	10.1%
診療所	160	84	52.5%	46.2%	173	69	39.9%	25.7%
訪問看護 ステーション	31	11	35.5%	6.0%	17	10	58.8%	3.7%
介護老人 保健施設	8	3	37.5%	1.7%	9	8	88.9%	3.0%
その他 (介護)	229	51	22.3%	28.0%	238	132	55.5%	49.3%
その他 (障がい他)	23	15	65.2%	8.2%	27	22	81.5%	8.2%
合計	476	182	38.2%	100%	491	268	54.6%	100%

問2 現在、在職している看護職員の人数を教えてください。

(今回調査)

回答区分	看護師・准看護師		保健師		助産師		看護職員計	
1 病院	3,199	81.3%	29	61.7%	63	67.7%	3,291	80.8%
2 診療所	405	10.3%	3	6.4%	28	30.1%	436	10.7%
3 訪問看護ステーション	93	2.4%	1	2.1%	1	1.1%	95	2.3%
4 介護老人保健施設	41	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	41	1.0%
5 その他(介護)	154	3.9%	14	29.8%	0	0.0%	168	4.1%
6 その他(障がい他)	43	1.1%	0	0.0%	1	1.1%	44	1.1%
(n)=	3,935	100%	47	100%	93	100%	4,075	100%

総数に占める割合	-	96.5%	-	1.2%	-	2.3%	-	100%
----------	---	-------	---	------	---	------	---	------

(前回調査)

回答区分	看護師・准看護師		保健師		助産師		看護職員計	
1 病院	4,084	81.9%	21	63.7%	60	83.3%	4,165	81.8%
2 診療所	330	6.6%	0	0.0%	9	12.5%	339	6.7%
3 訪問看護ステーション	67	1.4%	0	0.0%	1	1.4%	68	1.3%
4 介護老人保健施設	110	2.2%	1	3.0%	1	1.4%	112	2.2%
5 その他(介護)	361	7.2%	11	33.3%	1	1.4%	373	7.3%
6 その他(障がい他)	37	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	37	0.7%
(n)=	4,989	100%	33	100%	72	100%	5,094	100%

総数に占める割合	-	97.9%	-	0.7%	-	1.4%	-	100%
----------	---	-------	---	------	---	------	---	------

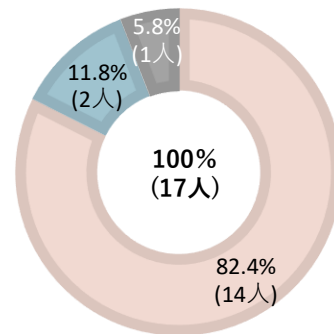
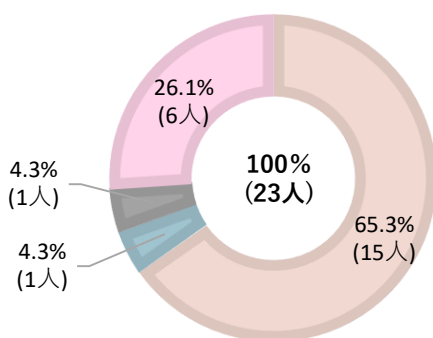
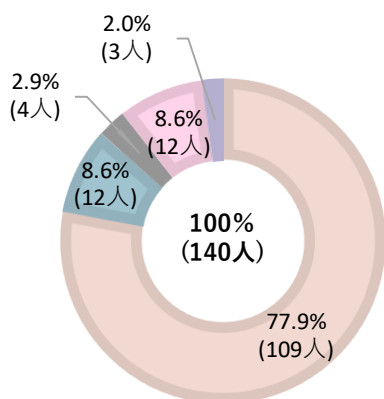
問2 (在職している看護職員のうち大卒者の数)

(看護師・准看護師)

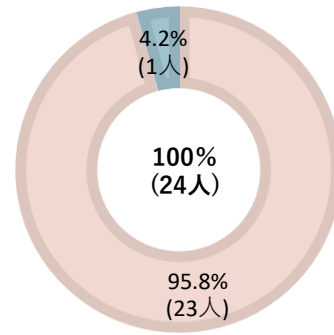
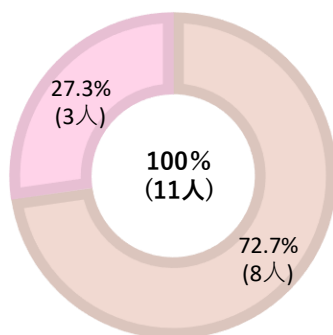
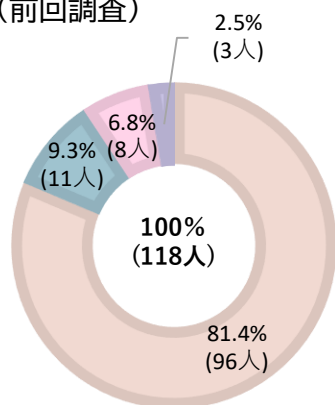
(保健師)

(助産師)

(今回調査)



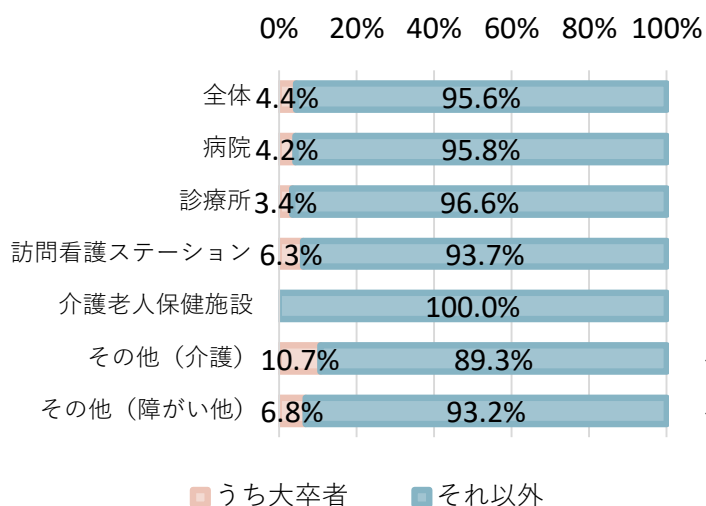
(前回調査)



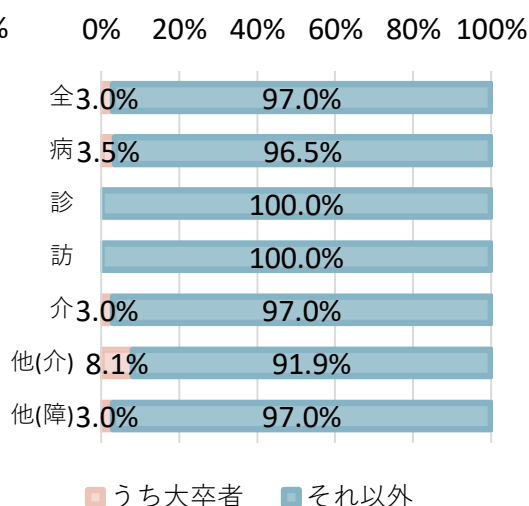
- 病院
- 診療所
- 訪問看護ステーション
- 介護老人保健施設
- その他 (介護)
- その他 (障がい他)

(総数に占める大卒者の割合)

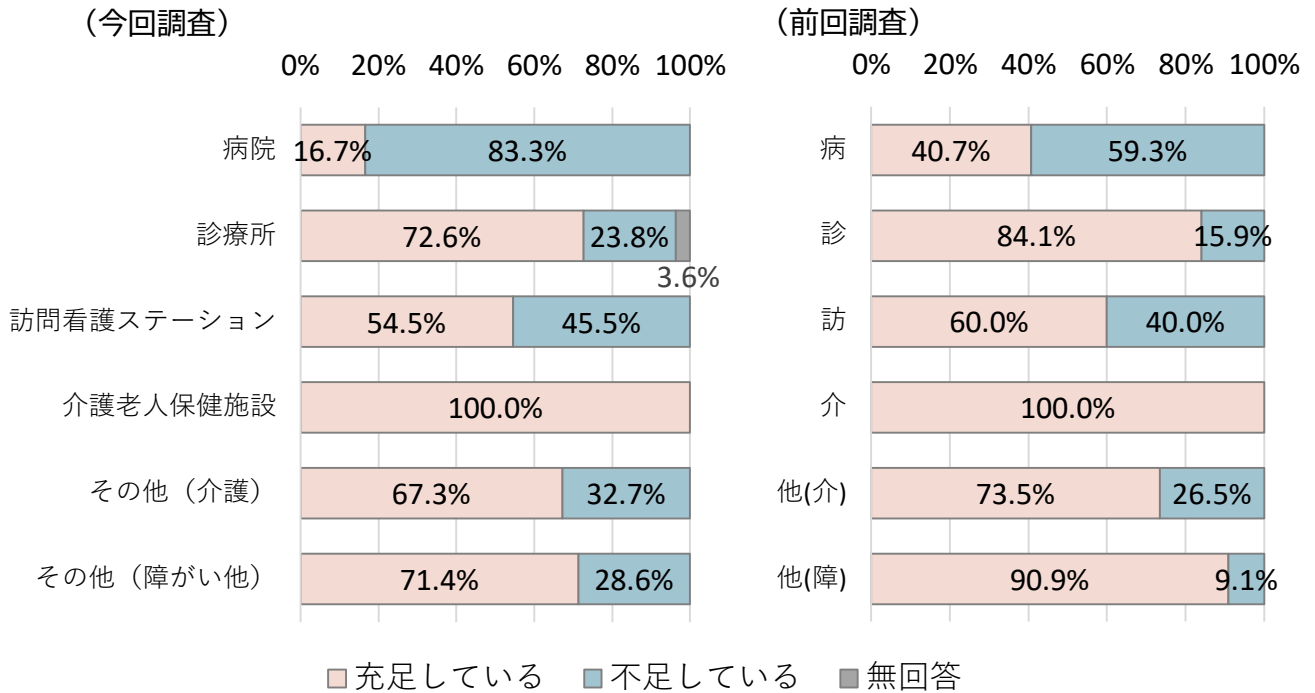
(今回調査)



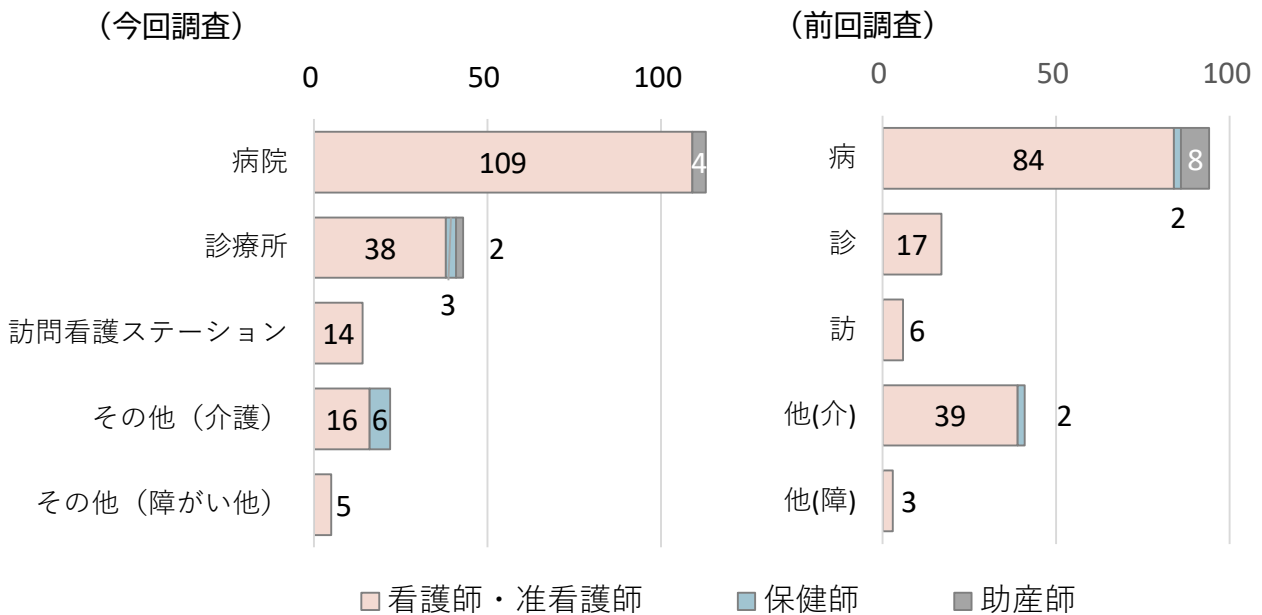
(前回調査)



問3 現在の貴施設における看護職員の充足状況をどのようにお考えですか。

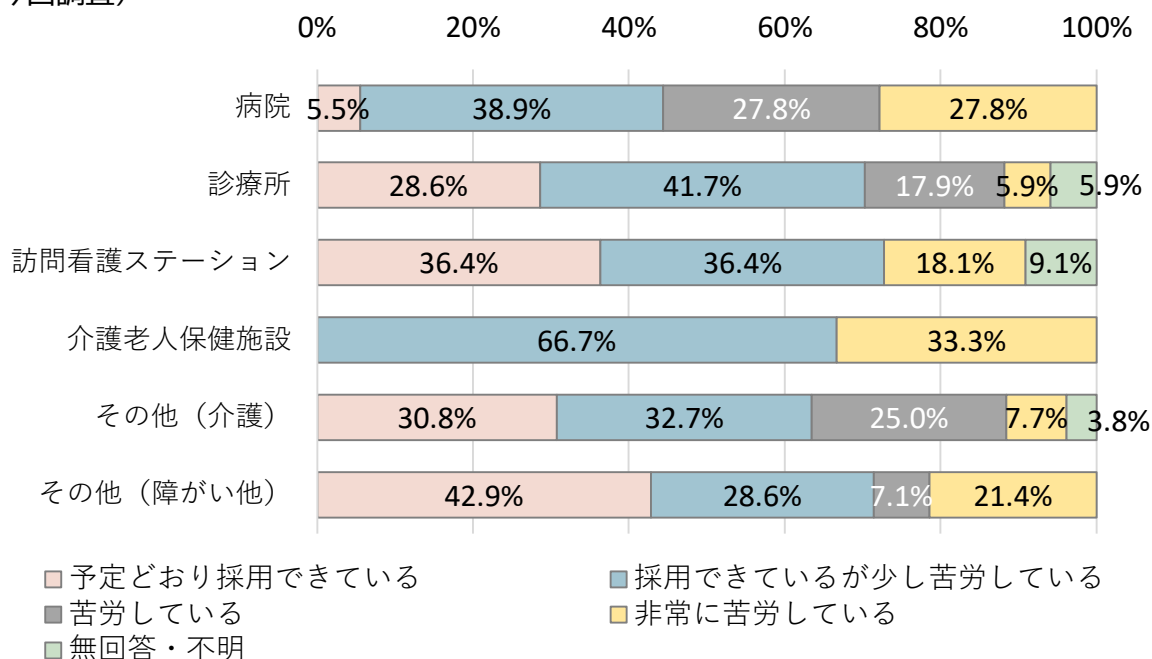


問4 (問3で「不足している」と回答の場合)
現在の貴施設における看護職員のおおよその不足数を教えてください。

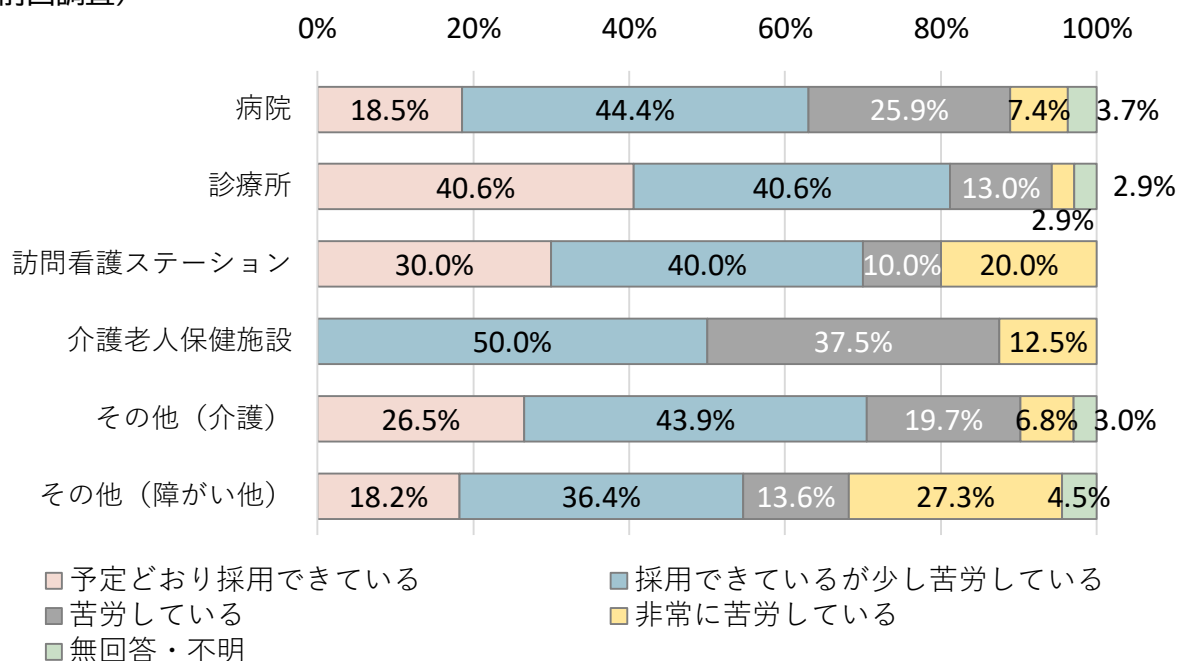


問5 現在の貴施設における看護職員の採用状況をどのようにお考えですか。

(今回調査)



(前回調査)



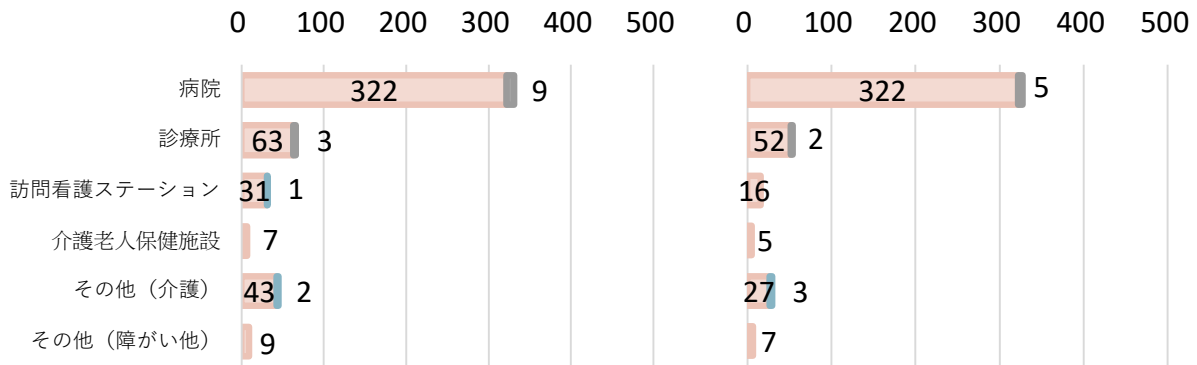
問6 貴施設における令和4年度（1年間）の看護職員の採用人数を教えてください。

問7 貴施設における令和4年度（1年間）の看護職員の退職人数を教えてください。

(今回調査)

(採用人数)

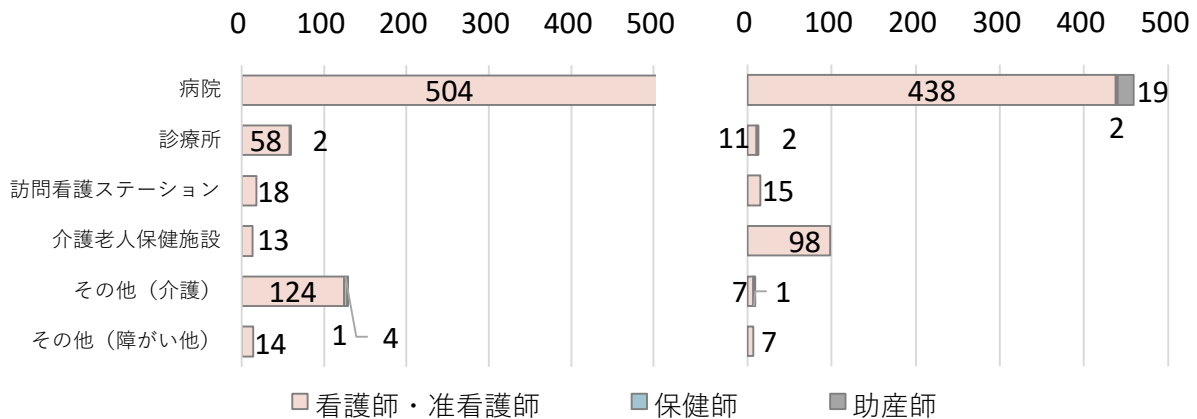
(退職人数)



(前回調査)

(採用人数)

(退職人数)

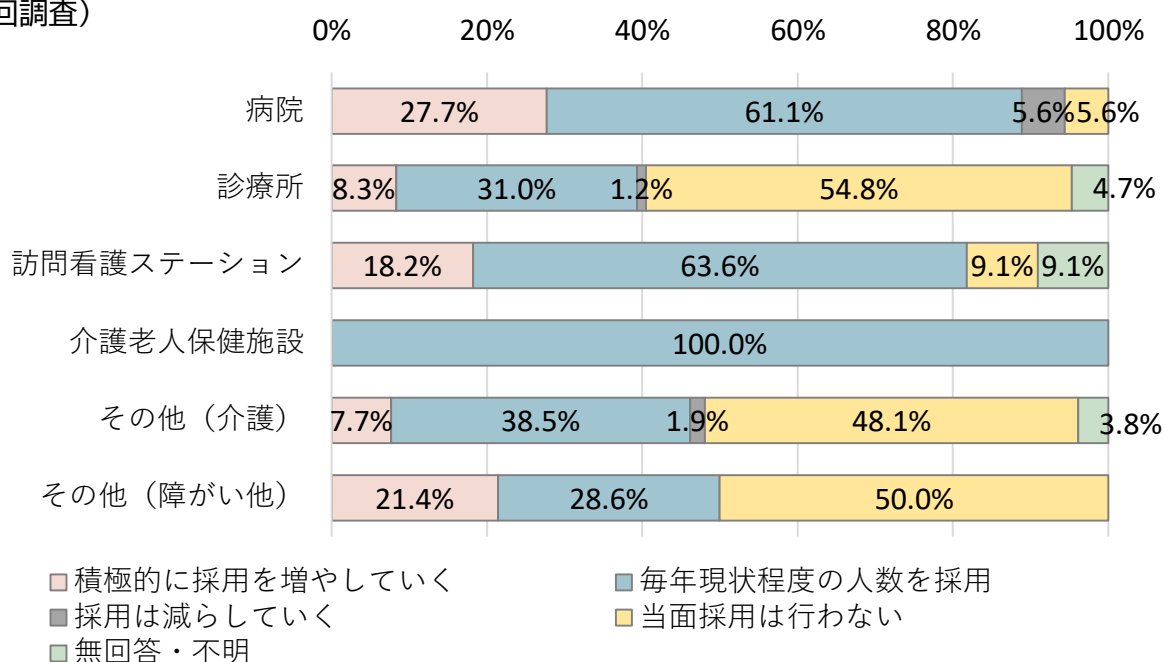


(採用人数と退職人数の差し引き)

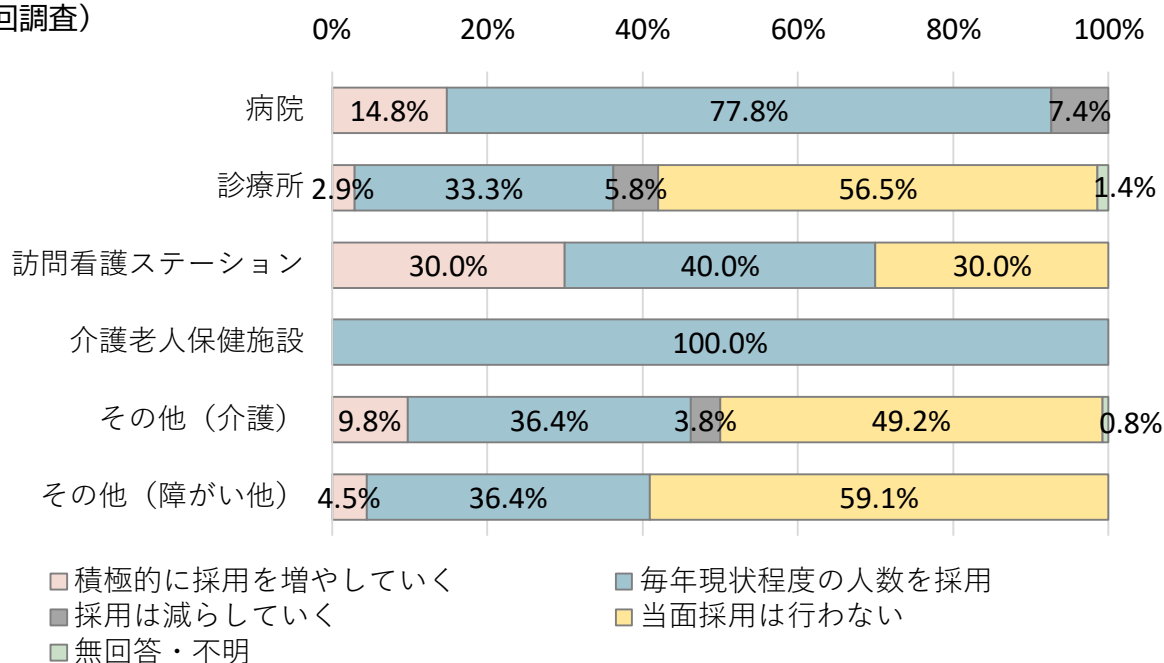
回答区分	今回(R5)調査				前回(H28)調査			
	看護師・ 准看護師	保健師	助産師	看護職員計	看護師・ 准看護師	保健師	助産師	看護職員計
1 病院	0	0	4	4	66	▲2	▲7	57
2 診療所	11	0	1	12	11	0	0	11
3 訪問看護ステーション	15	1	0	16	7	0	0	7
4 介護老人保健施設	2	0	0	2	▲2	0	0	▲2
5 その他(介護)	16	▲1	0	15	26	3	0	29
6 その他(障がい他)	2	0	0	2	7	0	0	7
合計	46	0	5	51	115	1	▲7	109

問8 貴施設における看護職員の今後の採用方針について、どのようにお考えですか。

(今回調査)

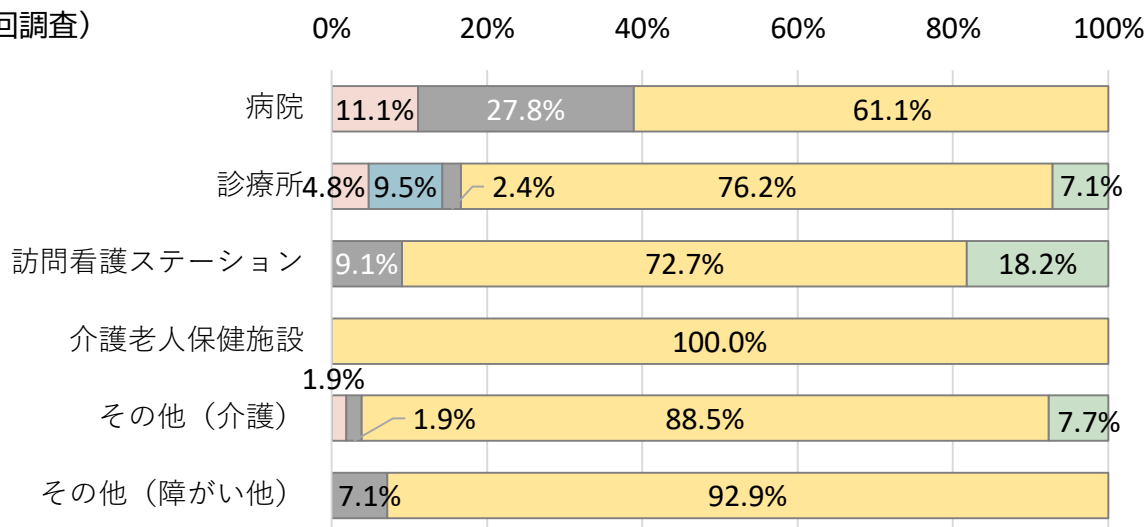


(前回調査)



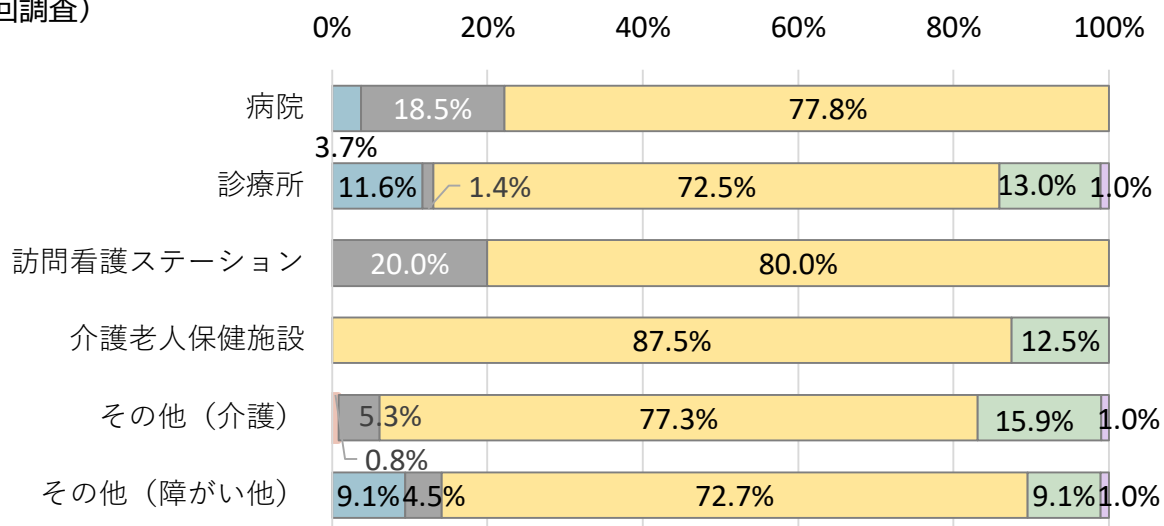
問9 貴施設における今後の新卒看護職員の採用方針を教えてください。

(今回調査)



- 4年制大学卒を中心に採用
- 4年制大学卒・看護専門学校卒をバランスよく採用
- その他
- 看護専門学校卒を中心に採用
- 採用は人材次第なので学校種別にはこだわらない
- 無回答・不明

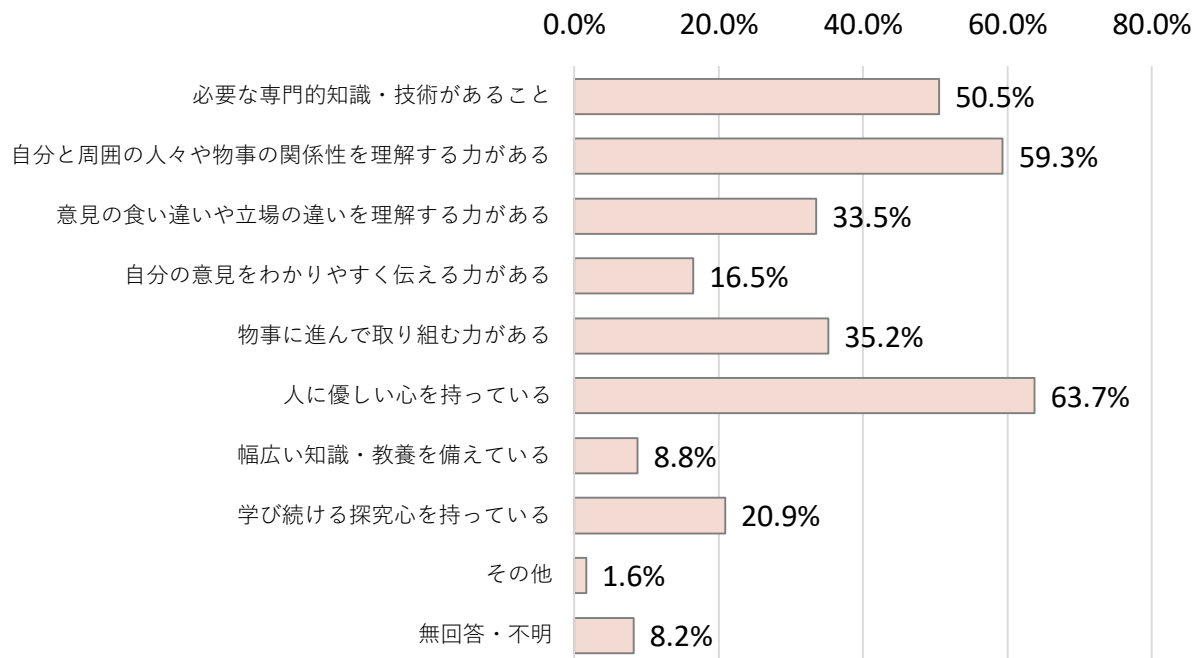
(前回調査)



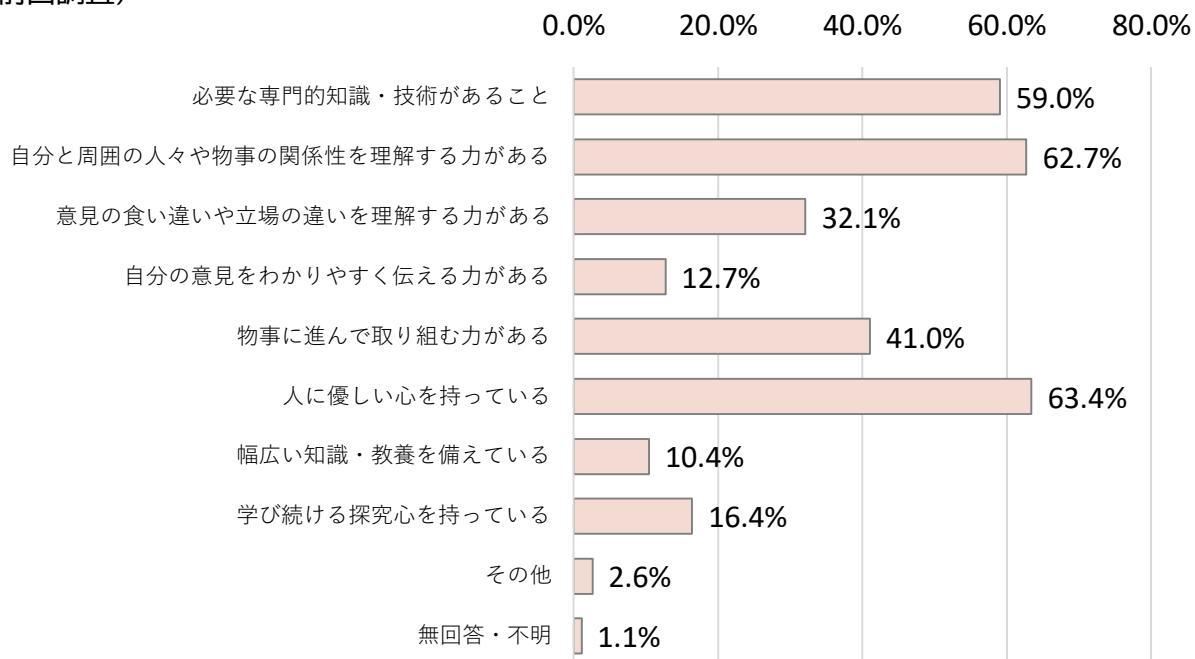
- 4年制大学卒を中心に採用
- 4年制大学卒・看護専門学校卒をバランスよく採用
- その他
- 看護専門学校卒を中心に採用
- 採用は人材次第なので学校種別にはこだわらない
- 無回答・不明

問10 看護職員を採用する際に、貴施設ではどのようなことを特に重視していますか。
(3つまで選択)

(今回調査)

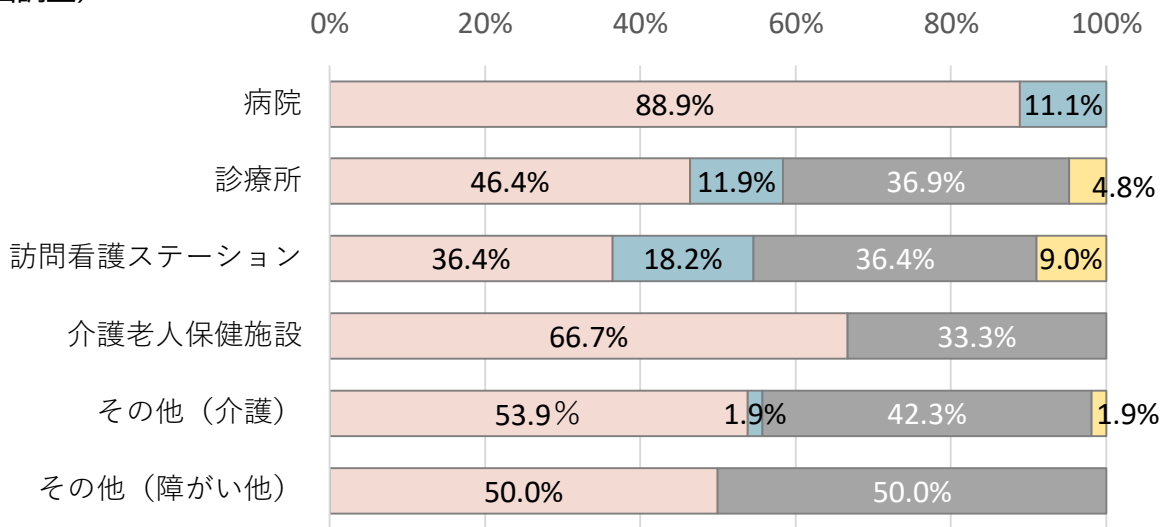


(前回調査)



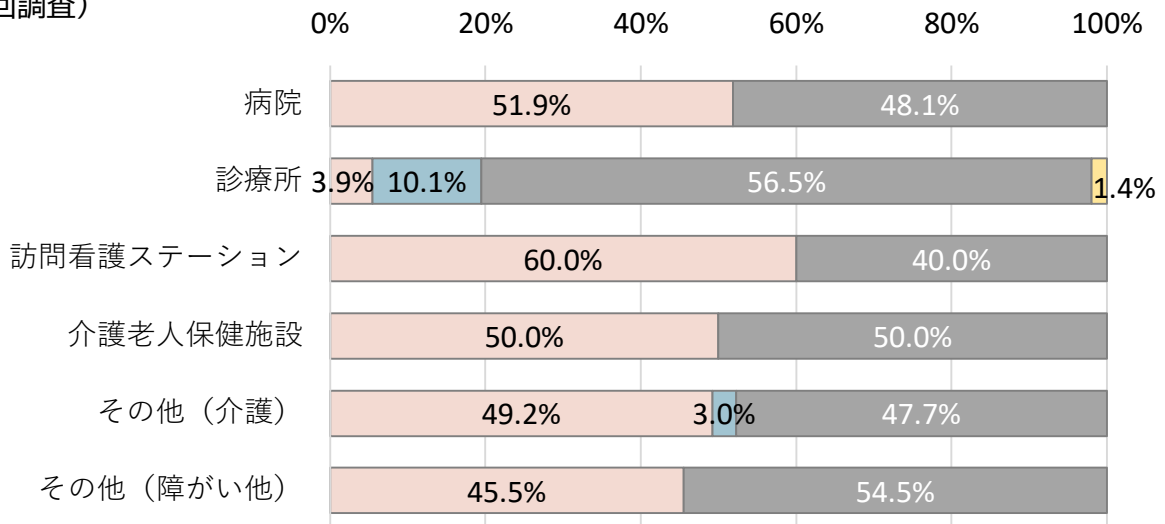
問12 函館市内への4年制の看護系大学(学部)設置の必要性をどのようにお考えですか。

(今回調査)



■必要である ■必要ではない ■どちらとも言えない・わからない ■無回答・不明

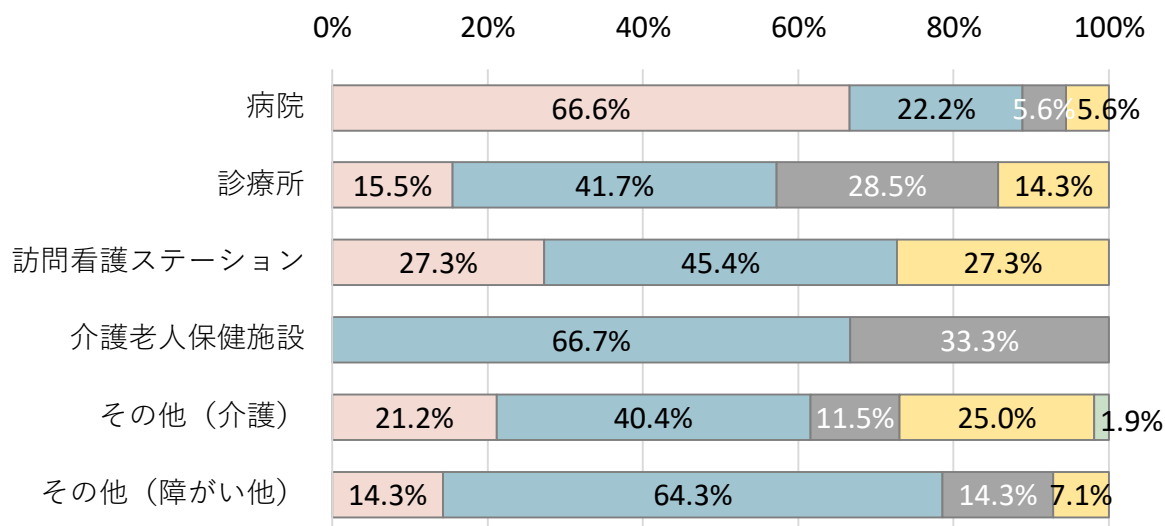
(前回調査)



■必要である ■必要ではない ■どちらとも言えない・わからない ■無回答・不明

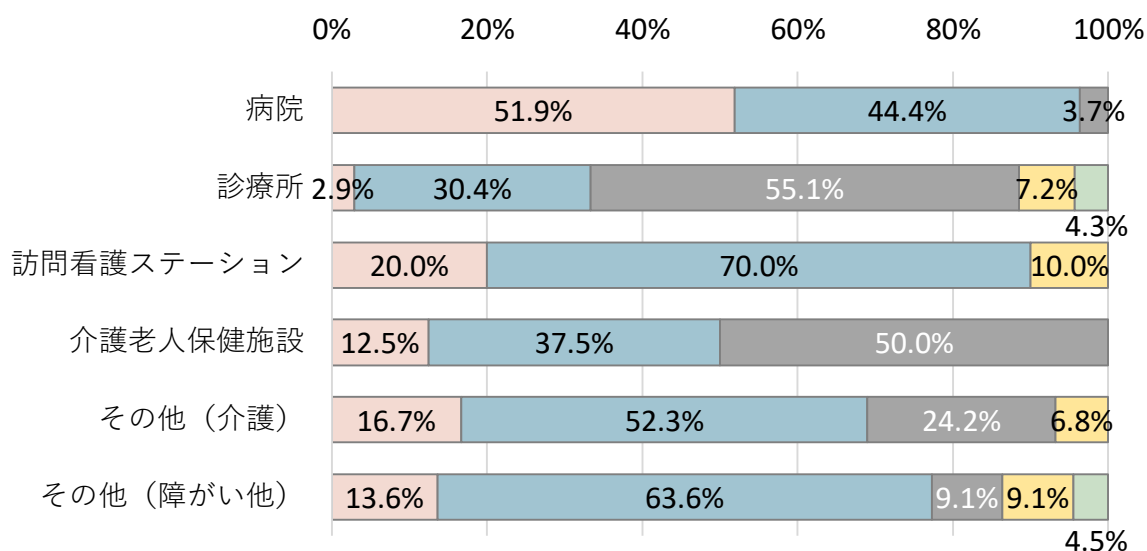
問14 函館市内に4年制の看護系大学（学部）が設置された場合、卒業生の採用に（問13）について、どのように考えますか。

（今回調査）



■ぜひ採用したい ■採用を検討したい ■採用は考えない ■その他 ■無回答・不明

（前回調査）



■ぜひ採用したい ■採用を検討したい ■採用は考えない ■その他 ■無回答・不明